

底層溶存酸素量に係る
環境基準の水域類型の指定について
(第4次報告案)

令和8年9月

- 目 次 -

1. はじめに	1
2. 目標とする達成率及び達成期間の設定方法について	2
(1) 保全対象種の生息域・再生産の場として重要な地点の検討	3
(2) 底層溶存酸素量の測定結果の整理	4
(3) 対象水域の目標とする達成率及び達成期間の設定	6
3. 国の当てはめ水域における底層溶存酸素量の目標とする達成率及び達成期間について	9
3.1 東京湾における底層溶存酸素量の目標とする達成率及び達成期間について	9
(1) 保全対象種の生息域・再生産の場として重要な地点の検討	9
(2) 東京湾における底層溶存酸素量の測定結果の整理	30
(3) 底層溶存酸素量の目標とする達成率・達成期間	59
(4) 海域における水質改善対策について	64
4. おわりに	64

1. はじめに

環境基本法に基づく水質汚濁に係る環境基準（以下「水質環境基準」という。）のうち、生活環境の保全に関する環境基準（以下「生活環境項目環境基準」という。）は昭和 46 年に設定され、湖沼及び海域では現在 11 項目が定められている。このうち、底層溶存酸素量の設定については、「水質汚濁に係る生活環境の保全に関する環境基準の見直しについて（答申）」（平成 27 年 12 月中央環境審議会。以下「平成 27 年答申」という。）を受け、平成 28 年 3 月に生活環境項目環境基準に位置付けられた。

平成 27 年答申において底層溶存酸素量に関する類型指定の方向性並びに監視及び評価方法に関する基本的な事項が示された。その後、平成 28 年に、底層溶存酸素量に関する評価方法等について中央環境審議会水環境部会生活環境項目環境基準専門委員会において審議した結果が、平成 28 年 11 月の中央環境審議会水環境部会に「底層溶存酸素量及び沿岸透明度の評価方法等について」（以下「平成 28 年報告」という。）として報告された。

その後、中央環境審議会水環境・土壌農薬部会に底層溶存酸素量類型指定専門委員会が設置された。令和 3 年 7 月に中央環境審議会より、水域類型指定の基本的事項及び国が類型指定を行う水域のうち東京湾及び琵琶湖の水域類型の指定についてまとめた「底層溶存酸素量に関する環境基準の水域類型の指定について（答申）」（令和 3 年 7 月中央環境審議会。以下「令和 3 年答申」という。）、令和 4 年 10 月の伊勢湾及び大阪湾の水域類型の指定についてまとめた「底層溶存酸素量に関する環境基準の水域類型の指定について（第 2 次答申）」（令和 4 年 10 月中央環境審議会）、令和 6 年 4 月の霞ヶ浦の水域類型の指定についてまとめた「底層溶存酸素量に係る環境基準の水域類型の指定について（第 3 次答申）」（令和 6 年 4 月中央環境審議会）による答申がなされた。

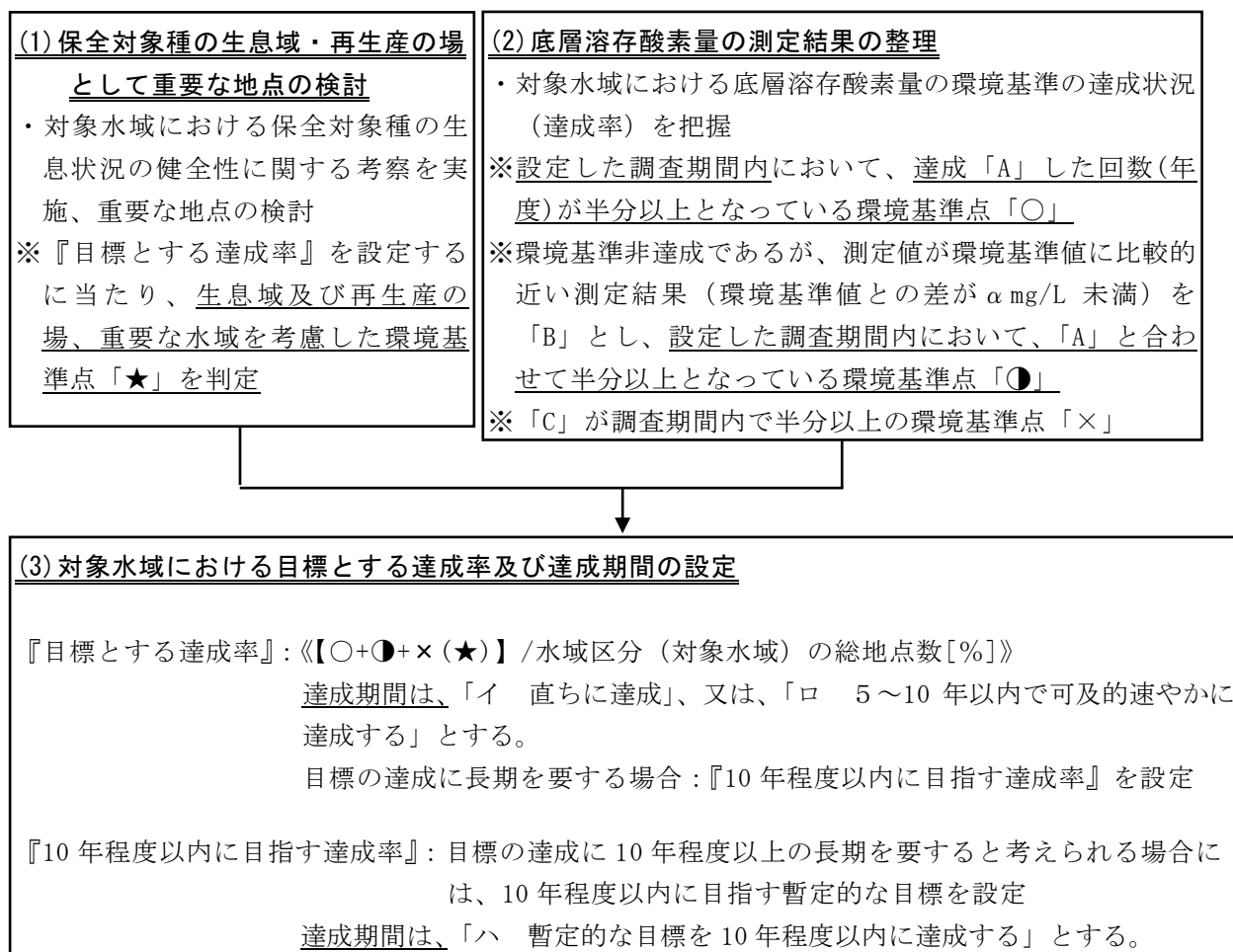
本報告は、これまでの検討内容を踏まえ、底層溶存酸素量の類型指定がなされた水域の目標とする達成率及びその達成期間についての設定方法について検討を行うとともに、当該設定方法に即して東京湾における底層溶存酸素量の目標とする達成率及び達成期間について検討を行ったので、ここに報告する。

2. 目標とする達成率及び達成期間の設定方法について

底層溶存酸素量の評価方法については、平成 28 年報告において、個々の環境基準点（測定地点）について、類型指定により区分された水域ごとに達成又は非達成の評価はせず、水域内の全ての環境基準点（測定地点）のうち、目標値に適合している環境基準点（測定地点）数の割合で評価する方法が適当であるとされた。これは、底層溶存酸素量の一時的かつ部分的な低下が生じたとしても、当該水域全体の個体群維持に問題が生ずる可能性は低いと考えられたことによるものである。

水域の目標とする達成率及び達成期間の設定方針の検討手順を図 2.1 に示す。保全対象種^{※1}の生息域・再生産の場として重要な地点を検討（図 2.1 の(1)）した上で、当該水域の底層溶存酸素量の状況（図 2.1 の(2)）を踏まえ、対象水域における目標とする達成率及び達成期間の設定（図 2.1 の(3)）について検討する。

※1：保全対象種とは、平成 27 年答申において、各水域の水生生物の生息状況等を踏まえた上で、保全・再生すべき水生生物として定めた種のこと。東京湾における保全対象種の設定方法については資料編に記載している。



注) 1. $×(★)$ とは、(2)の整理結果より「C」が調査期間内で半分以上の環境基準点「×」となるが、この「×」の環境基準点が(1)の検討結果より重要な地点として判定された場合（「★」）を指す。なお、「×」の環境基準点が重要な地点ではない場合もある。

2. 「 α 」は対象とする水域における地域検討会の議論により設定する。

図 2.1 目標とする達成率及び達成期間の設定方針の検討手順

図 2.1 の(1)から(3)の検討内容は以下のとおりである。

(1) 保全対象種の生息域・再生産の場として重要な地点の検討

下記の情報により、保全対象種の生息域・再生産の場として重要な地点を抽出するため、底層溶存酸素量の保全対象種の生息・再生産への影響について検討する。

把握・検討項目	把握・検討内容
①保全対象種の生息状況	・下記の情報を用いて生息状況を定性的に把握 (1) 都道府県別又は対象水域別に整理された魚種別漁獲量 (2) 都道府県が実施している水産生物を対象にした資源評価の情報 ※必要に応じて、都道府県の水産関係部局及び漁業関係者からヒアリングを行う。
②保全対象種の生息域・再生産の場における底層溶存酸素量の目標値に対する適合状況（生息域及び再生産の場の確保状況）	対象水域の過年度の底層溶存酸素量の測定結果を用いて、各保全対象種の生息域及び再生産の場の底層溶存酸素量の目標値に対する適合状況の把握
③貧酸素水塊の発生状況	底層溶存酸素量の測定結果を踏まえ貧酸素水塊の状況の把握
④保全対象種の生息状況への底層溶存酸素量の影響に関する考察	・保全対象種の生息及び再生産における貧酸素水塊による影響の有無の把握（重み付け対象の保全対象種を選定） ・上記①～③の結果を基に重要な地点（★）を抽出

① 保全対象種の生息状況

まず、保全対象種の生息状況を調査する。その際に以下の点に留意する。

- ・「魚種別漁獲量」：魚種別漁獲量（「海面漁業生産統計調査」（農林水産省 HP））の情報は、都道府県別で集計されており、漁獲された水域ごとに集計されていないため、対象水域ごとの保全対象種の漁獲（生息）量としては把握できないことに留意する。
- ・「水産生物の資源評価」：資源管理の観点からの評価であるが、生息状況に関する情報としても活用できる。一方、この資源評価は全ての保全対象種を対象にしていないことに留意する。

また、必要に応じて都道府県水産関連部局や漁業関係者等へのヒアリングを行い、保全対象種の生息状況に関する情報を補完しつつ、各保全対象種の生息状況への底層溶存酸素量の低下による影響の有無についても可能な限り把握する。

② 保全対象種の生息域・再生産の場における底層溶存酸素量の目標値に対する適合状況

底層溶存酸素量の測定結果を用いて、保全対象種ごとの生息域及び再生産の場における底層溶存酸素量の目標値に対する適合状況を把握する。なお、保全対象種の生息域及び再生産の場は、水深・底質等に関する情報及び関係機関からのヒアリングにより設定したものである。

③ 貧酸素水塊の発生状況

底層溶存酸素量の測定結果（公共用水域水質測定結果、広域総合水質測定結果等）を用いて、貧酸素水塊の状況について可能な限り把握する。

④ 保全対象種の生息状況への底層溶存酸素量の影響に関する考察

上記①～③より、各保全対象種に対する底層溶存酸素量の影響の程度について考察する。具体的には、適合状況の結果や生息に対する底層溶存酸素量の影響に関する文献等に応じ、保全対象種ごとに底層溶存酸素量の影響を受けている可能性の程度について、重み付けを行う。この重み付けを行った結果、環境基準点（測定地点）ごとに保全対象種の重なり状況を整理し、重み付けの点数が相対的に高い環境基準点（測定地点）「★」を抽出する。また、貧酸素水塊の発生状況を踏まえ、底層溶存酸素量の改善が重要であると考えられる水域についても必要に応じて、重要な環境基準点（測定地点）「★」に位置付ける。なお、対象水域で保全対象種の生息域及び再生産の場として特に保全が必要な水域（環境基準点（測定地点））がある場合にも「★」に位置付けるほか、地域検討会での議論（地域の実情等）により、重要な環境基準点（測定地点）が必要な場合には追加・変更しても差し支えない。

（参考：東京湾の場合、表 3.5(1)及び(2)に重み付けの結果、表 3.6 に各環境基準点（測定地点）における重み付けの結果を示す。）

(2) 底層溶存酸素量の測定結果の整理

対象水域の底層溶存酸素量の目標とする達成率の検討に資する情報として、底層溶存酸素量の測定結果を用いて、対象水域における底層溶存酸素量の状況を把握・整理する。

① 測定データの把握

底層溶存酸素量の測定結果を用いて、対象水域の底層溶存酸素量の状況を把握する。

② 調査期間の設定

調査期間は、入手可能な期間の測定データを把握した上で、他の環境基準項目の達成状況、発生負荷量等の変遷等を踏まえ対象水域ごとに設定する。（参考：東京湾では10年間とした。）

③ 測定結果の整理

目標とする達成率を検討するに当たり、上記②の調査期間における達成状況を整理する。上記①により把握した個別の環境基準点（測定地点）の年度ごとの底層溶存酸素量の測定結果を以下の「A」～「C」のように分類する。ある環境基準点（測定地点）における年度ごとの環境基準への達成・非達成は、年間の測定値の最低値で評価するため、年間の測定結果のうち1回（連続測定の場合には2日間連続）でも環境基準を達成していない場合には、当該環境基準点（測定地点）は環境基準「非達成」となる。しかし、目標を検討する上で、達成「A」と非達成「C」のみでは、どの程度非達成であったのかを把握しにくいことから、以下のように環境基準非達成であるが、測定値が環境基準値に比較的近い測定結果（環境基準値との差が α mg/L 未満^{*1}）を「B」として整理することとした。

※1：環境基準との差について

環境基準値に比較的近い差として、例えば誤差が想定される。「水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件の施行について」（平成4年3月18日、環水管24号）の「4 水質自動監視測定装置の精度基準について（2）精度基準 イ管理基準」では以下のように示されている。

『管理基準は、運用中の水質自動監視測定装置について常時保持されていなければならない精度の基準とし、pHについては ± 0.2 pH 以内、また、DOについては ± 0.5 mg/L 以内又は誤差率 $\pm 10\%$ 以内とする。管理基準を満たしているか否かの確認は、年1回以上、当該水域の汚濁状況等を考慮して必要と判断する期間ごとに行うこととする。なお、DOについては、水質自動監視測定装置ごとに当該水域の水質状況等に応じて、 ± 0.5 mg/L 以内又は誤差率 $\pm 10\%$ 以内のいずれを適用するかを事前に定めておくものとする』

A：環境基準を達成

C：環境基準を非達成（Bを除く）

B：各年度の最低値と環境基準値との差が α mg/L 未満の測定結果

（参考：東京湾の場合、 $\alpha = 0.5$ として、表 3.10 に10年間の測定結果を環境基準点（測定地点）ごとに「A」、「B」、「C」で分類して取りまとめている。）

次に、調査期間内において、どの程度（年度の回数）環境基準を達成した地点であるかについて、各年度の「A」と「B」の個数に応じて、以下のように分類する。

○：「A」が調査期間内で半分以上の環境基準点（測定地点）

●：「A」と「B」の合計が調査期間内で半分以上の環境基準点（測定地点）

×：「C」が調査期間内で半分以上の環境基準点（測定地点）

（参考：東京湾の場合、表 3.10 に「○」、「●」、「×」を取りまとめている。）

(3) 対象水域の目標とする達成率及び達成期間の設定

「(1) 保全対象種の生息域・再生産の場として重要な地点の検討」及び「(2) 底層溶存酸素量の測定結果の整理」の内容を踏まえ、対象水域の目標とする達成率及び達成期間を検討する。

平成 28 年報告において、底層溶存酸素量の評価方法は、水域内の全ての環境基準点（測定地点）のうち、目標値に適合している環境基準点（測定地点）数の割合で評価する方法が適当であるとされた。達成期間については、水域における底層溶存酸素量は、個体群の維持が可能である限り、必ずしも全ての地点で、また全ての期間で底層溶存酸素量の基準値を常に上回る必要はないとされた。また、令和 3 年答申において、目標とする達成率及び達成期間については以下のようにされており、これらの考え方に即して設定する。

類型指定された後、最初の 5 年間程度の中で底層溶存酸素量の状況に照らして、保全対象種の生息状況の健全性についても可能な限り把握する。この間に把握した情報等を踏まえ、各水域区分における保全対象種を中心とした水生生物の生息が健全に保たれることを目指し、目標とする各水域区分の達成率を設定する。達成期間については、関係機関間での改善対策も把握した上で、直ちに達成する、又は、5 年から 10 年程度で達成するとする。若しくは、目標の達成に 10 年程度以上の長期を要すると考えられる場合には、10 年程度以内に目指す暫定的な目標（達成率又は地点別適合状況等）を柔軟に設定し、必要な施策に段階的に取り組むことも可能とする。なお、達成期間（暫定的な目標に係る期間を含む。）が 10 年又は 10 年に近い場合には、必要に応じて中間的な評価を行うことが望ましい。また、保全対象種の生息状況の健全性について新たな知見が得られた場合には、測定地点、目標とする達成率、達成期間について、必要な見直しを行うことが望ましい。

『目標とする達成率』は、当該水域区分において達成することが望ましい達成率である。ただし、底層溶存酸素量の達成率については、保全対象種ごとにどの程度の達成率が確保されれば生息・再生産の維持が可能となるのかについて十分な科学的知見が蓄積されているとは言えない状況である。

このため、本検討では、各地点における保全対象種の生息・再生産の観点からの重要性、保全対象種への底層溶存酸素量の影響に関する知見、過去の底層溶存酸素量の測定結果などの入手可能な情報を勘案して、達成率を設定することとした。なお、目標とする達成率の検討では、前述「(1) 保全対象種の生息域・再生産の場として重要な地点の検討」において抽出した重要な地点（★）を考慮するとともに、過去の測定結果における達成状況（○、●）についても考慮して設定する。

具体的には、過去の測定結果において、環境基準を達成した年度（図 2.1 の「A」）が調査期間の半分以上である環境基準点（測定地点）（図 2.1 の「○」に該当）については、達成することを目標とする。次に、環境基準値との差が α mg/L 未満である地点、言い換えれば、環境基準を達成しなかった測定結果に $+\alpha$ mg/L すれば、環境基準を達成した測定結果（図 2.1 の「B」）と「A」の測定結果を併せて、調査期間における年度が

半分以上となる環境基準点（測定地点）（図 2.1 の「●」に該当）についても、達成することを目標とする。さらに、「C」が調査期間内で半分以上の環境基準点（測定地点）（図 2.1 の「×」に該当）であるが、保全対象種の生息域・再生産の場として重要な地点（図 2.1 の★に該当）についても将来達成することを目標とする（以降、「×（★）」と示す）。これにより、当該水域区分における環境基準点（測定地点）の数を分母に、【○+●+×（★）】の数を分子にとって、『目標とする達成率』を求める。

この際、「×（★）」の地点については、将来的に達成することが望ましいが、現状では、測定結果に+α mg/L しても、達成する見通しが見つからない地点である。底層溶存酸素量の改善は、一般的には比較的長期間を要すると考えられることから、当面の目標として『目標とする達成率』に加え、『10 年程度以内に目指す達成率』を設定する。具体的には、達成率の分子を【○+●】の数として『10 年程度以内に目指す達成率』を求める。

さらに、類型指定された水域によっては、地点数が少なくきめ細かな目標の設定が難しい場合や、『10 年程度以内に目指す達成率』が相当程度低くなる場合などが考えられ、必要な場合には、上記の令和 3 年答申にあるように『地点別適合状況』等を柔軟に設定し、きめ細かな目標を立てることも検討する。

（参考：東京湾の場合、水域区分「東京湾奥部①」の東京湾 1、東京湾 3、東京湾 5 及び東京湾 6 において、『地点別適合状況』の目標を設定している。）

また、「×（★）」がない場合、当該水域区分における環境基準点（測定地点）の数を分母に、【○+●】の数を分子にとって、『目標とする達成率』を求める。このような場合には、『10 年程度以内に目指す達成率』は設定しないこととなる。

上記のような方法で目標とする達成率を算定する場合、相当程度目標とする達成率が低くなる場合があり、このような場合には、50%を目安に設定することが考えられる。しかし、水域の地形等を踏まえると、50%の達成率は現実的に達成困難な場合も考えられ、このような場合には地域の実情等を踏まえ、50%未満の達成率を設定すること、又は、直ちに達成率を設定せずに、達成率の検討を引き続き行うこととしても差し支えない。

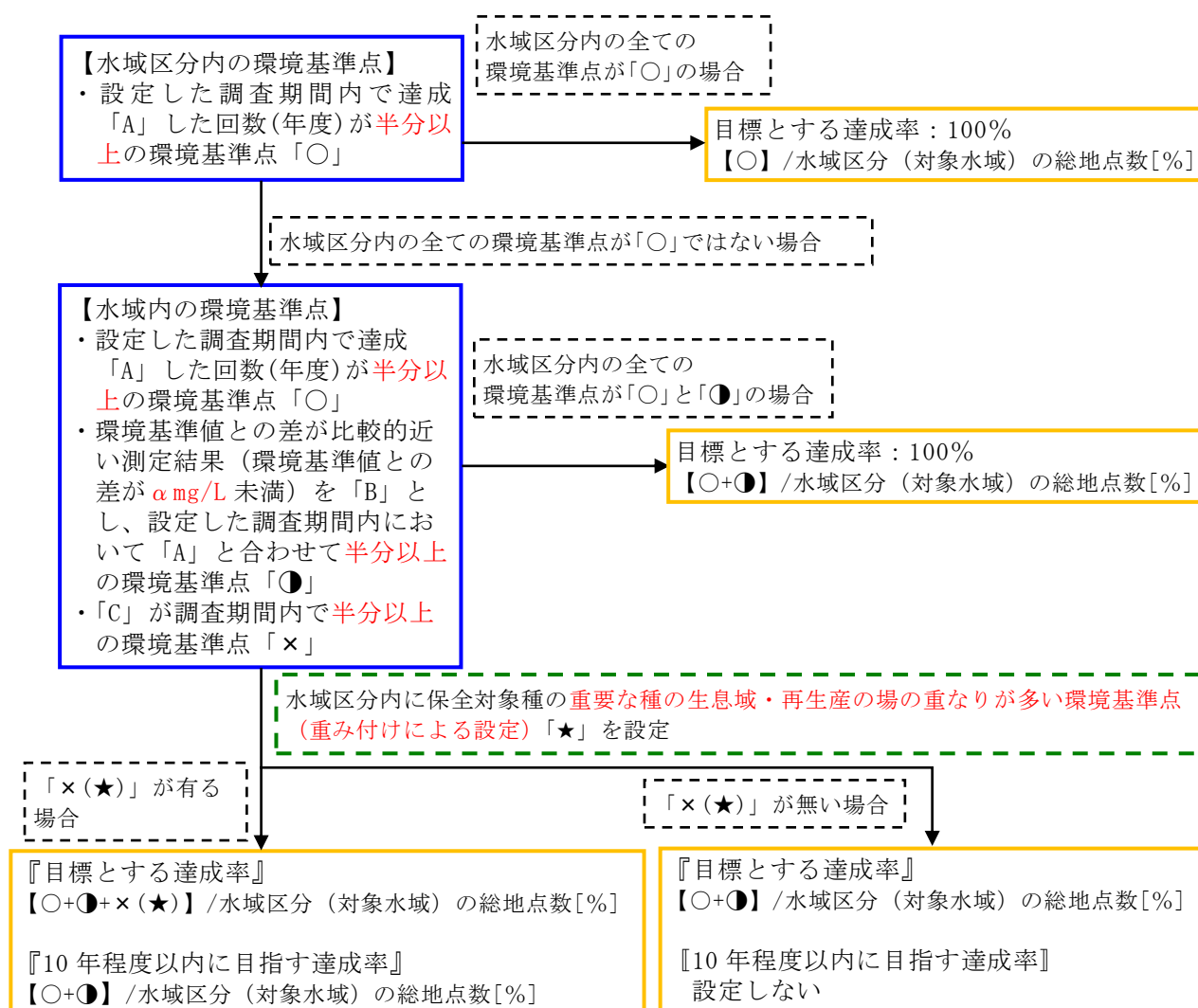
設定した目標とする達成率について、各環境基準点（測定地点）の判定結果の組合せに応じて、達成期間を次のとおり設定する。環境基準点（測定地点）が「○」のみの場合、又は、「○」と「×」のみ、かつ「×」の環境基準点（測定地点）が「★」ではない場合は、「イ 直ちに達成する」とする。水域区分内に「●」の環境基準点（測定地点）が存在し、かつ「×（★）」の環境基準点（測定地点）が存在しない場合は、「ロ 5～10 年以内で可及的速やかに達成する」とする。

また、水域区分内に「×（★）」の環境基準点（測定地点）が存在している場合には、「ハ 暫定的な目標を 10 年程度以内に達成する」とする。

前述図 2.1 における『目標とする達成率』及び『10 年程度以内に目指す達成率』に

について、各水域区分内の「○」、「●」、「×（★）」の数の状況による具体的な手順を図 2.2 に示す。

ここで、赤字で記載しているものは、達成率の導出における定量的な要素であるが、この赤字部分については、対象水域ごとに地域検討会等における議論により、必要な場合には変更しても差し支えない。



備考：1. 緑点線枠は図 2.1(1)の内容の内容、青枠は図 2.1(2)、橙枠は本項の内容である。

2. 上記の赤字の部分について、対象とする水域における地域検討会での議論により、必要な場合には変更しても差し支えない。このほか、地域検討会での議論（地域の実情等）により、目標とする達成率や10年程度以内に達成する達成率等を柔軟に設定しても差し支えない。

図 2.2 底層溶存酸素量の達成率を設定するための基本的な方法を示した手順

3. 国の当てはめ水域における底層溶存酸素量の目標とする達成率及び達成期間について

3.1 東京湾における底層溶存酸素量の目標とする達成率及び達成期間について

「2. 目標とする達成率及び達成期間の設定方法について」で示した内容に即し、東京湾における底層溶存酸素量の目標とする達成率及び達成期間の検討結果を示す。

(1) 保全対象種の生息域・再生産の場として重要な地点の検討

① 保全対象種の生息状況

ア) 魚種別漁獲量の変遷

漁業・養殖業生産統計年報による魚種別漁獲量を図 3.1 に示す。また、東京湾の保全対象種と漁業・養殖業生産統計年報の分類との関係を表 3.1 に示す。

表 3.1 の脚注に記載したように、今回検討している保全対象種の漁獲量が示されていないシロギス、マハゼ、アカガイ、ハマグリ の 4 種は魚種別漁獲量の情報が得られなかった。また、図 3.1 では、昭和 31 年（1956 年）～令和 5 年（2023 年）のグラフと、そのうち過去 10 年間（平成 26 年（2014 年）～令和 5 年（2023 年））を抽出したグラフをそれぞれ示している。なお、千葉県、東京都、神奈川県 の漁獲量は、東京湾以外の海域の漁獲量も含まれていることに注意が必要である。

保全対象種の過去 10 年間の魚種別漁獲量は以下のとおりである。

- ・アナゴ類（マアナゴ）は、平成 29 年（2017 年）以降、ヒラメは平成 26 年（2014 年）以降、イカ類（コウイカ）は平成 27 年（2015 年）以降減少している。
- ・カレイ類（マコガレイ）は東京都を除きやや減少傾向を示している。
- ・クルマエビ及びエビ類（シャコ）は増減がみられるものの、大きな変化はみられない。
- ・アサリ類（アサリ）は平成 27 年（2015 年）以降、低位で推移している。
- ・ナマコ類（マナマコ）の漁獲量の傾向は明確ではない。

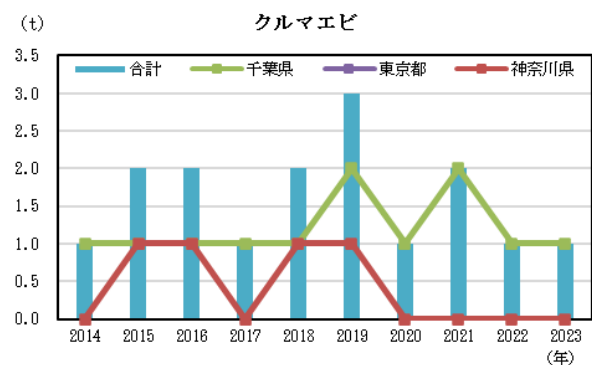
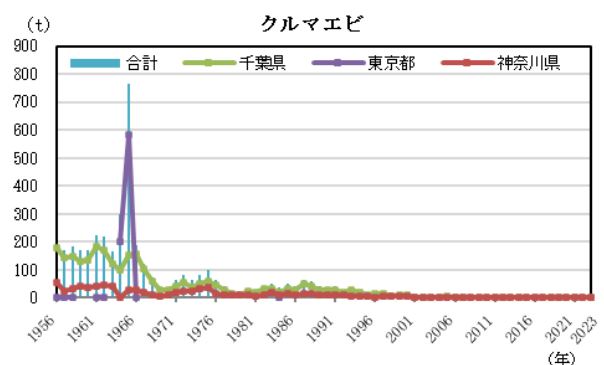
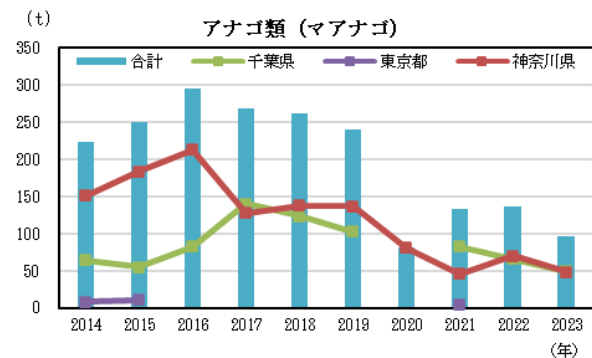
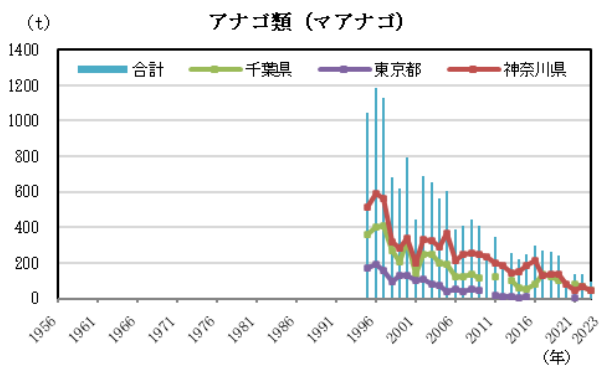
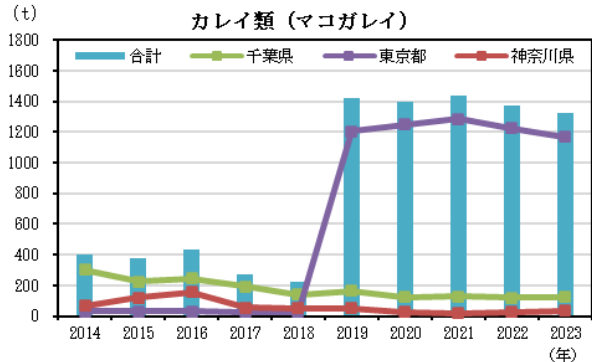
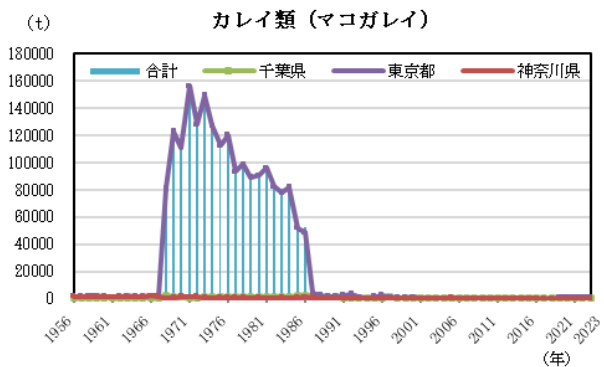
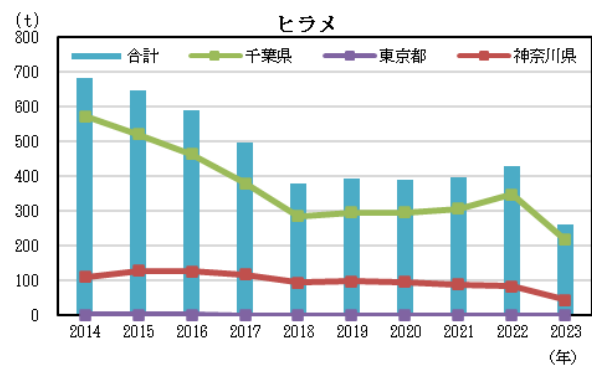
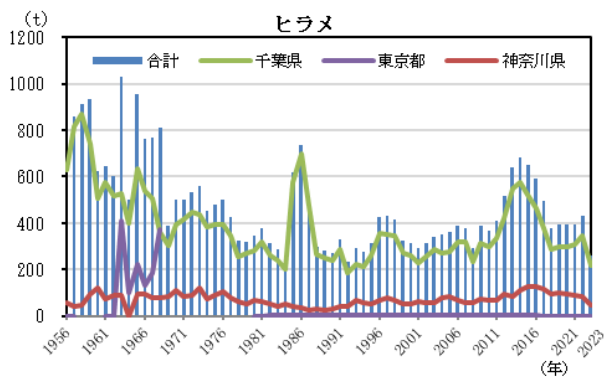
2013 年（平成 25 年）以前について、保全対象種の漁獲量は、アナゴ類（マアナゴ）は 1990 年代中頃、カレイ類（マコガレイ）は 1960 年代後半から 1980 年代中頃、クルマエビは 1960 年代中頃、エビ類（シャコ）は 1960 年代、イカ類（コウイカ）は 2000 年代に、アサリ類（アサリ）は 1960 年代に多く、ヒラメは漁獲量の多い年代が複数回見られた。また、ナマコ類（マナマコ）については 2000 年代後半から 2010 年代後半にかけて未集計であるが、2000 年代に漁獲量が多い状況であった。

なお、標本船調査及びその際に行った漁業者ヒアリングでは、漁獲量は不明であったが、東京湾内に全ての保全対象種の生息が確認されていた。

表 3.1 東京湾の保全対象種と漁業・養殖業生産統計年報の分類との関係

東京湾の保全対象種		漁業・養殖業生産統計年報の分類
魚類	マアナゴ	アナゴ類
	シロギス	個別の情報がない
	マハゼ	個別の情報がない
	ヒラメ	ヒラメ
	マコガレイ	カレイ類
甲殻類	クルマエビ	クルマエビ
	シャコ	エビ類
軟体動物(イカ・タコ類、 貝類)	コウイカ	イカ類
	アカガイ	個別の情報がない
	ハマグリ	個別の情報がない
	アサリ	アサリ類
棘皮動物	マナマコ	ナマコ類

- 注：1. アナゴ類には、マアナゴ以外の種も含まれるが、大部分はマアナゴであり、ほぼマアナゴの漁獲量である。
2. カレイ類は、アブラガレイ、マガレイ、その他カレイ類が対象である。
3. エビ類は、イセエビ、ウチワエビ及びザリガニ類を除くエビ類が対象である。
4. イカ類は、スルメイカ、アカイカ及びその他イカ類が対象である。
5. アサリ類は、アサリ、ヒメアサリが対象である。
6. ナマコ類は、ナマコ、クロホシナマコ、その他ナマコ類が対象である。
7. シロギス、マハゼ、アカガイ、ハマグリは漁獲量が示されていないため、魚種別漁獲量の整理を行わなかった。



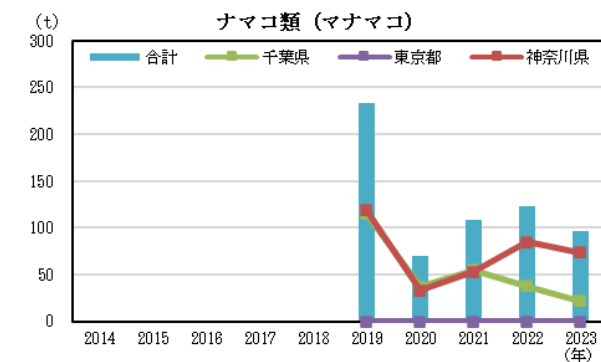
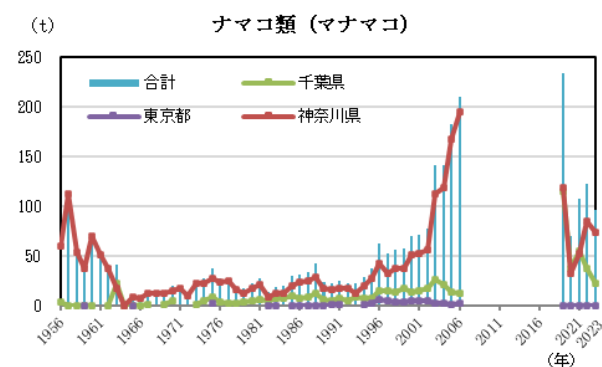
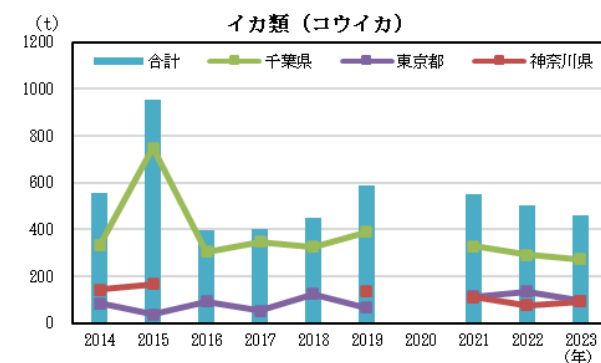
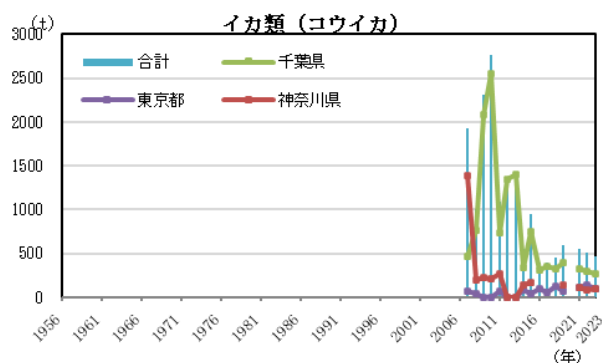
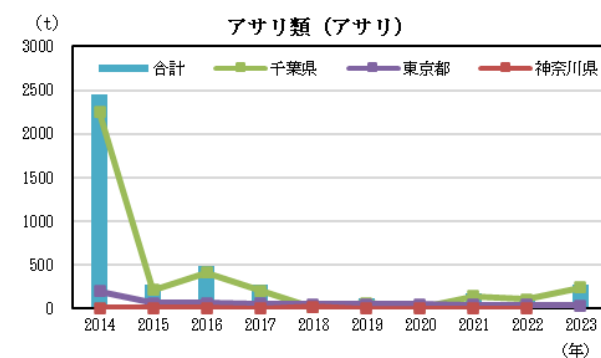
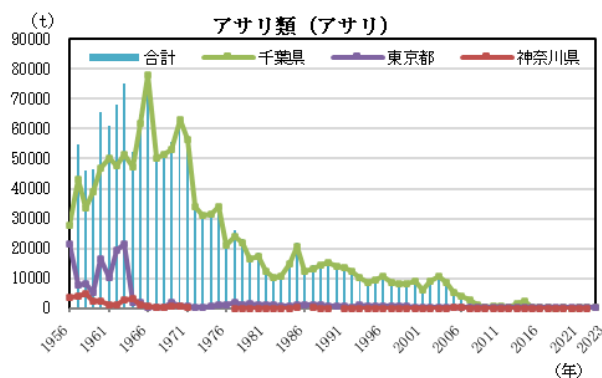
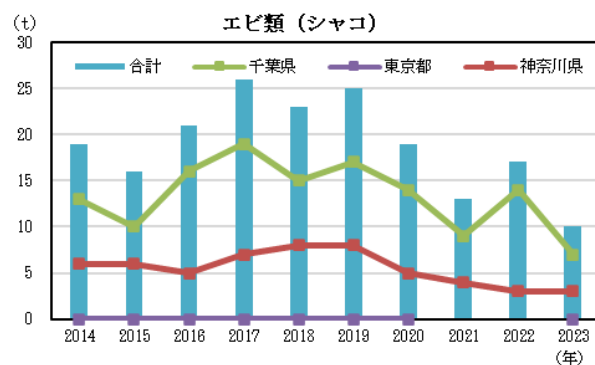
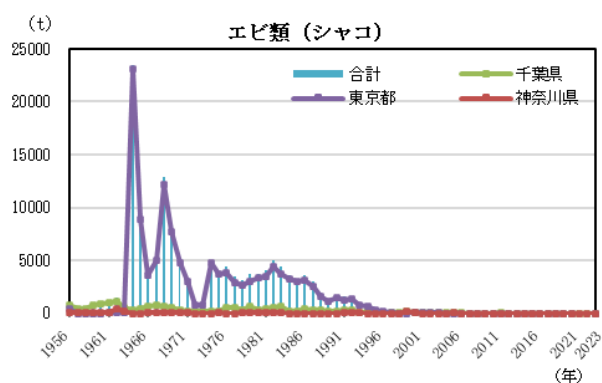
注：1. 左図が昭和31年（1956年）～令和5年（2023年）、右図が平成26年（2014年）～令和5年（2023年）の漁獲量の変遷である。

2. 各図のタイトルの（ ）内の種は、東京湾の保全対象種を表す。

3. カレイ類（マコガレイ）の漁獲量が2018年から2019年にかけて急激に増加したことについて、2019年から「遠洋底びき網」による漁獲量（秘匿情報のため数量不明）が加わったことによると考えられる。

資料：「漁業・養殖業生産統計年報 海面漁業魚種別漁獲量」（政府統計の総合窓口 e-Stat）より作成

図 3.1(1) 魚種別漁獲量の変遷



注：1. 左図が昭和31年（1956年）～令和5年（2023年）、右図が平成26年（2014年）～令和5年（2023年）の漁獲量の変遷である。

2. 各図のタイトルの（ ）内の種は、東京湾の保全対象種を表す。

資料：「漁業・養殖業生産統計年報 海面漁業魚種別漁獲量」（政府統計の総合窓口 e-Stat）より作成

図 3.1(2) 魚種別漁獲量の変遷

イ) 資源評価について

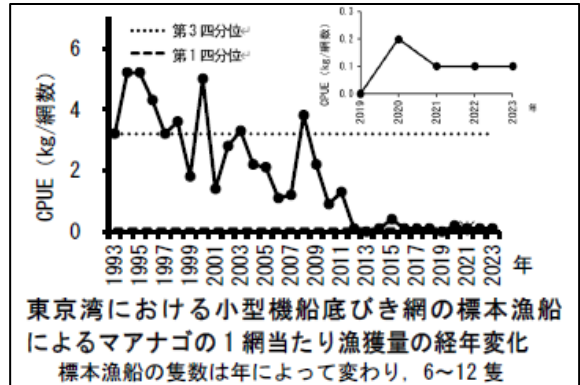
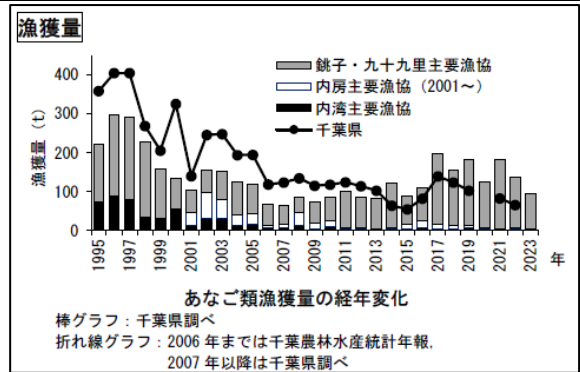
保全対象種のうち、千葉県及び神奈川県に掲載されているマアナゴ、ヒラメ、マコガレイ、コウイカ及びマナマコの資源評価の結果を図 3.2～図 3.6 に示す。なお、東京都では、保全対象種に対して資源評価は行われていない。また、マナマコは神奈川県のみ、コウイカは千葉県のみと情報は一部に限られていることに留意する必要がある。

資源評価を行っている保全対象種 5 種の結果は以下のとおりである。

- ・マアナゴについて、資源水準は千葉県及び神奈川県ともに低位、資源動向は千葉県で不明、神奈川県で減少となっている。
- ・ヒラメについて、資源水準は千葉県で高位、神奈川県で低位、資源動向は千葉県では増加、神奈川県では減少となっている。
- ・マコガレイについて、資源水準は千葉県では中位、神奈川県では低位、資源動向は千葉県では横ばい、神奈川県では減少となっている。
- ・コウイカについて、資源評価は千葉県のみであり、資源水準は低位、資源動向は横ばいとなっている。
- ・マナマコについて、資源評価は神奈川県のみであり、資源水準は低位、資源動向は増加となっている。

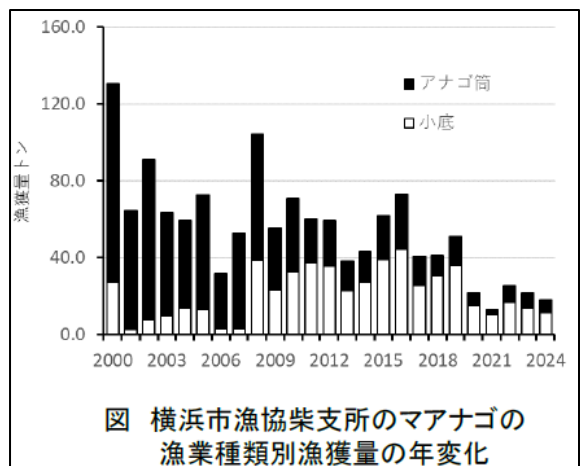
【千葉県】

- ・資源水準：低位（東京湾）
- ・資源動向：不明（東京湾）
- ・東京湾においては、あなご筒、小型機船底びき網で漁獲される。
- ・千葉県におけるあなご類の漁獲量は、1998 年以降、減少傾向で、近年東京湾では10トン以下の低水準であるのに対し、銚子・九十九里では90～180 トン程度の増加傾向にある。
- ・資源水準及び動向は、小型機船底びき網（東京湾）の操業日誌から集計した CPUE（1 網当たりの漁獲量）で判断した。
- ・なお、資源水準及び資源動向について、近年の資源水準は低水準であり、現在、集計対象の標本漁船ではマアナゴを目的とした操業がほとんど行われていないことから、最近5年間の1網当たり漁獲量の変化は資源動向を的確に表していない可能性があり、不明とした。



【神奈川県】

- ・資源水準：低位
- ・資源動向：減少
- ・本県の代表的な水揚げ地である横浜市漁協柴支所の漁業種類別漁獲量は 1992 年の 248 トンをピークに減少傾向が続き、近年では漁獲の主体は小型機船底びき網になっている。2020 年以降はさらに減少し、2024 年漁期も約 17.8 トンと低迷が続いていることから、動向は「低位・減少」と判断した。
- ・対象漁業：あなご筒、小型機船底びき網



備考：資源評価では、資源水準と資源動向を示している。資源水準とは、過去 20 年以上にわたる資源量や資源量指標値、漁獲量等の推移から「高位・中位・低位」の 3 段階で区分した水準である。資源動向とは、資源量（資源量指数、漁獲量）の過去 5 年間の推移から「増加傾向・横ばい・減少傾向」に区分したものである。なお、資源指数とは漁獲調査や漁業の CPUE を漁区ごとに累積したものである。

注：千葉県のアナゴ類漁獲量の経年変化について、2007 年以降、折れ線グラフは農林水産省が集計している海面漁業生産統計の数値（「属人」集計値）である。一方、棒グラフについては千葉県が独自に収集した主要漁協の漁獲量であり、他県漁船が千葉県内で水揚げした際の数値も含んでいる。

資料：1. 千葉県 HP「令和 6 年度千葉県沿岸水産資源の資源評価」

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/gyoshigen/sigenhyoka/sigenhyouka-r6.html>)

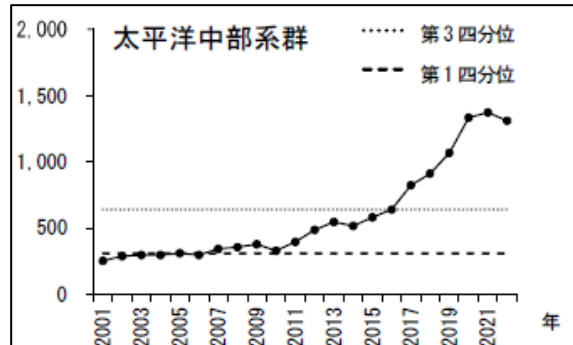
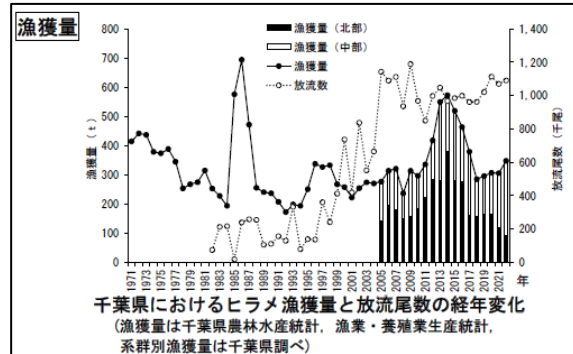
2. 神奈川県 HP「令和 6 年神奈川県周辺海域における重要水産資源の動向」

(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mx7/kikaku/r6doukou.html>)

図 3.2 マアナゴの資源評価結果

【千葉県】

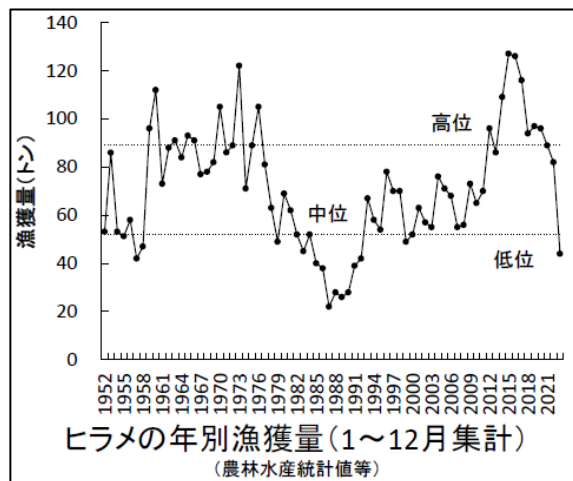
- ・資源水準：高位(太平洋中部系群(鴨川市以西))
- ・資源動向：増加(太平洋中部系群(鴨川市以西))
- ・砂浜域に生息し、銚子～富津の沿岸で底びき網、刺網、定置網などにより漁獲される。
- ・漁獲量変動・移動特性等から、勝浦市以北は太平洋北部系群、鴨川市以西は太平洋中部系群に区分される。
- ・1971 年以降、漁獲量が一時的に増加した 1985～1987 年及び 2013～2015 年を除き、300t 前後で推移した。2022 年は 348t であった。
- ・資源水準及び動向は漁獲物測定、統計から推定される 1 歳魚以上の資源量で判断した。
- ・2022 年の資源水準は太平洋中部系群で高位水準にある。最近 5 年間の資源動向は太平洋中部系群で増加となった。



太平洋中部系群における推定資源量の経年変化

【神奈川県】

- ・資源水準：低位
- ・資源動向：減少
- ・種苗放流は 1987 年に開始した。2012 年頃から天然魚主体に漁獲量が大きく増加したが、2015 年をピークに近年は減少傾向が続いており、特に 2023 年は大きく減少した。これは、天然魚及び放流魚ともに加入量が年々減少していることによる。
- ・2023 年度の資源評価調査報告書では、太平洋中部系群（千葉県～三重県）のヒラメ資源は「高位・減少」であるが、本県漁獲量は 2023 年に「低位」へ推移し、過去 5 年と比べると動向は「減少」と判断した。
- ・対象漁業：刺網、定置網、延縄、小型底びき網



備考：資源評価では、資源水準と資源動向を示している。資源水準とは、過去 20 年以上にわたる資源量や資源量指標値、漁獲量等の推移から「高位・中位・低位」の 3 段階で区分した水準である。資源動向とは、資源量（資源量指数、漁獲量）の過去 5 年間の推移から「増加傾向・横ばい・減少傾向」に区分したものである。なお、資源指数とは漁獲調査や漁業の CPUE を漁区ごとに累積したものである。

資料：1. 千葉県 HP「令和 6 年度千葉県沿岸水産資源の資源評価」

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/gyoshigen/sigenhyoka/sigenhyouka-r6.html>)

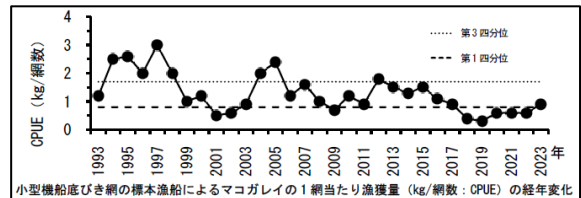
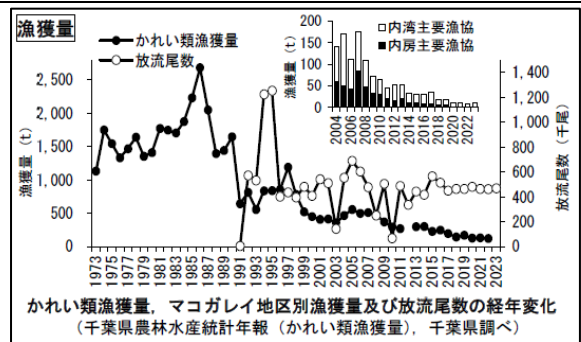
2. 神奈川県 HP「令和 6 年神奈川県周辺海域における重要水産資源の動向」

(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mx7/kikaku/r6doukou.html>)

図 3.3 ヒラメの資源評価結果

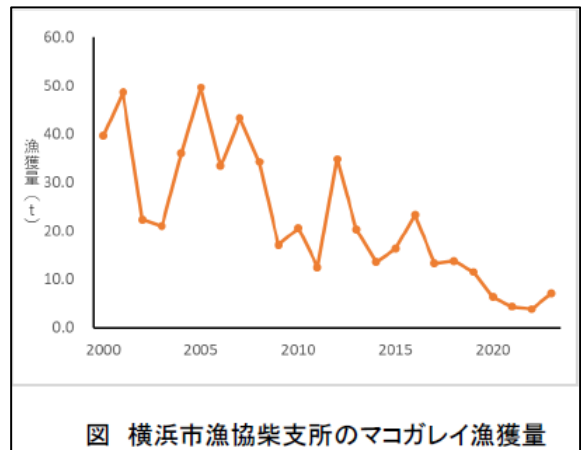
【千葉県】

- ・資源水準：中位
- ・資源動向：横ばい
- ・東京湾においては、内湾から内房海域で、小型機船底びき網、刺網で漁獲される。
- ・産卵期は冬季で、湾奥、神奈川県沿岸、内房などに産卵場があり、湾奥が主産卵場と考えられている。
- ・1991年から種苗放流を実施。
- ・マコガレイの漁獲量は、長期的に減少傾向にあり、2008年には100トン程度だったが、近年は10～20トン程度で低迷している。
- ・資源水準及び動向は、小型機船底びき網の操業日誌から集計したCPUE（1網当たりの漁獲量）で判断した。



【神奈川県】

- ・資源水準：低位
- ・資源動向：減少
- ・東京湾のマコガレイの漁獲量は1980～90年代にかけて激減し、2000年代以降も緩やかに減少した。横浜市漁協柴支所の漁獲量は2017年以降さらに減少して低迷しており、水準は「低位」と判断した。
- ・2023年の漁獲量は若干上向いたが、2024年には半減し、過去5年の推移から動向は「減少」と判断した。
- ・対象漁業：小型底びき網、刺網



備考：資源評価では、資源水準と資源動向を示している。資源水準とは、過去20年以上にわたる資源量や資源量指標値、漁獲量等の推移から「高位・中位・低位」の3段階で区分した水準である。資源動向とは、資源量（資源量指数、漁獲量）の過去5年間の推移から「増加傾向・横ばい・減少傾向」に区分したものである。なお、資源指数とは漁獲調査や漁業のCPUEを漁区ごとに累積したものである。

資料：1. 千葉県 HP「令和6年度千葉県沿岸水産資源の資源評価」

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/gyoshigen/sigenhyoka/sigenhyouka-r6.html>)

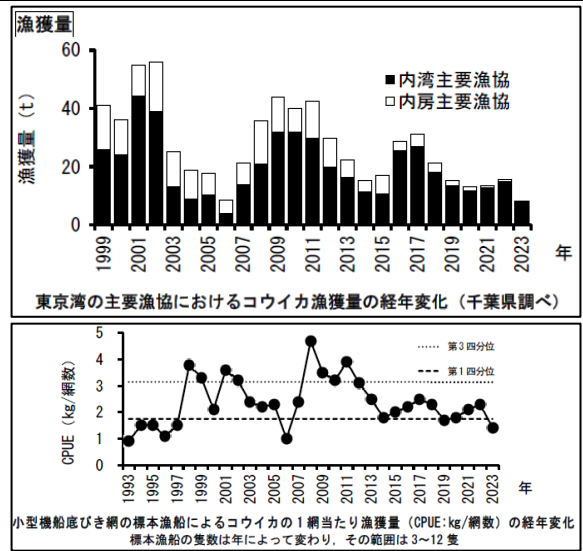
2. 神奈川県 HP「令和6年神奈川県周辺海域における重要水産資源の動向」

(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mx7/kikaku/r6doukou.html>)

図 3.4 マコガレイの資源評価結果

【千葉県】

- ・資源水準：低位
- ・資源動向：横ばい
- ・千葉県沿岸では、主に東京湾内湾南部～内房北部で小型機船底びき網により漁獲される。
- ・東京湾における産卵期は春季で、アマモ類や海藻類などに産卵する。
- ・寿命は約1年で、産卵後に死亡するため、夏季にはほとんど漁獲がみられなくなる。
- ・東京湾の主要2漁協におけるコウイカ漁獲量は、1999年以降増減を繰り返し、近年では2017年に31トンとなった後、2023年には8トン記録した。
- ・資源水準及び動向は、小型機船底びき網の操業日誌から集計したCPUE（1網当たりの漁獲量）で判断した。



備考：資源評価では、資源水準と資源動向を示している。資源水準とは、過去20年以上にわたる資源量や資源量指標値、漁獲量等の推移から「高位・中位・低位」の3段階で区分した水準である。資源動向とは、資源量（資源量指数、漁獲量）の過去5年間の推移から「増加傾向・横ばい・減少傾向」に区分したものである。なお、資源指数とは漁獲調査や漁業のCPUEを漁区ごとに累積したものである。

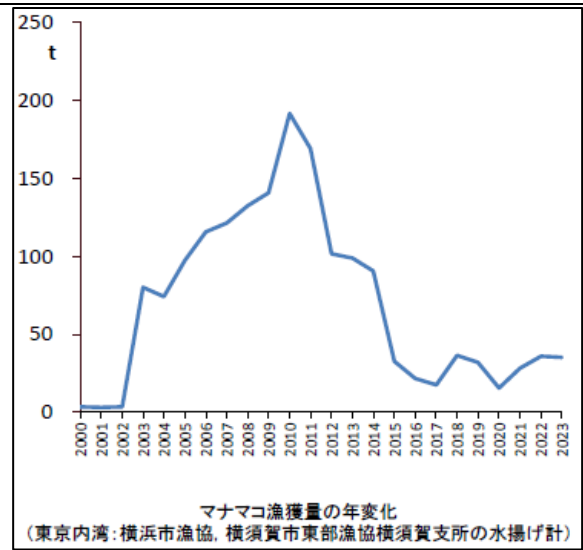
資料：千葉県HP「令和6年度千葉県沿岸水産資源の資源評価」

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/gyoshigen/sigenhyoka/sigenhyouka-r6.html>)

図 3.5 コウイカの資源評価結果

【神奈川県】

- ・資源水準：低位
- ・資源動向：増加
- ・東京内湾（横浜市、横須賀市）のマナマコの漁獲量は2003年から2010年（191トン）まで増加したが、その後減少した。
- ・2015年以降は16～36トンの低水準であり、直近5年間では「低位・増加」で推移している。
- ・2015年から一部の漁業協同組合では、禁漁による資源保護を行っている。2024年は操業する漁業者が減少した。
- ・対象漁業：小型底びき網、刺網、覗突き等



備考：資源評価では、資源水準と資源動向を示している。資源水準とは、過去20年以上にわたる資源量や資源量指標値、漁獲量等の推移から「高位・中位・低位」の3段階で区分した水準である。資源動向とは、資源量（資源量指数、漁獲量）の過去5年間の推移から「増加傾向・横ばい・減少傾向」に区分したものである。なお、資源指数とは漁獲調査や漁業のCPUEを漁区ごとに累積したものである。

資料：神奈川県HP「令和6年神奈川県周辺海域における重要水産資源の動向」

(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mx7/kikaku/r6doukou.html>)

図 3.6 マナマコ資源評価結果

② 保全対象種の生息域・再生産における底層溶存酸素量の目標値に対する適合状況

各保全対象種の生息域及び再生産の場の底層溶存酸素量の適合状況を確認するために、過去 10 年間の底層溶存酸素量の測定結果（各月の測定値）による生息域及び再生産の場における底層溶存酸素量の目標値に対する適合状況を表 3.2、表 3.3 に示す。なお、保全対象種の生息域及び再生産の場は、水深、底質及び関係機関からのヒアリングにより設定したものである。

保全対象種の適合状況について、生息域については全ての種で概ね 80%以上であり、大きな違いがみられない。一方、再生産の場に対しては相対的に適合率が高い種、低い種及び中程度の種の 3 段階に区分した。区分方法としては適合率の最小値と最大値で 3 分割になるように設定した。具体的には、再生産の場における底層溶存酸素量の目標値に対する適合率において、相対的に適合率が高い種として 10 年間の各年の適合率の最小値が 90%以上、相対的に適合率が低い種として 10 年間の各年の適合率の最大値が 80%未満、それ以外を中程度の種として区分した。

- ・再生産の場の適合率の最小値が 90%以上となる種を相対的に高い種として区分
： マハゼ、ヒラメ、マコガレイ
- ・再生産の場の適合率の最大値が 80%以上、最小値が 90%未満となる種を相対的に中程度として区分
： シロギス、クルマエビ、コウイカ、アサリ、マナマコ
- ・再生産の場の適合率の最大値が 80%未満となる種を相対的に低い種として区分
： シャコ、アカガイ、ハマグリ

表 3.2 各保全対象種の生息域及び再生産の場に対する適合状況（各月の測定値）

保全対象種	生息域及び再生産の場における底層溶存酸素量の目標値に対する適合状況	
	生息域 ※通年（1～12月）	再生産の場※再生産の期間
マアナゴ	目標値（3mg/L）： <u>適合率は84～92%</u>	水域内に存在しない
シロギス	目標値（3mg/L）： <u>適合率は86～94%</u>	目標値（4mg/L）： <u>適合率は55～82%</u> ※再生産の期間：7-10月
マハゼ	目標値（2mg/L）： <u>適合率は85～95%</u>	目標値（3mg/L）： <u>適合率は96～100%</u> ※再生産の期間：1-5月
ヒラメ	目標値（3mg/L）： <u>適合率は87～94%</u>	目標値（4mg/L）： <u>適合率は95～99%</u> ※再生産の期間：2-6月
マコガレイ	目標値（3mg/L）： <u>適合率は82～91%</u>	目標値（4mg/L）： <u>適合率は98～100%</u> ※再生産の期間：11-2月
クルマエビ	目標値（2mg/L）： <u>適合率は94～100%</u>	目標値（4mg/L）： <u>適合率は73～87%</u> ※再生産の期間：4-10月
シャコ	目標値（3mg/L）： <u>適合率は82～92%</u>	目標値（4mg/L）： <u>適合率は62～77%</u> ※再生産の期間：4-8月
コウイカ	目標値（3mg/L）： <u>適合率は87～94%</u>	目標値（4mg/L）： <u>適合率は73～90%</u> ※再生産の期間：3-6月
アカガイ	目標値（2mg/L）： <u>適合率は84～94%</u>	目標値（4mg/L）： <u>適合率は43～67%</u> ※再生産の期間：5-10月
ハマグリ	目標値（2mg/L）： <u>適合率は78～93%</u>	目標値（4mg/L）： <u>適合率は31～57%</u> ※再生産の期間：5-11月
アサリ	目標値（2mg/L）： <u>適合率は83～95%</u>	目標値（4mg/L）： <u>適合率は30～83%</u> ※再生産の期間：3-7、9-11月
マナマコ	目標値（2mg/L）： <u>適合率は90～97%</u>	目標値（2mg/L）： <u>適合率は89～98%</u> ※再生産の期間：4-7月

備考：適合状況について、各保全対象種の生息域及び再生産の場に位置する測定地点を対象とした。再生産の期間は保全対象種によって異なるため、各月の測定結果を基に目標値に対する適合率を算出した。
なお、生息について、全ての保全対象種が通年である。

表 3.3 保全対象種の生息域及び再生産の場に対する各年度の適合状況（各月の測定値）

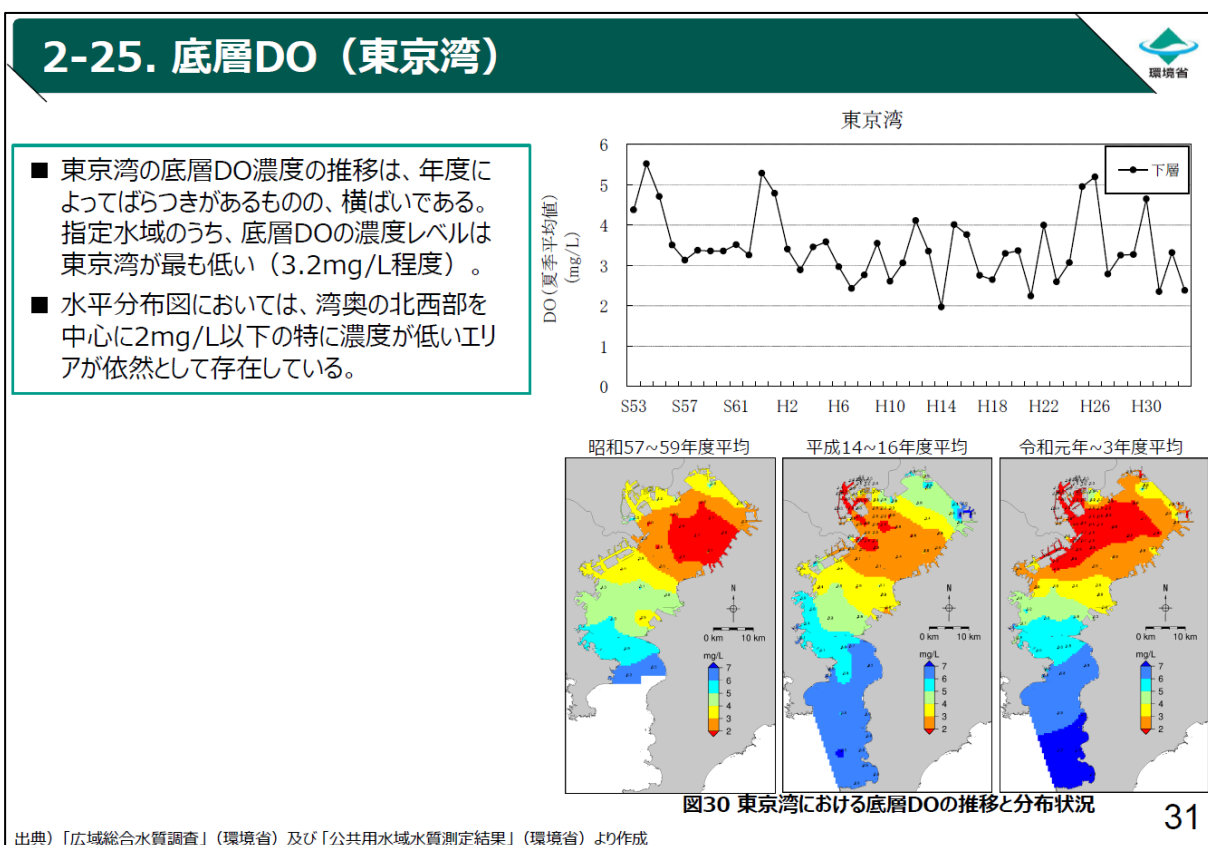
生息/ 再生産	保全対象種	東京湾に位置 する測定地点数	生息域及び再生産の場に位置する測定地点の適合状況 (底層溶存酸素量：各年度の月別測定結果(検体値扱いとなる))										保全対象種別の適合率		
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	最小値	最大値	平均値 (10年間の全検体値)
生息	マアナゴ (生物2類型)	34	328/372 88%	331/372 89%	324/372 87%	340/372 91%	344/372 92%	317/372 85%	319/372 86%	312/372 84%	293/337 87%	304/337 90%	312/372 84%	344/372 92%	3212/3679 87%
	シロギス (生物2類型)	30	297/330 90%	306/330 93%	296/330 90%	310/330 94%	309/330 94%	284/330 86%	303/330 92%	287/330 87%	267/297 90%	287/326 88%	284/330 86%	310/330 94%	2946/3263 90%
	マハゼ (生物3類型)	29	312/342 91%	319/342 93%	306/342 89%	324/342 95%	325/342 95%	291/342 85%	321/342 94%	305/342 89%	270/307 90%	309/338 91%	291/342 85%	325/342 95%	3082/3381 91%
	ヒラメ (生物2類型)	31	309/342 90%	318/342 93%	308/342 90%	322/342 94%	321/342 94%	296/342 87%	315/342 92%	299/342 87%	279/309 90%	299/338 88%	296/342 87%	322/342 94%	3066/3383 91%
	マコガレイ (生物2類型)	50	492/564 87%	501/564 89%	485/564 86%	511/564 91%	514/564 91%	462/564 82%	485/564 86%	468/564 83%	442/513 86%	458/554 83%	462/564 82%	514/564 91%	4818/5579 86%
	クルマエビ (生物3類型)	25	257/264 97%	262/264 99%	255/264 97%	263/264 100%	261/264 99%	248/264 94%	259/264 98%	254/264 96%	226/235 96%	259/264 98%	248/264 94%	263/264 100%	2544/2611 97%
	シヤコ (生物2類型)	41	405/462 88%	416/462 90%	398/462 86%	423/462 92%	423/462 92%	378/462 82%	394/462 85%	383/462 83%	355/412 86%	377/456 83%	378/462 82%	423/462 92%	3952/4564 87%
	コウイカ (生物2類型)	31	309/342 90%	318/342 93%	308/342 90%	322/342 94%	321/342 94%	296/342 87%	315/342 92%	299/342 87%	279/309 90%	299/338 88%	296/342 87%	322/342 94%	3066/3383 91%
	アカガイ (生物3類型)	33	354/396 89%	362/396 91%	351/396 89%	372/396 94%	374/396 94%	331/396 84%	359/396 91%	336/396 85%	313/363 86%	344/390 88%	331/396 84%	374/396 94%	3496/3921 89%
	ハマグリ (生物3類型)	5	50/60 83%	47/60 78%	50/60 83%	53/60 88%	55/60 92%	47/60 78%	56/60 93%	50/60 83%	47/60 78%	44/56 79%	47/60 78%	56/60 93%	499/596 84%
	アサリ (生物3類型)	15	165/180 92%	165/180 92%	160/180 89%	171/180 95%	171/180 95%	149/180 83%	170/180 94%	161/180 89%	143/166 86%	158/176 90%	149/180 83%	171/180 95%	1613/1782 91%
	マナマコ (生物3類型)	31	324/342 95%	327/342 96%	319/342 93%	333/342 97%	333/342 97%	308/342 90%	332/342 97%	318/342 93%	284/309 92%	320/338 95%	308/342 90%	333/342 97%	3198/3383 95%
再生産	シロギス (生物1類型) 期間：7-10月	26	66/98 67%	71/98 72%	59/98 60%	75/98 77%	80/98 82%	63/98 64%	73/98 74%	54/98 55%	46/75 61%	61/98 62%	54/98 55%	80/98 82%	648/957 68%
	マハゼ (生物2類型) 期間：1-5月	16	79/80 99%	78/80 98%	80/80 100%	78/80 98%	80/80 100%	77/80 96%	79/80 99%	78/80 99%	78/80 98%	75/77 97%	77/80 96%	80/80 100%	783/797 98%
	ヒラメ (生物1類型) 期間：2-6月	18	74/76 97%	74/76 97%	74/76 97%	75/76 99%	74/77 96%	73/77 95%	73/77 95%	76/77 99%	74/77 96%	74/77 96%	73/77 95%	76/77 99%	741/766 97%
	マコガレイ (生物1類型) 期間：11-2月	18	62/62 100%	62/62 100%	62/62 100%	62/62 100%	62/62 100%	61/62 98%	62/62 100%	62/62 100%	58/58 100%	62/62 100%	61/62 98%	62/62 100%	615/616 100%
	クルマエビ (生物1類型) 期間：4-10月	29	143/181 79%	147/181 81%	136/181 75%	152/181 84%	159/182 87%	139/182 76%	150/182 82%	133/182 73%	119/160 74%	139/182 76%	133/182 73%	159/182 87%	1417/1794 79%
	シヤコ (生物1類型) 期間：4-8月	46	152/216 70%	148/216 69%	149/216 69%	166/216 77%	165/217 76%	135/217 62%	147/217 68%	140/217 65%	136/217 63%	144/217 66%	135/217 62%	166/216 77%	1482/2166 68%
	コウイカ (生物1類型) 期間：3-6月	15	51/60 85%	54/60 90%	48/60 80%	54/60 90%	51/60 85%	48/60 80%	51/60 85%	50/60 83%	44/60 73%	50/59 85%	44/60 73%	54/60 90%	501/599 84%
	アカガイ (生物1類型) 期間5-10月	33	109/198 55%	113/198 57%	97/198 49%	128/198 65%	132/198 67%	86/198 43%	95/198 48%	95/198 48%	78/168 46%	94/197 48%	86/198 43%	132/198 67%	1027/1949 53%
	ハマグリ (生物1類型) 期間：5-11月	5	16/35 46%	17/35 49%	13/35 37%	15/35 43%	20/35 57%	14/35 40%	20/35 57%	15/35 43%	11/35 31%	14/35 40%	11/35 31%	20/35 57%	155/350 44%
	アサリ (生物1類型) 期間：3-7月	15	86/120 72%	98/120 82%	79/120 66%	99/120 83%	94/120 78%	80/120 67%	94/120 78%	84/120 70%	32/106 30%	86/119 72%	32/106 30%	99/120 83%	832/1185 70%
	マナマコ (生物3類型) 期間：4-7月	31	108/114 95%	108/114 95%	112/114 98%	109/114 96%	111/114 97%	101/114 89%	111/114 97%	104/114 91%	103/114 90%	109/114 96%	101/114 89%	112/114 98%	1076/1140 94%

備考：1. 東京湾に位置する測定地点数は、各保全対象種の生息域及び再生産の場に位置する環境基準点（測定地点）の点数である。

2. 生息及び再生産の適合状況は、各月の環境基準点（測定結果）を基に目標値に対する適合率として算出した。

③ 貧酸素水塊の状況

底層溶存酸素量について、中央環境審議会 水・土壌農薬部会 第1回総量削減専門委員会（令和6年12月24日）の資料によると、東京湾の底層溶存酸素量は、年度によってばらつきがあるものの、横ばいである。また、水平分布図において、湾奥の北西部を中心に2mg/L以下の特に濃度の低いエリアが依然として存在している。



出典）「広域総合水質調査」（環境省）及び「公共用水域水質測定結果」（環境省）より作成

④ 保全対象種の生息状況への底層溶存酸素量の影響に関する考察

保全対象種の生息状況の健全性に関して、「① 保全対象種の生息状況」で把握した魚種別漁獲量や資源評価の内容（底層溶存酸素量との関係を含む。）、「② 保全対象種の生息域・再生産の場における底層溶存酸素量の目標値に対する適合状況」で把握した保全対象種の生息域・再生産の場における底層溶存酸素量の目標値に対する適合状況、「③ 貧酸素水塊の状況」で把握した貧酸素水塊の状況を踏まえ、各保全対象種の生息状況への底層溶存酸素量の影響に関する考察を行った。考察の結果を表 3.4 に示す。

表 3.4(1) 各保全対象種の生息状況への底層溶存酸素量の影響に関する考察

保全対象種	生息状況への底層溶存酸素量の影響に関する考察
マアナゴ	・本種の漁獲量は平成 29 年度（2017 年）以降減少傾向。 ・資源水準は千葉県及び神奈川県で低位、資源動向は千葉県では不明、神奈川県では減少。 ・生息域の目標値 (3mg/L) に対する適合率 ：各月の測定値 84～92% ※再生産の場は類型指定した水域に存在しない。 ・<u>資源減少のひとつとして貧酸素水塊による生育場の縮小があげられている¹⁾</u>。 1) 東京湾研究会, 中央ブロック水産業関係研究開発推進会議(2013), 江戸前の復活! 東京湾の再生をめざして。
シロギス	・本種の生息は漁業者ヒアリング（標本船調査）より確認。 ・生息域の目標値 (3mg/L) に対する適合率 ：各月の測定値 86～94% ・再生産の場の目標値 (4mg/L) に対する適合率 ：各月の測定値 55～82% ・堀江ら²⁾によると、「湾内の生息している魚類は、(中略) 流況・貧酸素に対応し最適な場を見つけ移動・生息していることを確認」しており、生息においては底層溶存酸素量による影響を必ずしも強く受けているわけではないと考えられる。 2) 堀江岳人, 岡田知也, 田中仁, 水環境の長期変動及び短期変動が湾内の魚類へ与える影響, 土木学会論文集 B2(海岸工学). Vol. 71, No. 2, I _1369～I _1374, 2015
マハゼ	・本種の生息は漁業者ヒアリング（標本船調査）より確認。 ・生息域の目標値 (2mg/L) に対する適合率 ：各月の測定値 85～95% ・再生産の場の目標値 (3mg/L) に対する適合率 ：各月の測定値 96～100% ・東京都資料³⁾によると、漁獲量データがないため資源動向は不明、ふ化仔魚が採捕されて一定規模での再生産を確認 ・<u>貧酸素水塊, 河口攪乱による水質・底質環境の悪化に伴う稚魚の減耗, 産卵場の荒廃があげられている⁴⁾</u>。 3) 東京都 HP 「令和元年度 主要成果集(水産)」 (https://www.ifarc.metro.tokyo.lg.jp/survey/uploads/26b8af490d9e25c84e897aa57719_1f1b.pdf) 4) 東京湾研究会, 中央ブロック水産業関係研究開発推進会議(2013), 江戸前の復活! 東京湾の再生をめざして。

表 3.4(2) 各保全対象種の生息状況への底層溶存酸素量の影響に関する考察

保全対象種	生息状況への底層溶存酸素量の影響に関する考察
ヒラメ	・漁獲量の多い年代が複数回見られているが、平成 26 年度(2014 年)以降減少傾向。 ・資源水準は千葉県で高位、神奈川県で低位、資源動向は千葉県では増加、神奈川県では減少。 ・生息域の目標値(3mg/L)に対する適合率 ：各月の測定値 87～94% ・再生産の場の目標値(4mg/L)に対する適合率 ：各月の測定値 95～99% ・資源減少の要因として、底層溶存酸素量の減少による影響に関する文献等が確認できなかった。
マコガレイ	・本種の漁獲量は、東京都を除きやや減少傾向。 ・資源水準は千葉県では中位、神奈川県では低位、資源動向は千葉県では横ばい、神奈川県では減少。 ・生息域の目標値(3mg/L)に対する適合率 ：各月の測定値 82～91% ・再生産の場の目標値(4mg/L)に対する適合率 ：各月の測定値 98～100% ・カレイ類の生態系ネットワーク構造にボトルネックを生じさせている阻害要因として、<u>稚魚期は、高水温、貧酸素水塊、産卵期は底質の悪化と高水温があげられている⁵⁾</u>。 5)「カレイ類の生態系ネットワーク修復による資源回復に向けたガイドライン」(2020 年 9 月、農林水産省農林水産技術会議事務局、国立研究開発法人水産研究・教育機構)
クルマエビ	・本種の漁獲量は、1960 年代中頃に漁獲量が多かったが、その後低位に推移しており、過去 10 年間に於いて大きな変化は見られない。 ・生息域の目標値(2mg/L)に対する適合率 ：各月の測定値 94～100% ・再生産の場の目標値(4mg/L)に対する適合率 ：各月の測定値 73～87% ・阪地ら⁶⁾によると千葉県と神奈川県におけるクルマエビ漁獲量は、1956 年には最大の 236 トンであったが、1968 年以降は 100 トン未満、2001 年以降は数トンにまで激減し、2017 年の漁獲量はわずか 1 トンであった。クルマエビの稚エビは干潟を着底・生育場とすることから、埋立てによる干潟の消失が資源に悪影響を及ぼしたと推定。 ・<u>資源減少の要因として貧酸素水塊によるへい死があげられている⁷⁾</u>。 6)阪地英男, 西本篤史, 東京湾におけるクルマエビ稚エビ着底状況, 東京湾の漁業と環境, 第 11 号, 21, (2020) 7)東京湾研究会, 中央ブロック水産業関係研究開発推進会議(2013), 江戸前の復活! 東京湾の再生をめざして。
シャコ	・エビ類の漁獲量として、1960 年代に漁獲量が多かったが、その後低位に推移しており、過去 10 年間に於いて大きな変化は見られない。 ・生息域の目標値(3mg/L)に対する適合率 ：各月の測定値 82～92% ・再生産の場の目標値(4mg/L)に対する適合率 ：各月の測定値 62～77% ・シャコの生物量が回復しない原因として、貧酸素水塊の可能性が高いことが分かってきた⁸⁾。 ・<u>資源減少の要因として貧酸素・無酸素水塊による春生まれ幼生の減耗があげられている⁹⁾</u>。 8)国立研究開発法人国立環境研究所 HP「05. 貧酸素水塊が東京湾の底棲魚介類に及ぼす影響」(https://www.nies.go.jp/risk_health/hirola/hiroba05_05.html) 9)東京湾研究会, 中央ブロック水産業関係研究開発推進会議(2013), 江戸前の復活! 東京湾の再生をめざして。

表 3.4(3) 各保全対象種の生息状況への底層溶存酸素量の影響に関する考察

保全対象種	生息状況への底層溶存酸素量の影響に関する考察
コウイカ	・イカ類として、2000 年代に漁獲量が多く、平成 27 年（2015 年）以降減少傾向。 ・資源評価より、千葉県で資源水準は低位、資源動向は横ばい。 ・生息域の目標値(3mg/L)に対する適合率 ：各月の測定値 87～94% ・再生産の場の目標値(4mg/L)に対する適合率 ：各月の測定値 73～90% ・<u>資源減少要因のひとつとして貧酸素があげられている¹⁰⁾</u>。 10) 東京湾研究会, 中央ブロック水産業関係研究開発推進会議(2013), 江戸前の復活! 東京湾の再生をめざして。
アカガイ	・本種の生息は漁業者ヒアリング（標本船調査）、「令和 5 年度 東京湾環境一斉調査 調査結果」（令和 6 年 3 月）により確認。 ・生息域の目標値(2mg/L)に対する適合率 ：各月の測定値 84～94% ・再生産の場の目標値(4mg/L)に対する適合率 ：年間測定値 43～67% ・アカガイの減少について、1973 年の神奈川県側の大規模な埋立事業に伴いアカガイの生息場（漁場）の減少が要因¹¹⁾ ・<u>資源減少要因のひとつとして貧酸素水塊によるへい死があげられている¹²⁾</u>。 11) 秋元清治, 東京湾の漁獲変動の特徴について, 東京湾の漁業と環境, 第 4 号, 23-31, (2013) 12) 東京湾研究会, 中央ブロック水産業関係研究開発推進会議(2013), 江戸前の復活! 東京湾の再生をめざして。
ハマグリ	・本種の生息は漁業者ヒアリング（標本船調査）により確認。 ・生息域の目標値(2mg/L)に対する適合率 ：各月の測定値 78～93% ・再生産の場の目標値(4mg/L)に対する適合率 ：各月の測定値 31～57% ・資料¹³⁾によると、<u>減少要因は埋立てによる生息場（河口干潟域）の減少、夏季の大量死亡、貧酸素（青潮）と推定。</u> 13) 東京湾研究会, 中央ブロック水産業関係研究開発推進会議(2013), 江戸前の復活! 東京湾の再生をめざして。
アサリ	・本種の漁獲量は過去 10 年間に於いて減少傾向、1960 年代に漁獲量が多い。 ・東京都 HP¹⁴⁾によると、多摩川河口域で、年間約 300 トンから 550 トン程度が漁獲 ・生息域の目標値(2mg/L)に対する適合率 ：各月の測定値 83～95% ・再生産の場の目標値(4mg/L)に対する適合率 ：各月の測定値 30～83% ・資料¹⁵⁾によると、アサリの減少要因は、海域環境の変化（海水温の上昇、秋冬期の波浪による稚貝の散逸、餌料となるプランクトン類の減少（栄養塩の減少）、台風や大雨による河川からの急激な出水機会の増加）、カイヤドリウミグモの寄生、食害の拡大と推察。 ・<u>資源減少要因のひとつとして貧酸素水塊（青潮）もあげられている¹⁶⁾</u>。 14) https://www.ifarc.metro.tokyo.lg.dip/rchive/27,1025,55,226.html 15) 「東京湾の漁業と漁場環境」（令和 2 年 9 月 2 日、東京湾関係漁連・漁協連絡会議） 16) 東京湾研究会, 中央ブロック水産業関係研究開発推進会議(2013), 江戸前の復活! 東京湾の再生をめざして。

表 3.4(4) 各保全対象種の生息状況への底層溶存酸素量の影響に関する考察

保全対象種	生息状況への底層溶存酸素量の影響に関する考察
マナマコ	• 本種の漁獲量は 2000 年代に漁獲量が多かった。過去 10 年間では大きな変化は見られない。 • 資源評価より、神奈川県では資源水準は低位、資源動向は増加傾向。 • 生息域の目標値 (2mg/L) に対する適合率 ：各月の測定値 90～97% • 再生産の場の目標値 (2mg/L) に対する適合率 ：各月の測定値 89～98% • <u>資源減少要因のひとつとして貧酸素があげられている¹⁷⁾。</u> 17) 東京湾研究会, 中央ブロック水産業関係研究開発推進会議 (2013), 江戸前の復活! 東京湾の再生をめざして.

表 3.2 及び表 3.4 を基に、表 3.5 で示す重み付けを行い、重視すべき種及び環境基準点（測定地点）を検討した。

表 3.2 の各保全対象種の再生産の場に対する適合状況を踏まえ、相対的に適合率が高い種、低い種及び中程度の種を 3 つの区分で重み付けを行った結果を表 3.5(1)に示す。

また、表 3.4 よりマアナゴ、マハゼ、マコガレイ、クルマエビ、シャコ、コウイカ、アカガイ、ハマグリ、アサリ、マナマコは、底層溶存酸素量の低下（貧酸素水塊）の影響について指摘されていることから、3 点の重み付けをした（表 3.5(2)）。

次に、表 3.5(1)及び表 3.5(2)の重み付けの検討結果を用いて各環境基準点（測定地点）を点数化した結果を表 3.6 に示す。表 3.6 及び図 3.8 において、重み付けの点数が高い環境基準点（測定地点）は、比較的多くの保全対象種の再生産の場が重なっていると言える。各環境基準点（測定地点）の重み付けの点数のヒストグラムは図 3.7 に示すとおりであり、18 点以下と 24 点以上で区分された。また、環境基準点（測定地点）の重み付け点数の最大値は 46 点となり、24 点以上は最大値の 50%以上になっている。このため、重み付け点数が 24 点以上の環境基準点（測定地点）を底層溶存酸素量の環境基準値を達成する上で重要な地点（★）であると整理した。

なお、地域検討会において、上記の重み付けの算定以外で、地域の実情等により重要な地点（★）に位置付ける環境基準点（測定地点）はなかった。

表 3.5(1) 重視する種の重み付け：表 3.2 の検討結果

重み付けのランク	重み付け（点数）
再生産の場の適合率の最小値が 90%以上となる種 ： <u>マハゼ、ヒラメ、マコガレイ</u>	1
再生産の場の適合率の最大値が 80%以上、最小値が 90%未満となる種 ： <u>シログリス、クルマエビ、コウイカ、アサリ、マナマコ</u>	2
再生産の場の適合率の最大値が 80%未満となる種 ： <u>シャコ、アカガイ、ハマグリ</u>	3

表 3.5(2) 重視する種の重み付け：表 3.4 の検討結果

重み付けの内容	重み付け（点数）
・底層溶存酸素量の低下（貧酸素水塊）の影響を受けている可能性がある種 マアナゴ、マハゼ、マコガレイ、クルマエビ、シャコ、コウイカ、アカガイ、ハマグリ、アサリ、マナマコ	3

表 3.6 各環境基準点（測定地点）における重み付けの結果

類型	測定地点	水域区分	マアナゴ	シロギス	マハゼ	ヒラメ	マコガレイ	クルマエビ	シャコ	コウイカ	アカガイ	ハマグリ	アサリ	マナマコ	該当種数	重み付けの点数
生物1	東京湾 1 4	東京湾中部	3	—	—	—	—	—	6	—	6	—	—	—	3	15
	東京湾 1 7		—	2	4	—	—	5	6	5	—	—	5	5	7	32
	東京湾 1 8		3	2	—	1	4	5	6	—	—	—	—	5	7	26
	磯子沖		3	2	4	1	4	5	6	5	6	—	5	5	11	46
	夏島沖		3	2	—	1	4	5	6	—	6	—	—	5	8	32
	平潟湾内		—	2	4	—	—	5	6	5	—	6	5	5	8	38
	東扇島沖		3	—	—	—	—	—	6	—	6	—	—	—	3	15
	扇島沖		3	—	—	—	—	—	6	—	6	—	—	—	3	15
	本牧沖		3	—	—	—	—	—	6	—	6	—	—	—	3	15
	富岡沖		3	—	—	—	—	—	6	—	6	—	—	—	3	15
	平潟湾沖		3	2	—	1	4	5	6	—	6	—	—	5	8	32
	大津湾		—	—	—	1	4	—	—	—	6	—	—	5	4	16
	中の瀬北		3	—	—	—	—	—	6	—	6	—	—	—	3	15
	中の瀬南		3	—	—	1	4	—	6	—	6	—	—	5	6	25
	東京湾 1 9	東京湾口部	3	2	—	1	4	5	6	—	—	—	—	5	7	26
	東京湾 2 0		—	2	4	—	—	5	6	5	—	—	5	5	7	32
	東京湾 2 1		3	2	—	1	4	5	6	—	—	—	—	5	7	26
	東京湾 2 2		3	2	—	1	4	5	6	—	—	—	—	5	7	26
	東京湾 2 3		3	—	—	1	4	5	6	—	—	—	—	5	6	24
	東京湾 2 4		3	—	—	1	4	5	6	—	—	—	—	5	6	24
	東京湾 2 5		3	2	—	1	4	5	6	—	—	—	—	5	7	26
	東京湾 2 7		3	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	2	8
	浦賀港内		3	2	—	1	4	5	6	—	—	—	—	5	7	26
	久里浜港内		—	2	4	—	—	5	6	5	—	—	5	5	7	32
	浦賀沖		3	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	2	8
	観音崎北沖		3	—	—	1	4	5	—	—	—	—	—	—	4	13
生物2	鶴見川河口先	川崎港・	—	2	4	—	—	5	6	5	6	—	5	5	8	38
	横浜港内	横浜港	3	2	—	1	4	5	6	—	6	—	—	5	8	32
	S t - 8	東京湾奥部	—	2	4	—	—	5	6	5	6	—	5	5	8	38
	東京湾 1		—	2	4	—	—	5	6	5	6	—	5	5	8	38
	東京湾 3		—	2	4	—	—	5	6	5	6	—	5	5	8	38
	東京湾 5		—	2	4	—	—	—	6	5	6	—	5	5	7	33
	東京湾 6		—	2	4	—	—	5	6	5	6	—	5	5	8	38
	東京湾 7		—	—	4	—	—	—	6	—	6	—	—	—	3	16
	浦安沖(追加)		—	2	4	—	—	—	6	5	6	—	5	5	7	33
	S t - 3 5	東京湾中部	3	—	—	—	—	—	6	—	6	—	—	—	3	15
	東京湾 1 1		3	—	—	—	—	—	6	—	6	—	—	—	3	15
	東京湾 1 2		3	—	—	—	—	—	6	—	6	—	—	—	3	15
	東京湾 1 3		3	—	—	1	4	5	6	—	6	—	—	5	7	30
	東京湾 1 5		3	2	—	1	4	—	6	—	6	—	—	5	7	27
	浮島沖		3	—	—	—	—	—	6	—	6	—	—	—	3	15
	S t - 2 3	東京港	—	2	4	—	—	5	6	5	—	6	5	5	8	38
	お台場		—	2	4	—	—	5	6	5	—	6	5	5	8	38
生物3	千葉2(除外)	千葉港	—	2	4	—	—	5	6	5	6	6	5	5	9	44
	千葉3(除外)	千葉港	—	2	4	—	—	5	6	5	6	6	5	5	9	44
	千葉港(追加)	千葉港	—	2	4	—	—	5	6	5	6	6	5	5	9	44
	東京湾 1 6	木更津港	—	2	—	1	4	—	6	—	6	—	—	5	6	24
	S t - 2 2	東京湾奥部	3	—	—	—	—	—	6	—	6	—	—	—	3	15
	東京湾 4		3	—	—	—	—	—	6	—	6	—	—	—	3	15
	東京湾 8		3	—	—	—	—	—	6	—	6	—	—	—	3	15
	東京湾 9		3	—	—	—	—	—	6	—	6	—	—	—	3	15
	東京湾 1 0		3	—	—	—	—	—	6	—	6	—	—	—	3	15

注：1. 各保全対象種の再生産の場に該当する環境基準点（測定地点）に各保全対象種の重み付けの点数（表 3.5 (1)と表 3.5 (2)の合計）を整理した。なお、マアナゴは再生産の場は東京湾外であるため、生息域の環境基準点（測定地点）に点数を付している。

2. 千葉県では、新規に底層溶存酸素量の環境基準点（測定地点）として「浦安沖」、「千葉港」が追加されるため参考として示した。なお、「千葉2」、「千葉3」は環境基準点（測定地点）から除外とした。

3. 塗りつぶしの色は、最大値の 50%以上（最大 46 点に対して 24 点以上）であることを示す。

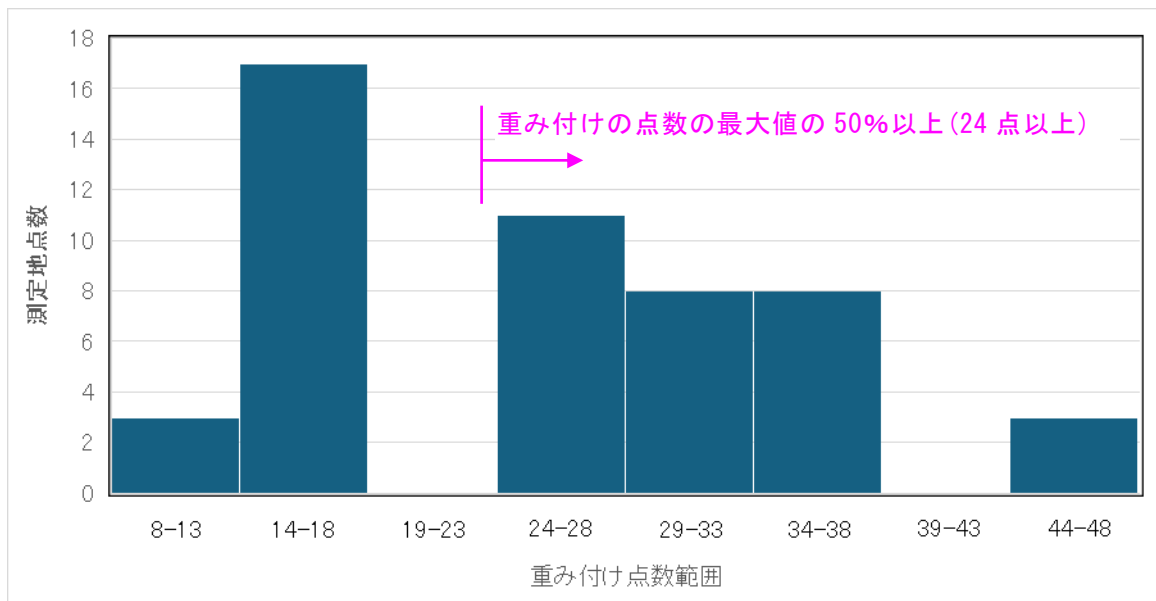
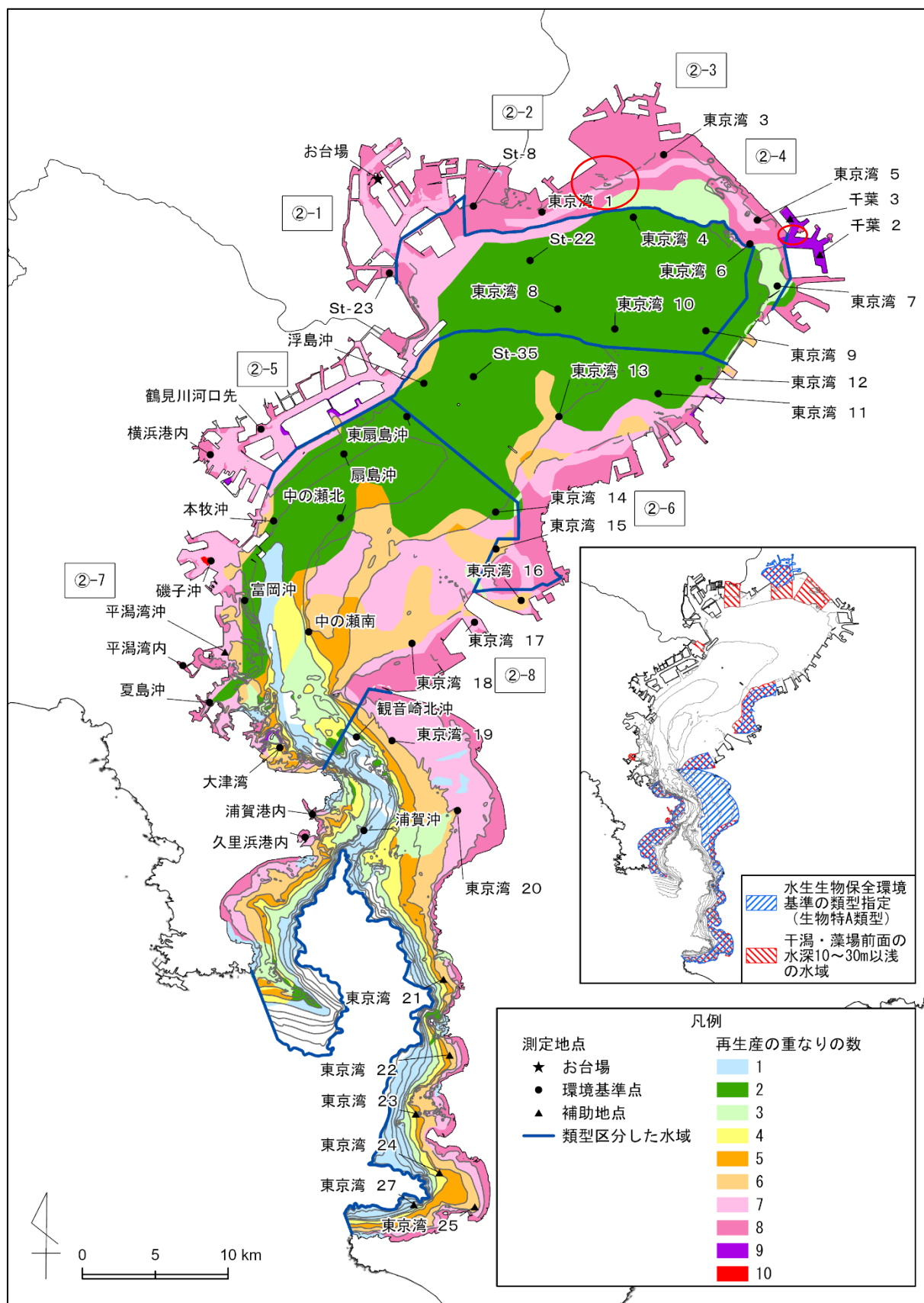


図 3.7 各環境基準点（測定地点）の重み付けの点数のヒストグラム



注：1. 再生産の重なり数は、各保全対象種の再生産の場の重なり数を示したものである。なお、再生産の場の重ね合わせで対象とした保全対象種の種数は11種である。

2. 赤丸は、底層溶存酸素量の環境基準点として新規に設定した測定地点の箇所である。

図 3.8 保全対象種の再生産の場の重ね合わせと環境基準点（測定地点）

(2) 東京湾における底層溶存酸素量の測定結果の整理

① 測定データの把握

まず、前述図 2.1 の(2)に即して、東京湾における底層溶存酸素量の測定結果を整理した。

東京湾における底層溶存酸素量の環境基準点（測定地点）を図 3.9、東京湾における底層溶存酸素量の測定頻度を図 3.10 に示す。また、図 3.9 に示した環境基準点（測定地点）における底層溶存酸素量の経年変化を図 3.11 に示す。

<生物 1 類型（4.0mg/L 以上）に該当する水域区分>

- ・東京湾中部②では、昭和 59 年度（1984 年度）以降、毎年環境基準値を下回っており、平成 26 年度（2014 年度）以降では、水域の北寄りの地点で環境基準値を下回ることが多く、水域の南寄りの地点では北寄りと比べて環境基準を満足している。
- ・東京湾口部では、昭和 59 年度（1984 年度）以降、水域の北よりの観音崎北沖が環境基準を下回る年度があるが、その他の地点は環境基準を満足している。平成 26 年度（2014 年度）以降では、全ての地点において環境基準を満足している。

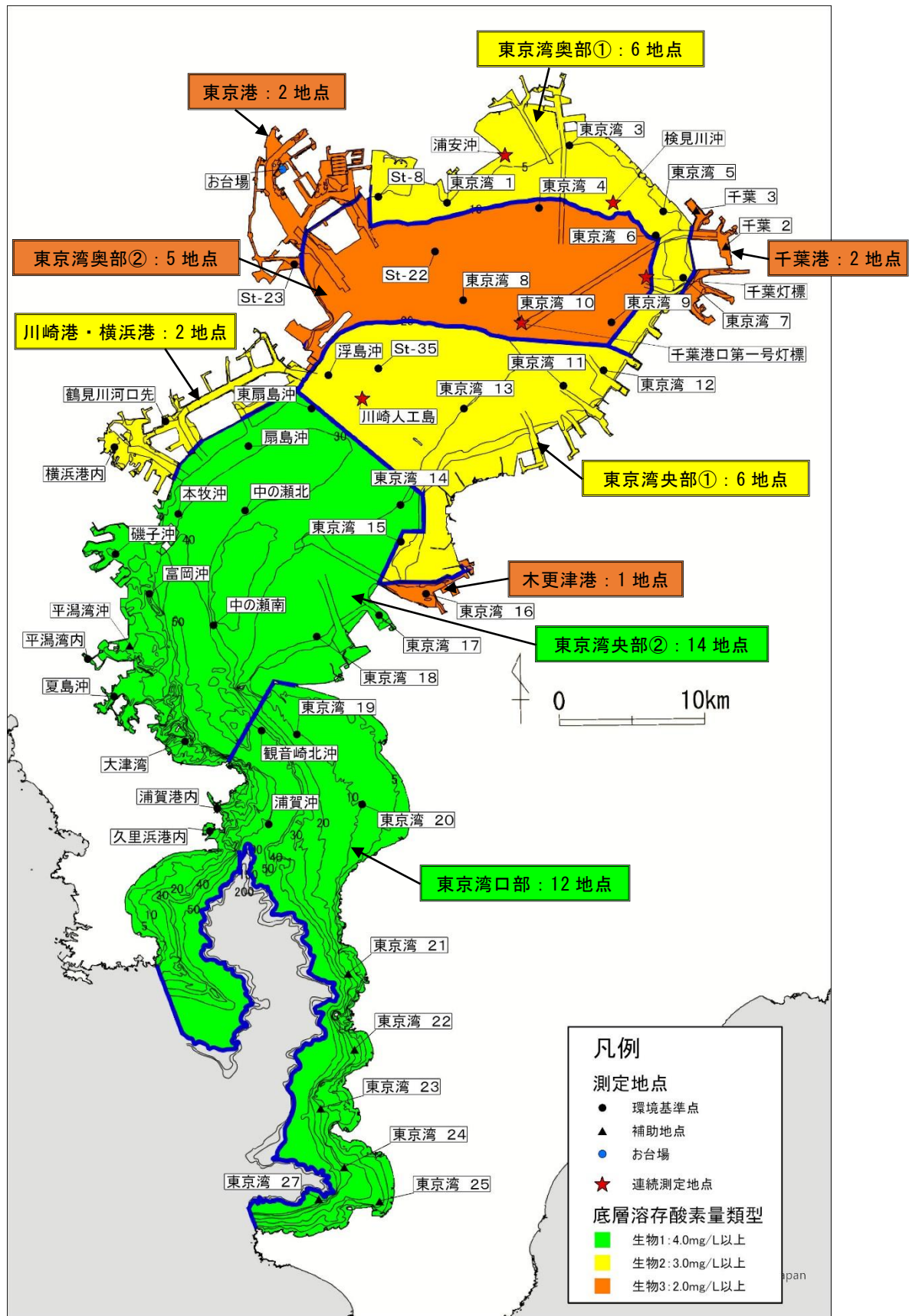
<生物 2 類型（3.0mg/L 以上）に該当する水域区分>

- ・川崎港・横浜港（鶴見川河口先、横浜港内）のうち、鶴見川河口先では昭和 59 年度（1984 年度）以降、環境基準を下回る頻度は少ない。一方、横浜港内では環境基準を下回る頻度が多い。
- ・東京湾奥部①、東京湾中部①では、昭和 59 年度（1984 年度）以降、毎年環境基準を下回る地点が多い。

<生物 3 類型（2mg/L 以上）に該当する水域区分>

- ・東京港（St-23、お台場）では、昭和 59 年度（1984 年度）以降、St-23 は環境基準を下回る頻度が多い。平成 26 年度（2014 年度）以降では、St-23、お台場とも環境基準を満足する年度がある。
- ・東京湾奥部②、千葉港では、昭和 59 年度（1984 年度）以降、毎年環境基準を下回る。木更津港は環境基準を満足する年度が比較的多い。

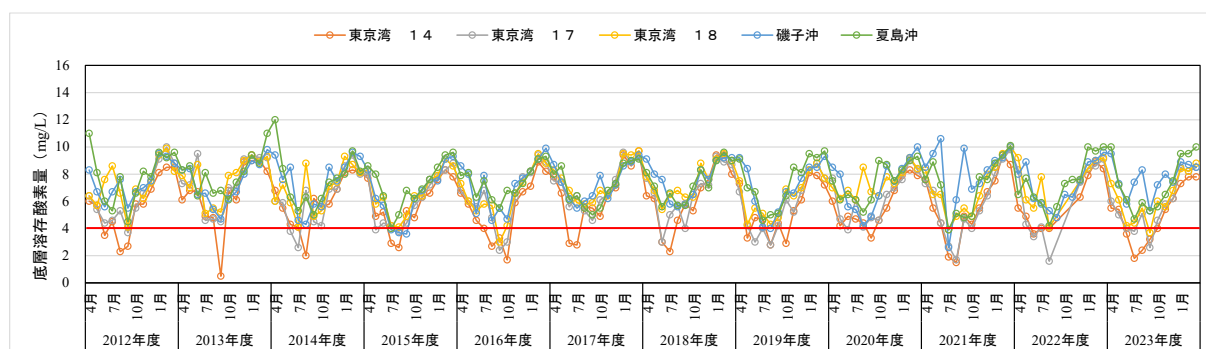
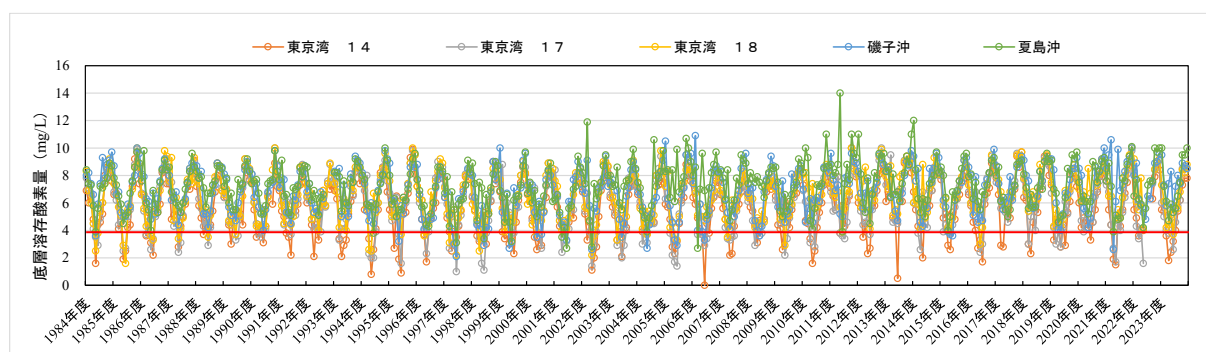
また、図 3.12 に示す国土交通省による水質定点自動観測地点の底層溶存酸素量連続測定結果を図 3.13 に示す。最後に、類型指定された水域内（東京湾全域）における 50 地点ある環境基準点（測定地点）を、各保全対象種の生息域及び再生産の場ごとに整理すると表 3.7 のようになる。



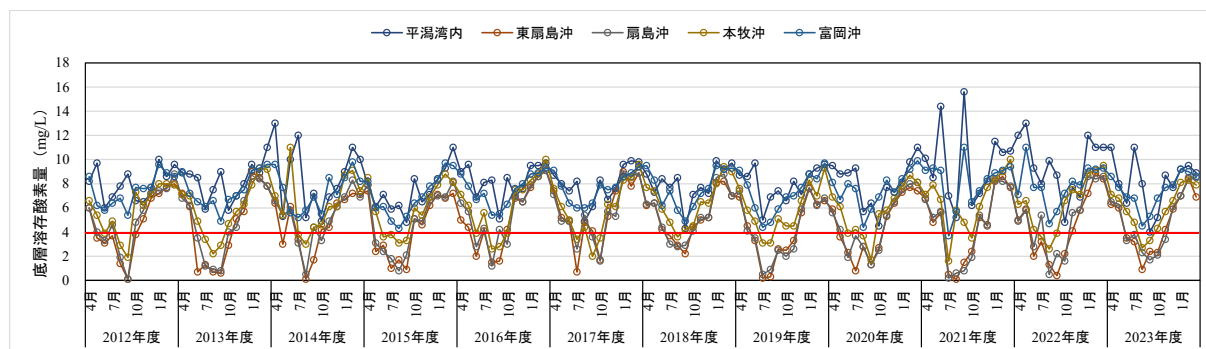
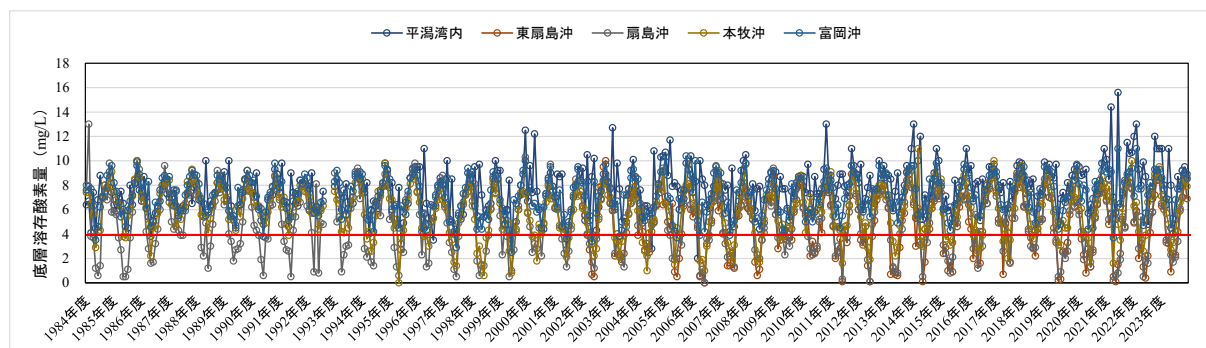
資料：「東京湾連続観測」（東京湾環境情報センター）（<https://www.tbeic.go.jp/MonitoringPost/Top>）
水環境総合情報サイト（環境省）より作成

図 3.9 東京湾における底層溶存酸素量の測定地点

東京湾中央部② (1)



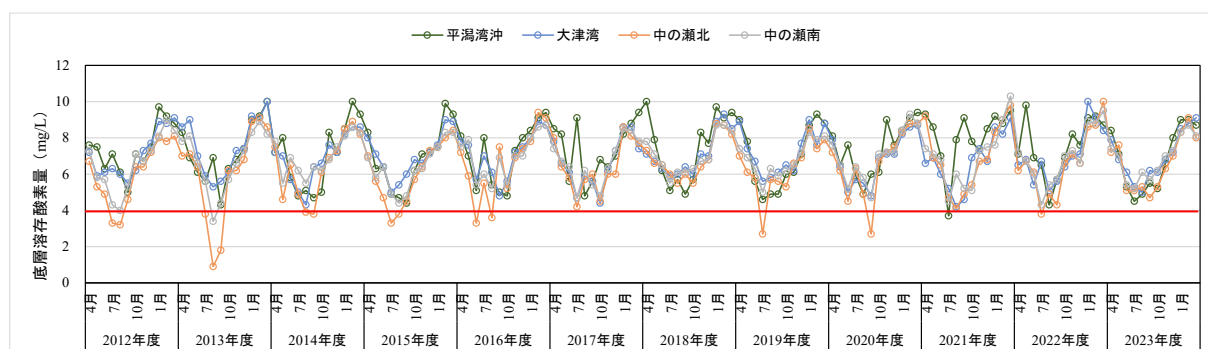
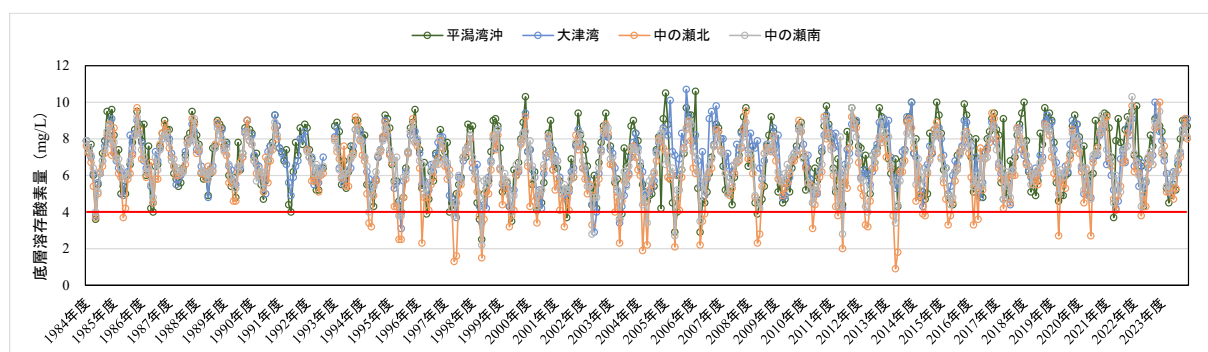
東京湾中央部② (2)



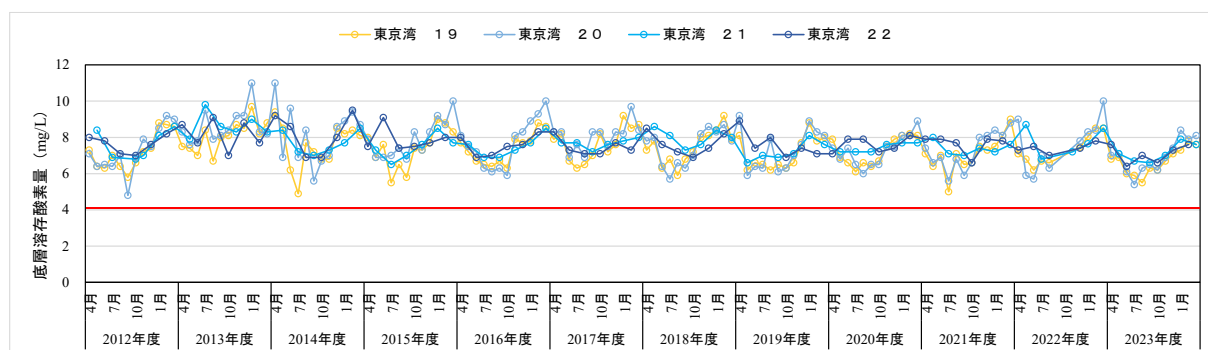
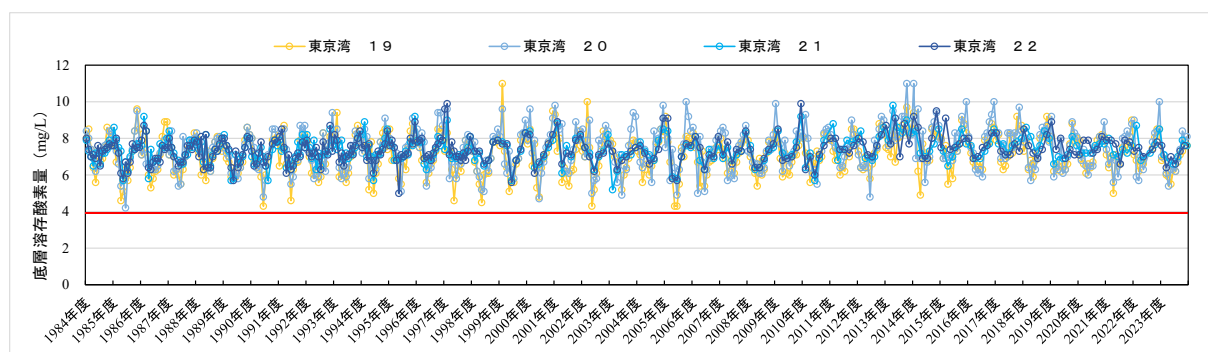
資料：水環境総合情報サイト（環境省）より作成
注：測定値が「<0.5」のものは0.5として表示する。

図 3.11(1) 水質測定地点における底層溶存酸素量の経年変化

東京湾中部② (3)



東京湾口部 (1)

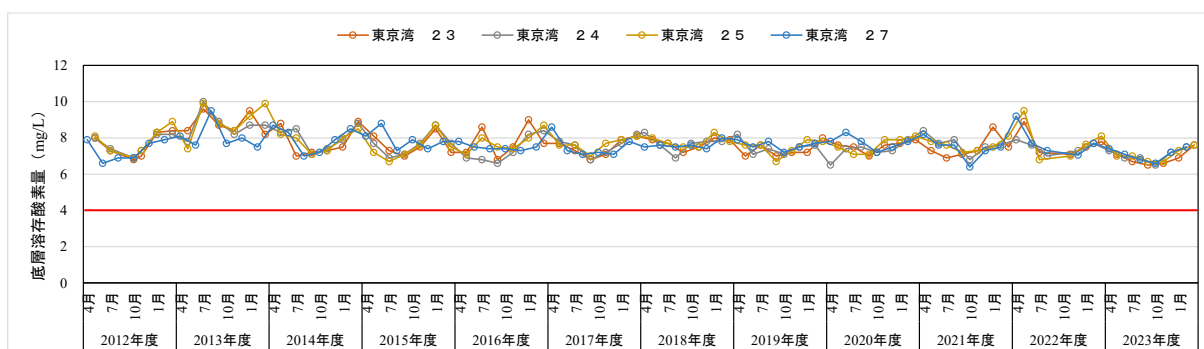
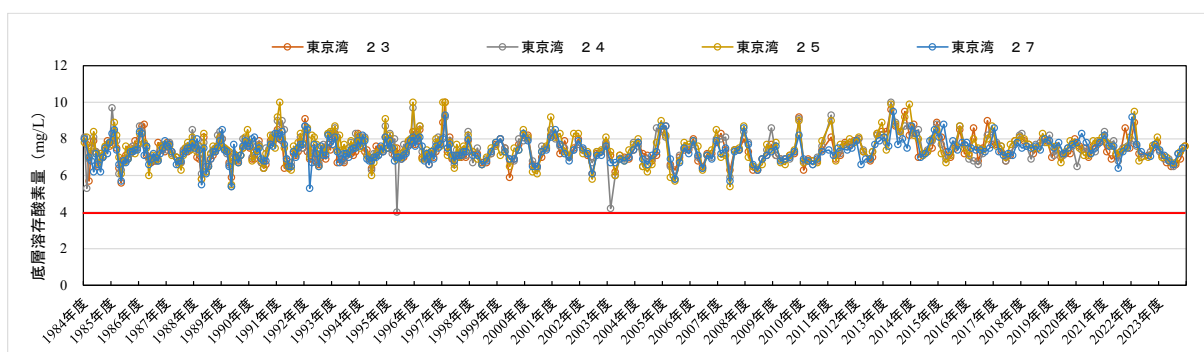


資料：水環境総合情報サイト（環境省）より作成

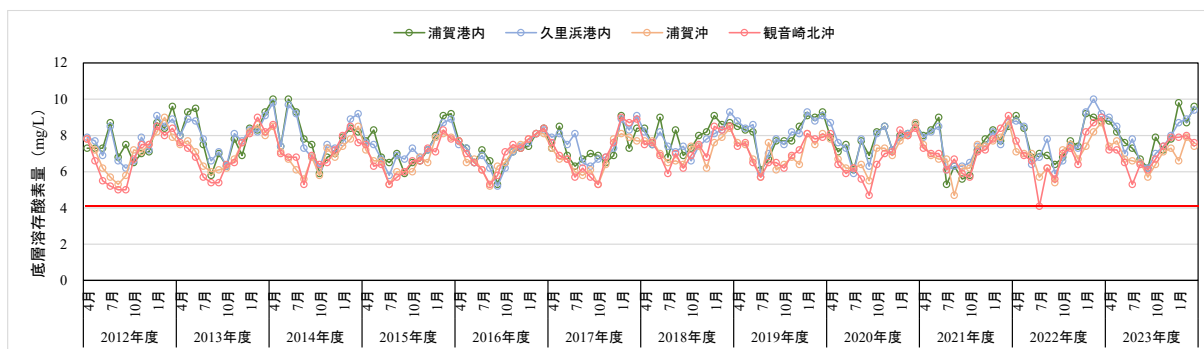
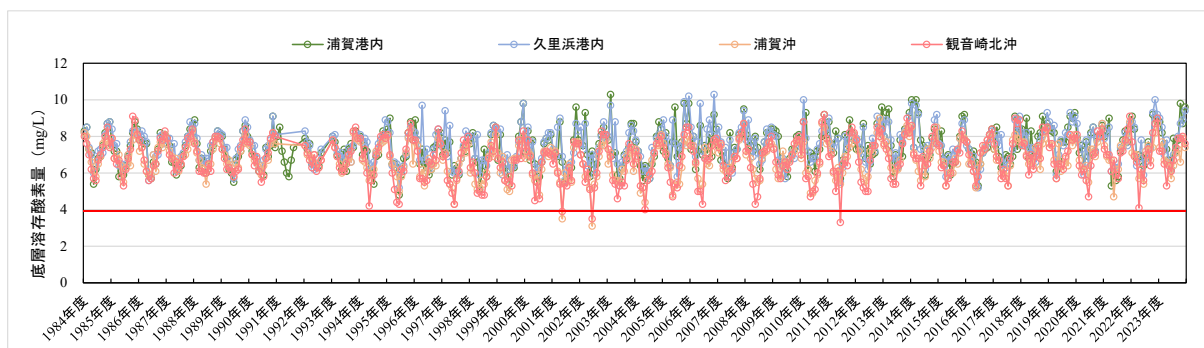
注：測定値が「<0.5」のものは0.5として表示する。

図 3.11(2) 水質測定地点における底層溶存酸素量の経年変化

東京湾口部 (2)



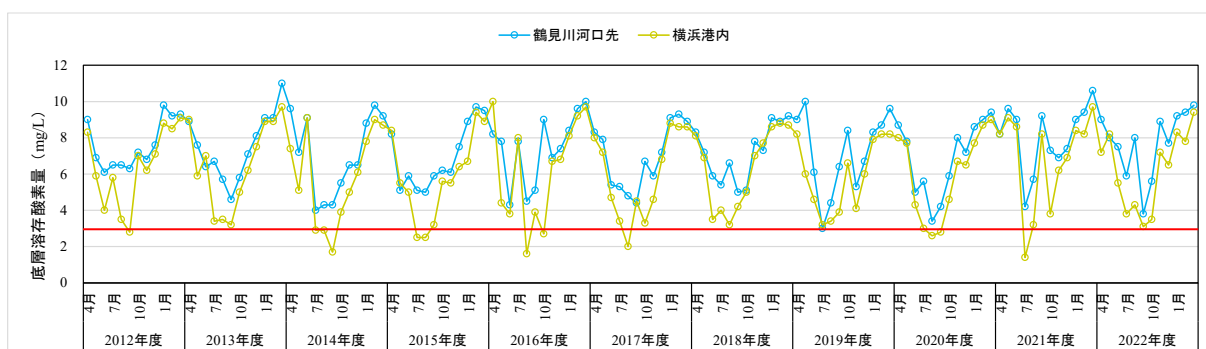
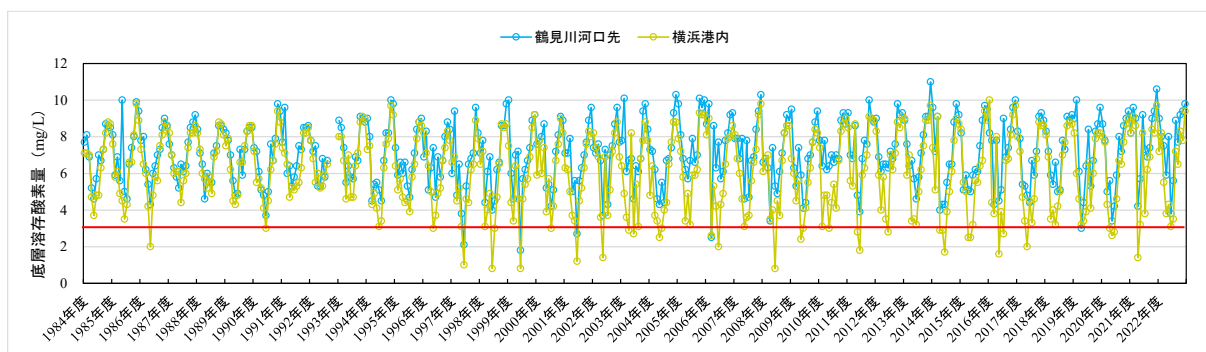
東京湾口部 (3)



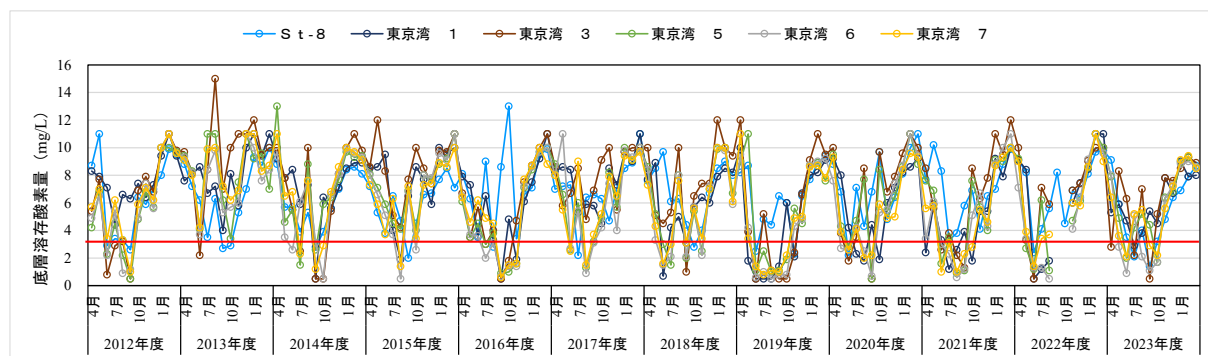
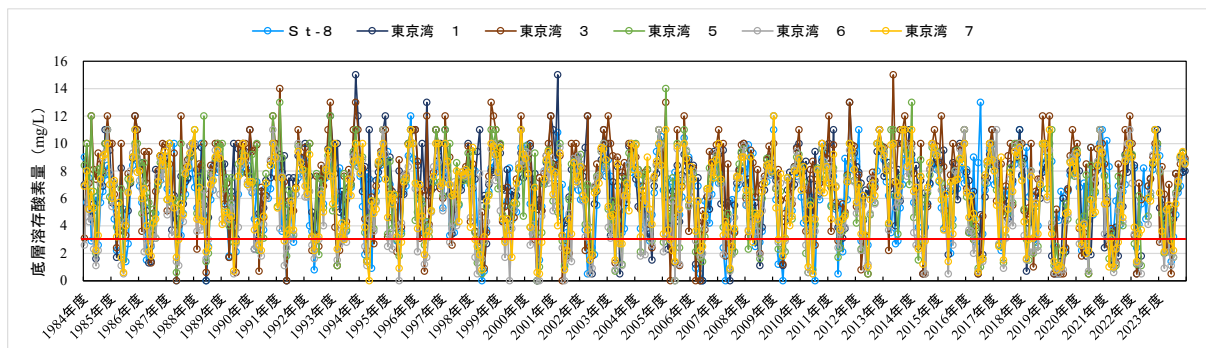
資料：水環境総合情報サイト（環境省）より作成
 注：測定値が「<0.5」のものは0.5として表示する。

図 3.11(3) 水質測定地点における底層溶存酸素量の経年変化

川崎港・横浜港



東京湾奥部①

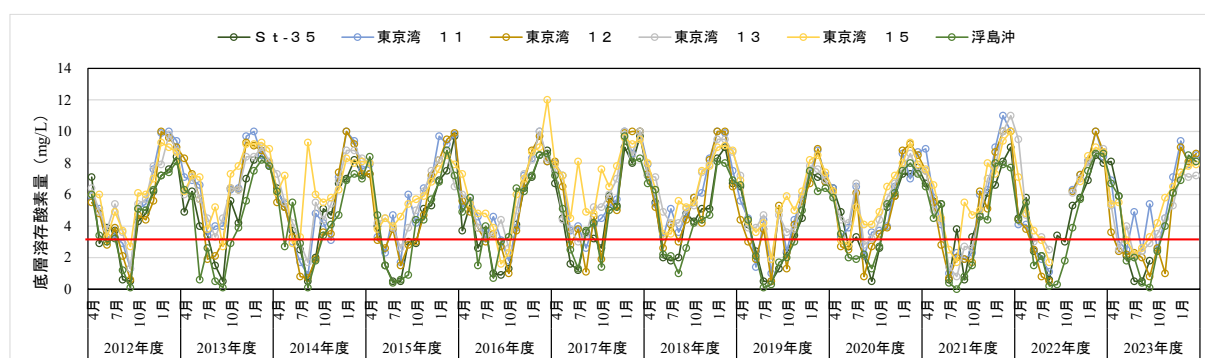
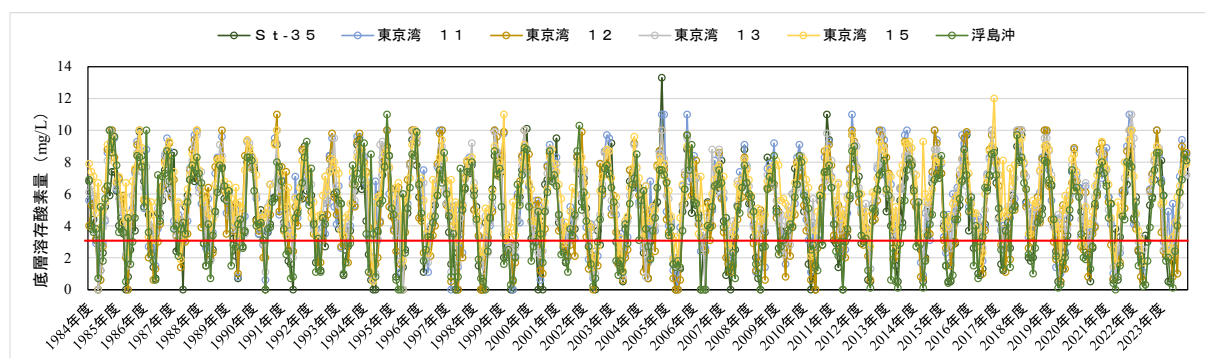


資料：水環境総合情報サイト（環境省）より作成

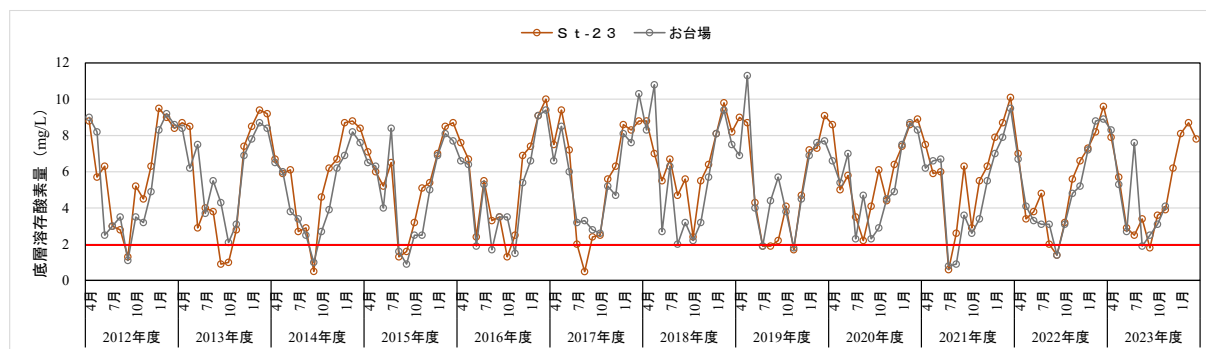
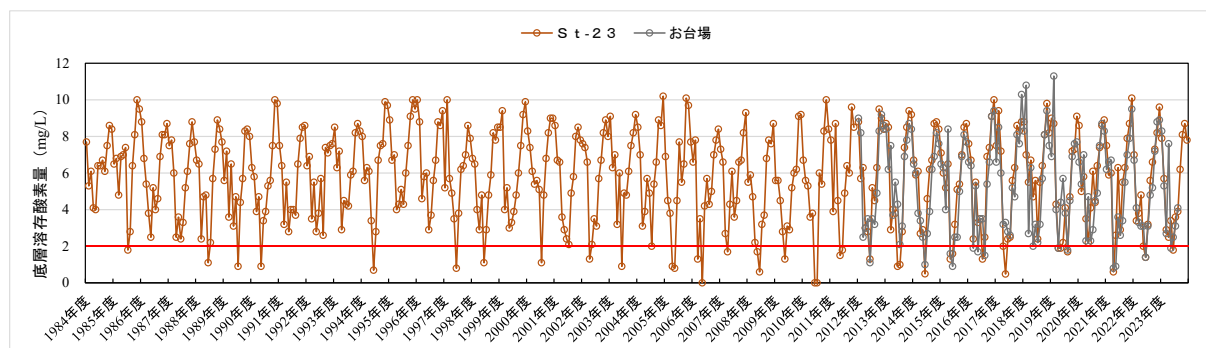
注：測定値が「<0.5」のものは0.5として表示する。

図 3.11(4) 水質測定地点における底層溶存酸素量の経年変化

東京湾中央部①



東京港

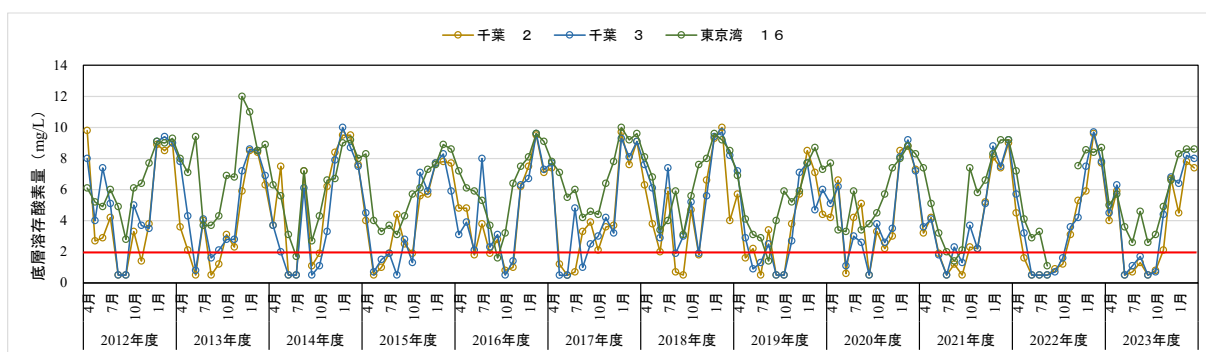
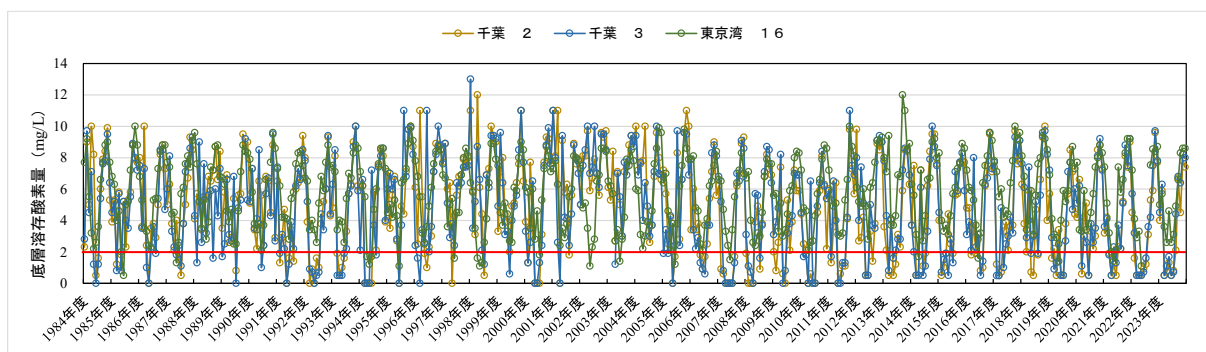


資料：水環境総合情報サイト（環境省）、東京都資料より作成

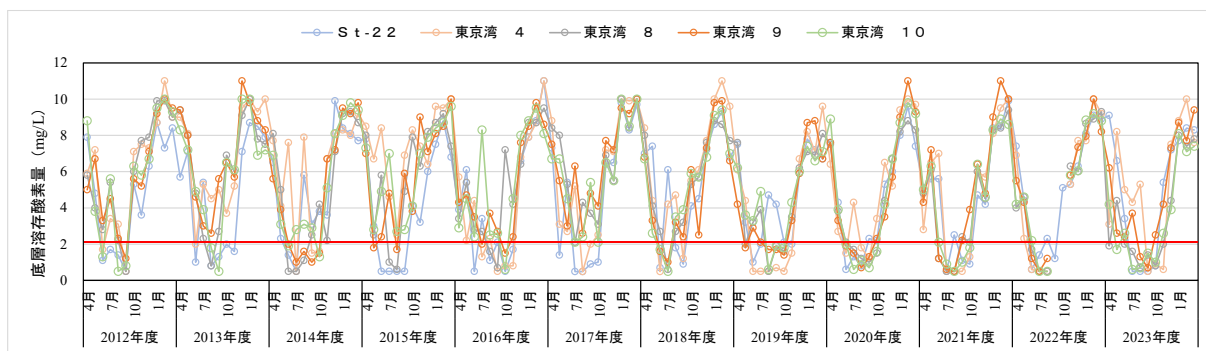
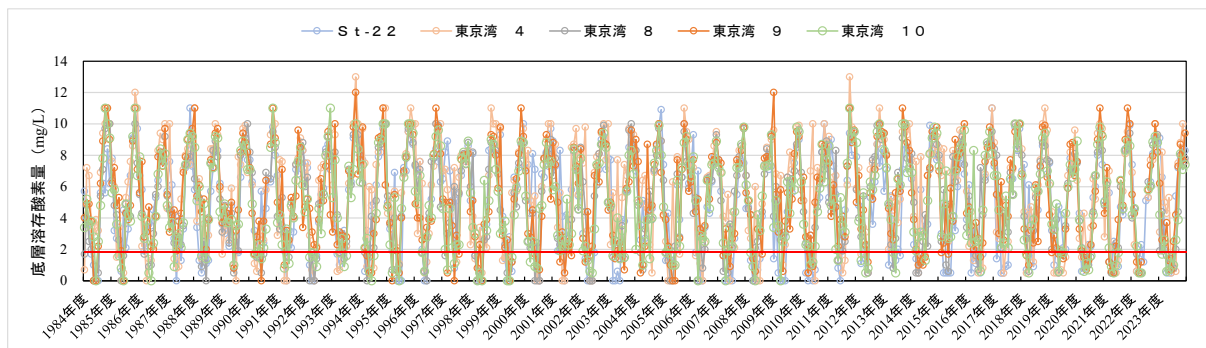
注：測定値が「<0.5」のものは0.5、「<0.1」のものは0.1として表示する。

図 3.11(5) 水質測定地点における底層溶存酸素量の経年変化

千葉港・木更津港



東京湾奥部②



資料：水環境総合情報サイト（環境省）より作成

注：測定値が「<0.5」のものは0.5、「<0.1」のものは0.1として表示する。

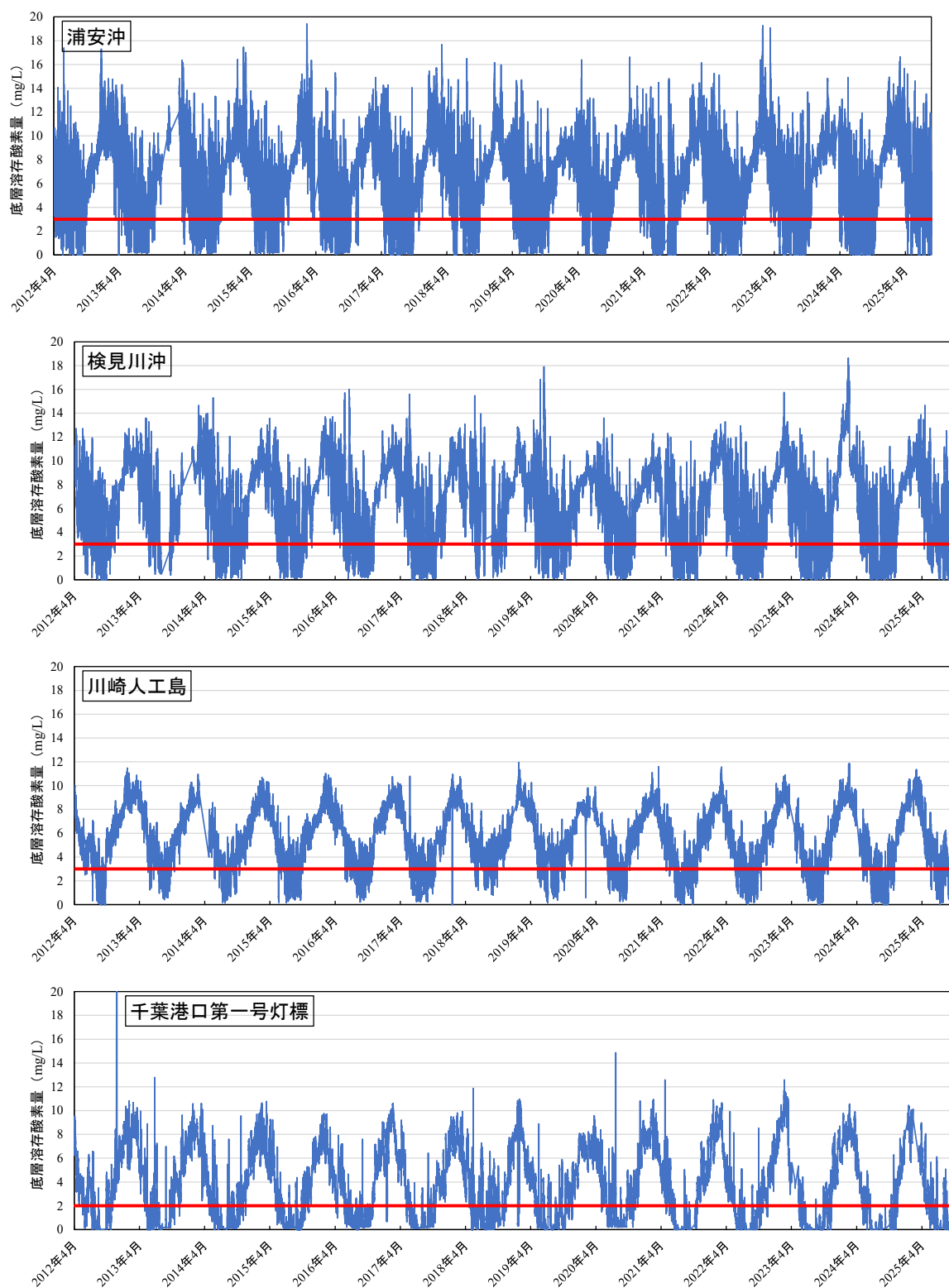
図 3.11(6) 水質測定地点における底層溶存酸素量の経年変化



資料：「東京湾連続観測」（東京湾環境情報センター）（<https://www.tbeic.go.jp/MonitoringPost/Top>）

注：□は溶存酸素量を測定している地点のみである。なお、千葉灯標は現在では観測されていない。

図 3.12 国土交通省及び海上保安庁による水質定点自動観測地点



資料：「東京湾連続観測」（東京湾環境情報センター）（<https://www.tbeic.go.jp/MonitoringPost/Top>）、
「モニタリングポスト（千葉灯標）」（海上保安庁海洋情報部情報利用推進課/日本海洋データセンター（JODC））（https://www.jodc.go.jp/jodcweb/JDOSS/infoMonitoring_j.html）より作成

図 3.13 東京湾における底層溶存酸素量連続測定結果

表 3.7 東京湾における各保全対象種の生息域及び
再生産の場に位置する測定地点の状況

保全 対象種	類型指定内の水質測定地点と 各保全対象種の生息域及び再生産の場の存在状況	
	生息域	再生産の場
マアナゴ	34 地点/50 地点	再生産は湾内では行わない
シロギス	30 地点/50 地点	26 地点/50 地点
マハゼ	29 地点/50 地点	16 地点/50 地点
ヒラメ	31 地点/50 地点	18 地点/50 地点
マコガレイ	50 地点/50 地点	18 地点/50 地点
クルマエビ	25 地点/50 地点	29 地点/50 地点
シャコ	41 地点/50 地点	46 地点/50 地点
コウイカ	31 地点/50 地点	15 地点/50 地点
アカガイ	33 地点/50 地点	33 地点/50 地点
ハマグリ	5 地点/50 地点	5 地点/50 地点
アサリ	15 地点/50 地点	15 地点/50 地点
マナマコ	31 地点/50 地点	31 地点/50 地点

② 調査期間の設定

現在の対象水域における COD、窒素及び燐の発生負荷量及び環境基準の達成状況を踏まえ、検討対象とする調査期間を設定した。

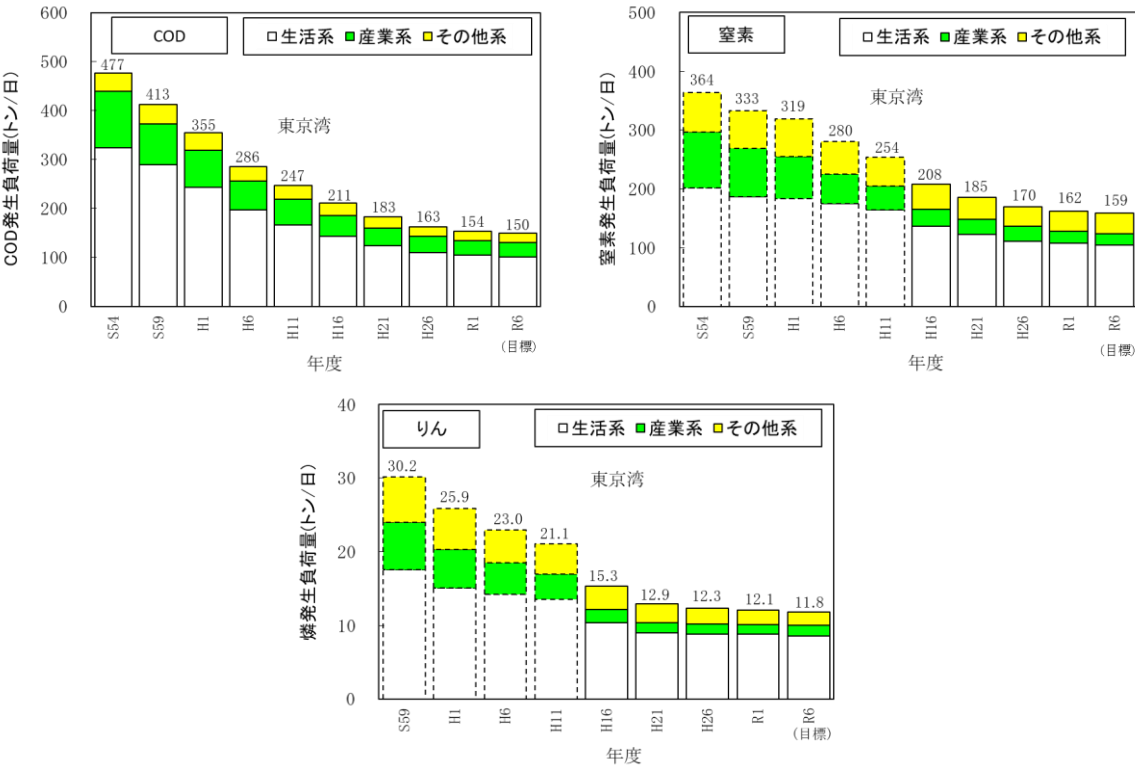
東京湾の COD、窒素及び燐の発生負荷量の推移（図 3.14）より、平成 16 年度（2004 年度）及び平成 26 年度（2014 年度）と、令和 6 年度（2024 年度）の発生負荷量を比較（表 3.8）すると、令和 6 年度の発生負荷量は、平成 16 年度に対して 0.71～0.77 であるのに対し、平成 26 年度では 0.92～0.96 と 1 割以内の変化である。このように COD、窒素及び燐の発生負荷量の過去 10 年間の変化量は、相対的に大きくない。

また、東京湾における COD の環境基準達成率の推移（図 3.15）について、平成 16 年度以降は概ね横ばいである。全窒素及び全燐の環境基準達成率の推移（図 3.16）は、平成 26 年度以降達成率が高く、平成 16 年度から平成 24 年度と比べると安定して推移している。

これらの発生負荷量及び環境基準達成率の状況を踏まえ、東京湾における底層溶存酸素量の『目標とする達成率』の検討対象とする調査期間は、発生負荷量の変化が少なく、環境基準達成率が安定している過去 10 年間とした。

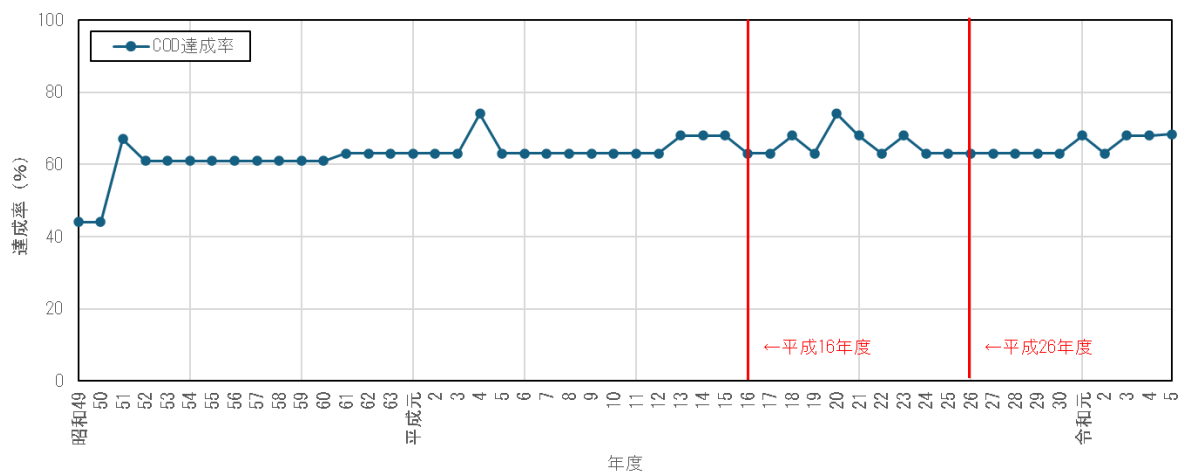
表 3.8 平成 16 年度及び平成 26 年度と令和 6 年度の発生負荷量の比較

項目	平成 16 年度 発生負荷量 (トン/日)	平成 26 年度 発生負荷量 (トン/日)	令和 6 年度 発生負荷量 (トン/日)	比率 (左 : R6/H16) (右 : R6/H26)	
COD	211	163	150	0.71	0.92
窒素	208	170	159	0.76	0.94
リン	15.3	12.3	11.8	0.77	0.96



注：令和 6 年度の値は目標量である。
資料：「発生負荷量等算定調査」（環境省）及び関係都府県による推計結果

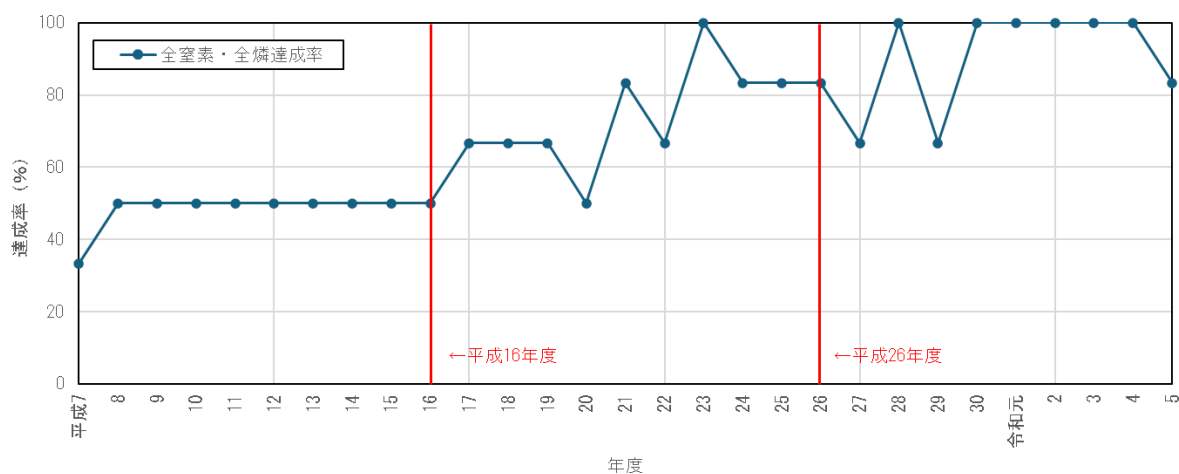
図 3.14 東京湾の COD、窒素、リンの発生負荷量（トン/日）の推移



注：達成率（％）＝（達成水域数／類型指定水域数）×100

資料：「令和5年度公共用水域水質測定結果」（令和7年4月、環境省 水・大気環境局）

図 3.15 東京湾におけるCODの環境基準達成率の推移



注：1. 達成率（％）＝（達成水域数／類型指定水域数）×100

2. 達成は、全窒素及び全リンがともに達成している場合に達成していると評価した。

資料：「令和5年度公共用水域水質測定結果」（令和7年3月、環境省 水・大気環境局）

図 3.16 東京湾における全窒素及び全リンの環境基準達成率の推移

③ 測定結果の整理

東京湾における底層溶存酸素量の環境基準の達成状況を表 3.9、図 3.17 に示す。

各水域の達成率は、生物1類型の東京湾央部②では29%～71%、東京湾口部では100%、生物2類型の川崎港・横浜港では50%～100%、東京湾奥部①では0%～33%、東京湾央部①では0%～50%、生物3類型の東京港では0%～100%、千葉港では0%、木更津港では0%～100%、東京湾奥部②では0%～60%であった。なお、東京湾奥部②は、水質汚濁が問題となる以前の昭和30年代前半においても底層溶存酸素量が2.0mg/L

未満、3.0mg/L 未満の水域が存在していたことから、貧酸素化しやすい特性を持っている水域である。

次に、東京湾における過去 10 年間に於ける年度別底層溶存酸素量の環境基準の達成率の判定結果（「○」、「●」、「×」の判定結果）を表 3.10 に示す。

判定は、設定した調査期間内（10 年間）において、環境基準を達成した年度を「A」、環境基準値との差が-0.5mg/L 未満の年度を「B」、「B」を除き、環境基準を未達成であった年度を「C」とし、「A」の回数(年度)が半分以上（5 年以上）の地点を「○」、「A」と「B」を合わせて半分以上（5 年以上）の地点を「●」、「A」と「B」を合わせて半分未満（4 年以下）の地点を「×」とした。

また、年度ごとの達成状況のみでは、各測定値がどの程度環境基準を満足していたか不明であるため、月別の底層溶存酸素量の環境基準の達成状況についても表 3.11～表 3.20 に示す（これらの表では、1 年間の測定結果のうち、環境基準に適合した割合を「地点別適合状況」として示している）。

$$\text{地点別適合状況} = \frac{\text{日間平均値の月最低値が基準値を上回っている月数}}{\text{底層溶存酸素量を測定している月数}}$$

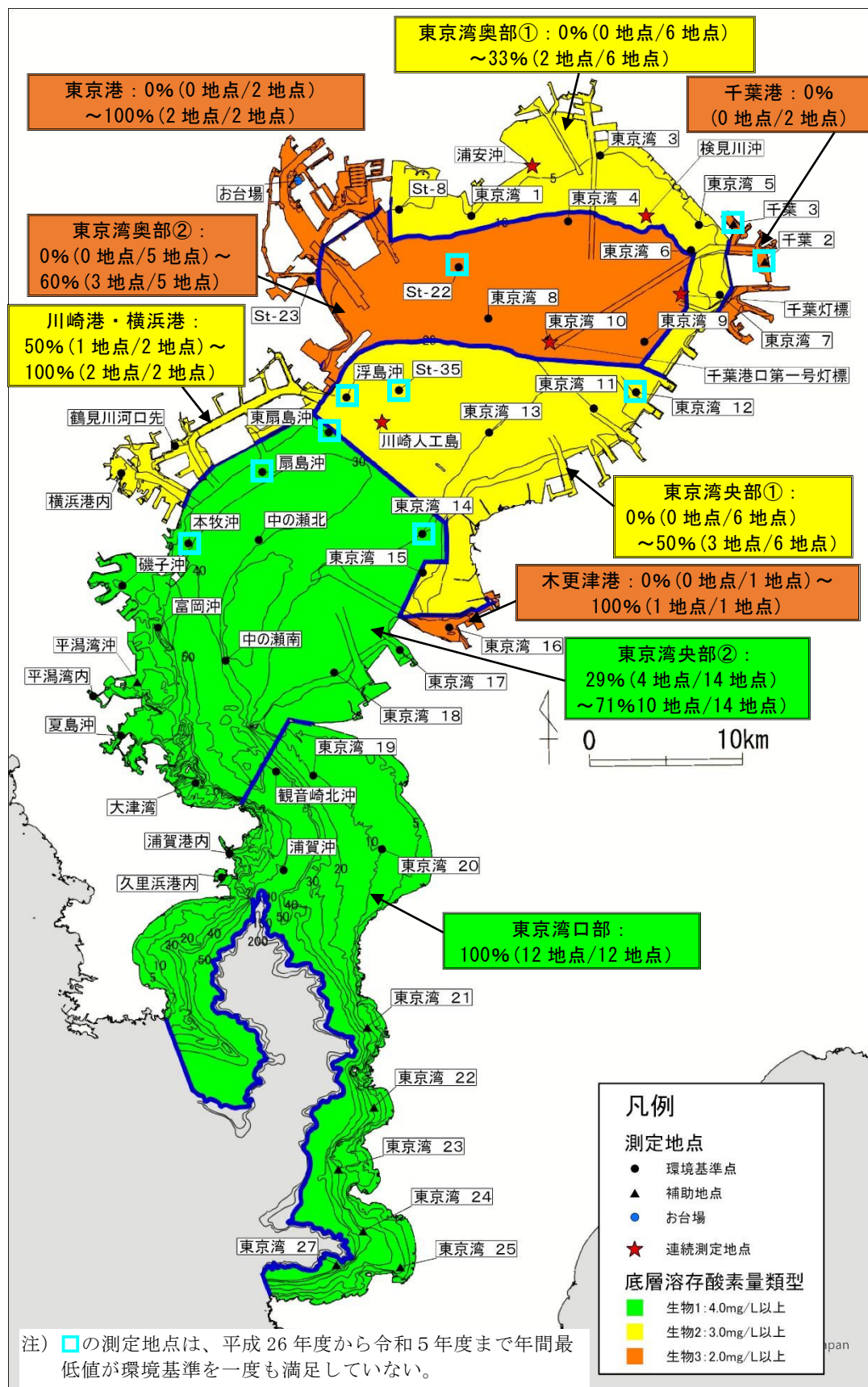
注：「日間平均値の月最低値が基準値を上回っている月数」については、測定頻度が地点ごとに異なるため、月最低値によって判断するものとする。

表 3.9 東京湾における底層溶存酸素量の環境基準の達成状況（平成 26 年度～令和 5 年度）

類型	水域区分	測定地点	日間平均値の年間最低値 (mg/L)										達成率													平均値	最小値	最大値
			平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度						
生物1 (4mg/L 以上)	東京湾央部②	東京湾 14	2.0	2.6	1.7	2.8	2.3	2.8	3.3	1.5	3.6	1.8	57	50	50	71	64	57	57	29	57	57	55	29	71			
		東京湾 17	2.6	3.8	2.4	4.6	3.0	2.8	3.9	1.7	1.6	2.6	※14地点中 8地点達成	※14地点中 7地点達成	※14地点中 7地点達成	※14地点中 10地点達成	※14地点中 9地点達成	※14地点中 8地点達成	※14地点中 4地点達成	※14地点中 8地点達成	※14地点中 8地点達成		※14地点中 4地点達成	※14地点中 10地点達成				
		東京湾 18	4.1	4.1	3.0	5.8	5.4	4.3	6.1	3.9	4.1	3.7																
		磯子沖	4.3	3.6	4.6	5.5	5.6	4.0	4.2	2.6	4.8	5.3																
		夏島沖	5.0	4.0	5.5	5.0	5.6	4.6	5.2	3.9	4.2	4.7																
		平潟湾内	4.9	4.8	5.1	4.9	4.3	5.0	4.5	5.2	4.8	4.0																
		東扇島沖	0.1	0.9	1.5	0.7	2.2	0.2	0.8	0.1	0.4	0.9																
		扇島沖	<0.5	0.8	1.2	1.6	2.8	0.5	1.3	0.2	0.5	1.7																
		本牧沖	3.0	3.1	2.6	2.0	3.6	3.1	1.7	1.6	2.6	2.7																
		富岡沖	5.2	4.3	5.4	6.0	4.9	4.4	4.4	3.7	4.7	4.5																
		平潟湾沖	4.7	4.4	4.8	4.8	4.9	4.6	4.9	3.7	4.3	4.5																
		大津湾	4.3	5.0	4.8	4.4	5.9	5.6	4.8	4.2	5.1	5.0																
		中の瀬北	3.8	3.3	3.3	4.2	5.5	2.7	2.7	4.1	3.8	4.7																
		中の瀬南	5.5	4.4	5.2	4.7	5.5	5.0	4.7	4.5	4.3	5.2																
	東京湾口部	東京湾 19	4.9	5.5	6.3	6.3	5.9	6.2	6.1	5.0	6.2	5.5	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
		東京湾 20	5.6	6.8	5.9	6.9	5.7	5.9	6.0	5.6	5.7	5.4	※12地点中 12地点達成	※12地点中 12地点達成	※12地点中 12地点達成	※12地点中 12地点達成	※12地点中 12地点達成	※12地点中 12地点達成	※12地点中 12地点達成	※12地点中 12地点達成	※12地点中 12地点達成	※12地点中 12地点達成	100	100	100			
		東京湾 21	7.0	6.5	6.9	7.2	7.3	6.6	7.2	7.0	6.8	6.6																
		東京湾 22	6.9	7.4	6.9	7.1	6.9	6.9	7.1	6.6	7.0	6.4																
		東京湾 23	7.0	7.0	6.8	6.8	7.2	7.0	7.0	6.9	7.1	6.5																
		東京湾 24	7.1	6.9	6.6	6.8	6.9	7.1	6.5	6.8	7.0	6.5																
		東京湾 25	7.1	6.7	7.1	7.0	7.5	6.7	7.1	7.2	6.8	6.7																
		東京湾 27	7.0	7.3	7.3	7.1	7.4	7.2	7.2	6.4	7.1	6.6																
		浦賀港内	5.9	5.9	5.3	6.3	6.8	6.1	6.1	5.3	6.4	6.2																
		久里浜港内	6.2	5.8	5.2	6.3	6.6	5.9	5.9	6.1	5.9	6.2																
		浦賀沖	5.6	5.3	5.2	5.3	6.2	5.7	5.5	4.7	5.4	5.7																
		観音崎北沖	5.3	5.3	5.3	5.3	5.9	5.7	4.7	5.7	4.1	5.3																
生物2 (3mg/L 以上)	川崎港・ 横浜港	鶴見川河口先	4.0	5.0	4.3	4.4	5.0	3.0	3.4	4.2	3.8	4.1	50	50	50	50	100	100	50	50	100	100	70	50	100			
		横浜港内	1.7	2.5	1.6	2.0	3.2	3.2	2.6	1.4	3.1	3.1	※2地点中 1地点達成	※2地点中 1地点達成	※2地点中 1地点達成	※2地点中 1地点達成	※2地点中 2地点達成	※2地点中 2地点達成	※2地点中 1地点達成	※2地点中 2地点達成	※2地点中 2地点達成		※2地点中 1地点達成	※2地点中 2地点達成				
	東京湾奥部①	St-8	2.8	2.0	2.8	2.2	2.8	2.3	2.2	3.3	2.4	1.4	0	33	0	33	0	0	0	17	0	0	8	0	33			
		東京湾 1	<0.5	1.9	0.5	4.5	0.7	<0.5	1.8	1.2	0.5	2.9	※6地点中 0地点達成	※6地点中 2地点達成	※6地点中 0地点達成	※6地点中 2地点達成	※6地点中 0地点達成	※6地点中 0地点達成	※6地点中 0地点達成	※6地点中 1地点達成	※6地点中 0地点達成	※6地点中 0地点達成		※6地点中 0地点達成	※6地点中 2地点達成			
		東京湾 3	<0.5	4.2	0.5	4.8	1.0	<0.5	<0.5	1.3	<0.5	0.5																
		東京湾 5	1.5	4.0	0.9	1.3	1.5	1.0	<0.5	0.9	1.1	1.7																
		東京湾 6	<0.5	0.5	0.7	0.9	1.5	<0.5	0.7	0.6	<0.5	0.9																
		東京湾 7	1.2	1.4	0.6	1.5	1.6	0.8	2.0	1.0	1.4	2.1																
	東京湾央部①	St-35	<0.5	0.5	0.9	1.2	1.8	<0.5	0.5	0.6	0.6	<0.5	0	17	0	33	50	0	0	0	0	0	10	0	50			
		東京湾 11	0.9	1.7	1.8	2.6	3.3	1.0	2.1	1.0	1.1	2.4	※6地点中 0地点達成	※6地点中 1地点達成	※6地点中 0地点達成	※6地点中 2地点達成	※6地点中 3地点達成	※6地点中 0地点達成	※6地点中 0地点達成	※6地点中 0地点達成	※6地点中 0地点達成	※6地点中 0地点達成		※6地点中 0地点達成	※6地点中 3地点達成			
		東京湾 12	0.7	1.5	1.0	1.1	2.6	<0.5	0.8	0.7	<0.5	0.8																
		東京湾 13	1.7	2.6	2.6	3.0	4.2	1.9	2.8	0.8	2.5	2.1																
		東京湾 15	2.9	3.8	1.6	4.5	3.5	1.9	2.8	1.7	1.7	2.2																
		浮島沖	<0.1	0.4	0.7	1.3	1.0	<0.1	1.3	0.4	0.2	<0.1																
生物3 (2mg/L 以上)	東京港	St-23	<0.5	1.3	1.3	0.5	2.4	1.7	2.2	0.6	1.4	1.8	0	0	0	50	100	0	100	0	0	0	25	0	100			
		お台場	1.0	0.9	1.5	2.6	2.0	1.8	2.3	0.8	1.4	1.9	※2地点中 0地点達成	※2地点中 0地点達成	※2地点中 0地点達成	※2地点中 1地点達成	※2地点中 2地点達成	※2地点中 0地点達成	※2地点中 2地点達成	※2地点中 0地点達成	※2地点中 0地点達成	※2地点中 0地点達成		※2地点中 0地点達成	※2地点中 2地点達成			
	千葉港	千葉 2	<0.5	0.5	0.8	0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		千葉 3	<0.5	0.5	0.5	0.5	1.9	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	木更津港	東京湾 16	1.7	3.1	1.6	4.2	3.1	1.4	3.3	1.4	1.1	2.6	0	100	0	100	100	0	100	0	0	100	50	0	100			
													※1地点中 0地点達成	※1地点中 1地点達成	※1地点中 0地点達成	※1地点中 1地点達成	※1地点中 1地点達成	※1地点中 0地点達成	※1地点中 0地点達成	※1地点中 0地点達成	※1地点中 1地点達成	※1地点中 1地点達成		※1地点中 0地点達成	※1地点中 1地点達成			
	東京湾奥部②	St-22	<0.5	0.5	0.5	0.5	0.7	1.0	0.6	0.5	0.6	<0.5	0	40	0	60	0	0	0	0	0	0	10	0	60			
		東京湾 4	<0.5	2.5	0.5	0.5	<0.5	<0.5	1.2	<0.5	<0.5	<0.5	※5地点中 0地点達成	※5地点中 2地点達成	※5地点中 0地点達成	※5地点中 3地点達成	※5地点中 0地点達成	※5地点中 0地点達成	※5地点中 0地点達成	※5地点中 0地点達成	※5地点中 0地点達成	※5地点中 0地点達成		※5地点中 0地点達成	※5地点中 3地点達成			
		東京湾 8	<0.5	0.6	0.7	2.1	0.6	0.5	1.0	<0.5	<0.5	0.7																
		東京湾 9	1.0	1.7	1.5	2.6	1.0	1.4	0.7	<0.5	<0.5	0.7																
東京湾 10		1.3	2.7	0.6	2.1	0.5	0.6	0.6	<0.5	<0.5	0.6																	
東京湾全体の 達成率											42	52	40	64	58	44	48	36	44	46	47	36	64					
											※50地点中 21地点達成	※50地点中 26地点達成	※50地点中 20地点達成	※50地点中 32地点達成	※50地点中 29地点達成	※50地点中 22地点達成	※50地点中 24地点達成	※50地点中 18地点達成	※50地点中 22地点達成	※50地点中 23地点達成		※50地点中 18地点達成	※50地点中 32地点達成					

資料：水環境情報サイト（環境省）、東京都資料より作成

(空白のページ)



資料：1. 「東京湾連続観測」(東京湾環境情報センター、<https://www.tbeic.go.jp/MonitoringPost/Top>)

2. 水環境総合情報サイト(環境省)より作成

図 3.17 年度底層溶存酸素量の環境基準の達成状況(平成26年度~令和5年度)

表 3.10 年度別底層溶存酸素量の環境基準の達成率の判定結果（平成 25 年度～令和 5 年度）

類型	水域区分	測定地点	日間平均値の年間最低値 (mg/L)										適合状況										判定	現況 達成率
			平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		
生物1 (4mg/L 以上)	東京 湾中部②	東京湾 14	2.0	2.6	1.7	2.8	2.3	2.8	3.3	1.5	3.6	1.8	C	C	C	C	C	C	C	C	B	C	×	64.0 (達成地点数(○) ●/総地点数 =9/14)
		東京湾 17	2.6	3.8	2.4	4.6	3.0	2.8	3.9	1.7	1.6	2.6	C	B	C	A	C	C	B	C	C	C	×	
		東京湾 18	4.1	4.1	3.0	5.8	5.4	4.3	6.1	3.9	4.1	3.7	A	A	C	A	A	A	A	B	A	B	○	
		磯子沖	4.3	3.6	4.6	5.5	5.6	4.0	4.2	2.6	4.8	5.3	A	B	A	A	A	A	A	C	A	A	○	
		夏島沖	5.0	4.0	5.5	5.0	5.6	4.6	5.2	3.9	4.2	4.7	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	○	
		平潟湾内	4.9	4.8	5.1	4.9	4.3	5.0	4.5	5.2	4.8	4.0	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	
		東扇島沖	0.1	0.9	1.5	0.7	2.2	0.2	0.8	0.1	0.4	0.9	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	×	
		扇島沖	<0.5	0.8	1.2	1.6	2.8	0.5	1.3	0.2	0.5	1.7	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	×	
		本牧沖	3.0	3.1	2.6	2.0	3.6	3.1	1.7	1.6	2.6	2.7	C	C	C	C	B	C	C	C	C	C	×	
		富岡沖	5.2	4.3	5.4	6.0	4.9	4.4	4.4	3.7	4.7	4.5	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	○	
		平潟湾沖	4.7	4.4	4.8	4.8	4.9	4.6	4.9	3.7	4.3	4.5	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	○	
		大津湾	4.3	5.0	4.8	4.4	5.9	5.6	4.8	4.2	5.1	5.0	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	
		中の瀬北	3.8	3.3	3.3	4.2	5.5	2.7	2.7	4.1	3.8	4.7	B	C	A	A	A	C	A	B	A	A	●	
		中の瀬南	5.5	4.4	5.2	4.7	5.5	5.0	4.7	4.5	4.3	5.2	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	
	東京 湾口部	東京湾 19	4.9	5.5	6.3	6.3	5.9	6.2	6.1	5.0	6.2	5.5	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	100.0 (達成地点数(○) ●/総地点数 =12/12)
		東京湾 20	5.6	6.8	5.9	6.9	5.7	5.9	6.0	5.6	5.7	5.4	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	
		東京湾 21	7.0	6.5	6.9	7.2	7.3	6.6	7.2	7.0	6.8	6.6	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	
		東京湾 22	6.9	7.4	6.9	7.1	6.9	6.9	7.1	6.6	7.0	6.4	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	
		東京湾 23	7.0	7.0	6.8	6.8	7.2	7.0	7.0	6.9	7.1	6.5	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	
		東京湾 24	7.1	6.9	6.6	6.8	6.9	7.1	6.5	6.8	7.0	6.5	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	
		東京湾 25	7.1	6.7	7.1	7.0	7.5	6.7	7.1	7.2	6.8	6.7	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	
		東京湾 27	7.0	7.3	7.3	7.1	7.4	7.2	7.2	6.4	7.7	6.6	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	
		浦賀湾内	5.9	5.9	5.3	6.3	6.8	6.1	6.1	5.3	6.4	6.2	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	
		久里浜港内	6.2	5.8	5.2	6.3	6.6	5.9	5.9	6.1	5.9	6.2	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	
		浦賀沖	5.6	5.3	5.2	5.3	6.2	5.7	5.5	4.7	5.4	5.7	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	
		観音崎北沖	5.3	5.3	5.3	5.3	5.9	5.7	4.7	5.7	4.1	5.3	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	
生物2 (3mg/L 以上)	川崎港・ 横浜港	鶴見川河口先	4.0	5.0	4.3	4.4	5.0	3.0	3.4	4.2	3.8	4.1	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	100.0 (達成地点数(○) ●/総地点数 =2/2)
		横浜港内	1.7	2.5	1.6	2.0	3.2	3.2	2.6	1.4	3.1	3.1	C	B	C	C	A	A	B	C	A	A	●	
	東京 湾奥部①	St-8	2.8	2.0	2.8	2.2	2.8	2.3	2.2	3.3	2.4	1.4	B	C	B	C	B	C	C	A	C	C	×	0.0 (達成地点数(○) ●/総地点数 =0/6)
		東京湾 1	<0.5	1.9	0.5	4.5	0.7	<0.5	1.8	1.2	0.5	2.9	C	C	C	C	A	C	C	C	C	B	×	
		東京湾 3	<0.5	4.2	0.5	4.8	1.0	<0.5	<0.5	1.3	<0.5	0.5	C	A	C	A	C	C	C	C	C	C	×	
		東京湾 5	1.5	4.0	0.9	1.3	1.5	1.0	<0.5	0.9	1.1	1.7	C	A	C	C	C	C	C	C	C	C	×	
		東京湾 6	<0.5	0.5	0.7	0.9	1.5	<0.5	0.7	0.6	<0.5	0.9	C	A	C	C	C	C	C	C	C	C	×	
		東京湾 7	1.2	1.4	0.6	1.5	1.6	0.8	2.0	1.0	1.4	2.1	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	×	
		浦安沖(追加)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	東京 湾中部①	St-35	<0.5	0.5	0.9	1.2	1.8	<0.5	0.5	0.6	0.6	<0.5	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	×	33.0 (達成地点数(○) ●/総地点数 =2/6)
		東京湾 11	0.9	1.7	1.8	2.6	3.3	1.0	2.1	1.0	1.1	2.4	C	C	C	C	B	A	C	C	C	C	×	
		東京湾 12	0.7	1.5	1.0	1.1	2.6	<0.5	0.8	0.7	<0.5	0.8	C	C	C	C	B	C	C	C	C	C	×	
		東京湾 13	1.7	2.6	2.6	3.0	4.2	1.9	2.8	0.8	2.5	2.1	C	B	B	A	A	C	B	C	B	B	●	
		東京湾 15	2.9	3.8	1.6	4.5	3.5	1.9	2.8	1.7	1.7	2.2	B	A	C	A	A	C	B	C	C	C	●	
		浮島沖	<0.1	0.4	0.7	1.3	1.0	<0.1	1.3	0.4	0.2	<0.1	C	A	C	C	C	C	C	C	C	C	×	
生物3 (2mg/L 以上)	東京港	St-23	<0.5	1.3	1.3	0.5	2.4	1.7	2.2	0.6	1.4	1.8	C	C	C	C	A	B	A	C	C	B	×	50.0 (達成地点数(○) ●/総地点数 =1/2)
		お台場	1.0	0.9	1.5	2.6	2.0	1.8	2.3	0.8	1.4	1.9	C	C	B	A	A	B	A	C	C	B	●	
	千葉港	千葉2(除外)	<0.5	0.5	0.8	0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	×	0.0 (達成地点数(○) ●/総地点数 =0/2)
		千葉3(除外)	<0.5	0.5	0.5	0.5	1.9	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	C	C	C	C	B	C	C	C	C	C	×	
		千葉港(追加)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	木更津港	東京湾 16	1.7	3.1	1.6	4.2	3.1	1.4	3.3	1.4	1.1	2.6	B	A	B	A	A	C	A	C	C	A	○	100.0 (達成地点数(○) ●/総地点数 =1/1)
	東京湾奥 部②	St-22	<0.5	0.5	0.5	0.5	0.7	1.0	0.6	0.5	0.6	<0.5	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	×	0.0 (達成地点数(○) ●/総地点数 =0/5)
		東京湾 4	<0.5	2.5	0.5	0.5	<0.5	<0.5	1.2	<0.5	<0.5	<0.5	C	A	C	C	C	C	C	C	C	C	×	
		東京湾 8	<0.5	0.6	0.7	2.1	0.6	0.5	1.0	<0.5	<0.5	0.7	C	C	C	A	C	C	C	C	C	C	×	
		東京湾 9	1.0	1.7	1.5	2.6	1.0	1.4	0.7	<0.5	<0.5	0.7	C	B	B	A	C	C	C	C	C	C	×	
		東京湾 10	1.3	2.7	0.6	2.1	0.5	0.6	0.6	<0.5	<0.5	0.6	C	A	C	A	C	C	C	C	C	C	×	

注：1. 達成状況の欄の「A」は達成、環境基準に比較的近い測定データは「B」、「C」は未達成を表す。

2. 現況考慮では、過去 10 年間で達成した回数が 5 回（5 年）以上の地点は達成するとした。

3. 千葉港は新たな地点を設定するため参考として示す。

4. 目標とする達成率等欄の「○」は、過去 10 年間で達成した回数が 5 回（5 年）以上の地点、「●」は「A」と「B」を合わせて過去 10 年間で達成した回数が 5 回（5 年）以上の地点、「×」は、「C」が過去 10 年間で 5 回（5 年）以上の地点を表す。

資料：水環境情報サイト（環境省）、東京都資料より作成

表 3.11 東京湾における底層溶存酸素量の環境基準の達成状況（平成 26 年度（2014 年度））

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別 適合状況
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生物1 (4mg/L 以上)	東京湾 央部②	東京湾 14	6.8	5.5	4.3	4.1	2.0	6.2	5.6	5.8	6.9	8.1	8.3	8.1	11/12 (92%)
		東京湾 17	6.0	5.9	3.8	2.6	6.8	4.5	4.2	6.9	6.9	8.6	9.4	8.0	10/12 (83%)
		東京湾 18	6.0	7.2	5.9	4.1	8.8	4.9	5.3	7.1	7.4	9.3	8.7	8.1	12/12 (100%)
		磯子沖	9.4	7.6	8.5	4.6	4.3	5.8	5.6	8.5	7.5	8.5	9.6	9.3	12/12 (100%)
		夏島沖	12.0	8.4	6.3	5.3	6.3	5.0	6.2	7.4	7.7	8.0	9.7	8.2	12/12 (100%)
		平潟湾内	13.0	5.3	10.0	12.0	5.2	7.2	4.9	6.9	7.6	9.0	11.0	10.0	12/12 (100%)
		東扇島沖	6.4	3.0	6.1	3.4	0.1	1.7	4.2	4.4	6.4	6.7	7.2	7.1	8/12 (67%)
		扇島沖	6.6	5.4	5.8	3.1	<0.5	4.4	3.3	4.9	6.1	6.9	8.3	6.9	9/12 (75%)
		本牧沖	7.0	5.4	11.0	3.8	3.0	4.4	4.6	6.1	6.1	8.7	9.1	7.4	10/12 (83%)
		富岡沖	9.6	7.7	5.6	5.2	5.8	6.9	5.5	8.5	7.1	8.5	9.8	8.2	12/12 (100%)
		平潟湾沖	7.2	8.0	5.8	4.8	5.1	4.7	5.0	8.3	7.2	8.5	10.0	9.3	12/12 (100%)
		大津湾	7.2	7.0	5.7	5.0	4.3	6.4	6.6	7.6	7.2	8.2	8.6	8.6	12/12 (100%)
		中の瀬北	7.5	4.6	6.5	4.9	3.9	3.8	6.1	6.9	7.3	8.5	8.9	8.2	10/12 (83%)
		中の瀬南	7.8	5.5	6.9	6.2	5.5	6.4	6.2	6.8	7.5	8.1	8.6	8.3	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		14/14 (100%)	13/14 (93%)	13/14 (93%)	10/14 (71%)	9/14 (64%)	12/14 (86%)	13/14 (93%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	水域区分 の達成率 57%
	東京湾 口部	東京湾 19	9.4	8.5	6.2	4.9	7.7	7.2	6.8	6.8	8.5	8.2	8.4	8.1	12/12 (100%)
		東京湾 20	11.0	6.9	9.6	6.9	8.4	5.6	6.7	7.0	8.6	8.9	9.4	8.7	12/12 (100%)
		東京湾 21		8.4		7.2		7.0		7.3		7.7		8.5	6/6 (100%)
		東京湾 22	9.2		8.6		6.9		6.9		8.0		9.5		6/6 (100%)
		東京湾 23		8.8		7.0		7.2		7.3		7.5		8.9	6/6 (100%)
		東京湾 24		8.3		8.5		7.1		7.4		7.9		8.8	6/6 (100%)
		東京湾 25		8.2		8.0		7.1		7.3		8.0		8.5	6/6 (100%)
		東京湾 27	8.7		8.3		7.0		7.2		7.9		8.5		6/6 (100%)
		浦賀港内	10.0	7.4	10.0	9.3	7.8	7.5	5.9	6.8	7.0	7.9	8.4	8.2	12/12 (100%)
		久里浜港内	9.8	7.4	9.7	9.2	7.3	6.8	6.2	7.5	7.3	7.6	8.9	9.2	12/12 (100%)
		浦賀沖	8.5	7.1	6.7	6.1	5.6	6.8	5.8	7.3	6.8	7.4	7.8	8.5	12/12 (100%)
		観音崎北沖	8.6	7.0	6.8	6.8	5.3	6.9	6.4	6.5	7.2	8.0	8.5	7.6	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	水域区分 の達成率 100%

資料：水環境情報サイト環境省）、東京都資料より作成
注 1：表中の太数字は、環境基準に非適合であることを表す。
注 2：測定値には日間平均値の月最低値を用いている。
注 3：「/」は未測定を示す。

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別 適合状況	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
生物2 (3mg/L 以上)	川崎港・ 横浜港	鶴見川河口先	9.6	7.2	9.1	4.0	4.3	4.3	5.5	6.5	6.5	8.8	9.8	9.2	12/12 (100%)	
		横浜港内	7.4	5.1	9.1	2.9	2.9	1.7	3.9	5.0	6.1	7.8	9.0	8.7	9/12 (75%)	
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	1/2 (50%)	1/2 (50%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 50%	
	東京湾 奥部①	St-8	8.8	5.7	5.7	3.9	5.3	2.8	3.9	5.6	7.0	8.4	8.6	8.1	11/12 (92%)	
		東京湾 1	9.2	7.8	8.4	5.9	7.3	<0.5	6.4	5.6	7.1	8.5	8.9	8.9	11/12 (92%)	
		東京湾 3	10.0	7.8	5.5	2.5	10.0	<0.5	<0.5	5.4	8.1	10.0	11.0	9.8	9/12 (75%)	
		東京湾 5	13.0	4.6	5.5	1.5	8.8	2.6	5.9	6.4	7.7	9.7	9.3	9.4	10/12 (83%)	
		東京湾 6	9.7	3.5	2.6	6.1	7.6	3.1	<0.5	6.6	8.1	9.9	9.6	9.3	10/12 (83%)	
		東京湾 7	11.0	6.5	6.8	2.3	7.6	1.2	2.9	6.8	8.6	10.0	9.7	9.1	9/12 (75%)	
		水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	6/6 (100%)	5/6 (83%)	3/6 (50%)	6/6 (100%)	1/6 (17%)	3/6 (50%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分 の達成率 0%
	東京湾 央部①	St-35	6.4	5.2	3.7	2.5	<0.5	2.0	5.1	4.7	6.7	7.0	8.2	7.2	9/12 (75%)	
		東京湾 11	6.2	5.4	3.0	1.7	0.9	4.8	4.2	3.1	7.1	10.0	9.4	7.6	10/12 (83%)	
		東京湾 12	5.5	5.2	3.3	0.8	0.7	1.9	3.6	3.5	7.4	10.0	9.2	7.3	9/12 (75%)	
		東京湾 13	7.3	5.5	4.2	2.9	1.7	5.5	4.4	5.4	6.9	8.8	8.8	8.3	10/12 (83%)	
		東京湾 15	6.1	7.2	2.9	3.3	9.3	6.0	5.5	5.8	6.3	8.3	8.0	8.1	11/12 (92%)	
		浮島沖	6.2	2.7	5.5	2.9	<0.1	1.8	3.4	4.1	4.7	6.9	7.3	7.0	8/12 (67%)	
	水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	5/6 (83%)	5/6 (83%)	1/6 (17%)	1/6 (17%)	3/6 (50%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分 の達成率 0%	
	生物3 (2mg/L 以上)	東京港	St-23	6.7	5.9	6.1	2.7	2.9	<0.5	4.6	6.2	6.7	8.7	8.8	8.4	11/12 (92%)
			お台場	6.5	6.0	3.8	3.4	2.5	1.0	2.7	3.9	6.2	6.9	8.2	7.6	11/12 (92%)
		水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 0%
		千葉港	千葉 2	3.7	7.5	<0.5	<0.5	7.2	1.1	1.9	6.2	8.4	9.5	9.5	7.6	8/12 (67%)
千葉 3			3.7	2.0	<0.5	<0.5	6.1	<0.5	1.1	3.3	7.9	10.0	8.7	7.5	8/12 (67%)	
水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 0%		
木更津港		東京湾 16	6.3	5.6	3.1	1.7	7.2	2.7	4.3	6.6	6.7	9.0	9.2	8.0	11/12 (92%)	
水域区分内月別達成状況		1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	0/1 (0%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	水域区分 の達成率 0%		
東京湾 奥部②		St-22	6.5	2.3	1.4	<0.5	5.8	3.1	3.8	3.6	9.9	8.4	8.1	7.7	10/12 (83%)	
		東京湾 4	7.7	4.1	7.6	<0.5	7.9	1.5	1.6	6.7	8.1	8.3	8.0	9.2	9/12 (75%)	
	東京湾 8	8.1	5.0	0.5	<0.5	1.1	2.5	4.2	2.2	7.1	9.2	9.3	8.7	9/12 (75%)		
	東京湾 9	5.6	3.9	2.0	1.0	1.6	1.0	1.5	6.7	7.2	9.5	9.2	9.8	8/12 (67%)		
	東京湾 10	6.9	3.1	1.9	2.8	3.1	2.9	1.3	5.1	8.1	9.1	9.8	9.4	10/12 (83%)		
水域区分内月別達成状況		5/5 (100%)	5/5 (100%)	2/5 (40%)	1/5 (20%)	3/5 (60%)	3/5 (60%)	2/5 (40%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	水域区分 の達成率 0%		
水域全体の月別達成状況			46/46 (100%)	46/48 (96%)	38/46 (83%)	28/48 (58%)	33/46 (72%)	31/48 (65%)	37/46 (80%)	48/48 (100%)	46/46 (100%)	48/48 (100%)	46/46 (100%)	48/48 (100%)	水域全体 の達成率 43%	

表 3.12 東京湾における底層溶存酸素量の環境基準の達成状況（平成 27 年度（2015 年度））

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別 適合状況
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生物1 (4mg/L 以上)	東京湾 央部②	東京湾 14	7.7	4.9	5.2	2.9	2.6	5.3	4.8	6.3	6.6	7.6	8.3	7.8	10/12 (83%)
		東京湾 17	8.0	3.9	4.4	4.2	3.8	4.4	5.7	6.3	7.2	7.8	8.3	8.8	10/12 (83%)
		東京湾 18	8.3	5.8	6.3	4.2	4.1	4.9	6.4	6.4	7.6	7.9	9.1	8.6	12/12 (100%)
		磯子沖	8.3	6.2	5.7	3.9	3.7	3.6	6.2	6.8	7.6	7.5	9.1	9.3	9/12 (75%)
		夏島沖	8.6	8.0	6.4	4.0	5.0	6.8	6.2	6.9	7.6	8.5	9.4	9.6	12/12 (100%)
		平潟湾内	7.9	6.1	7.1	5.9	6.2	4.8	8.4	6.5	7.1	8.4	9.3	11.0	12/12 (100%)
		東扇島沖	7.4	2.4	2.9	1.0	1.7	0.9	5.1	4.6	6.2	7.1	6.8	7.2	7/12 (58%)
		扇島沖	7.9	3.1	2.4	1.8	0.8	2.1	5.1	4.9	6.6	7.0	6.9	8.2	7/12 (58%)
		本牧沖	8.5	5.7	3.6	3.8	3.1	3.3	6.0	5.4	6.9	7.9	8.8	8.1	8/12 (67%)
		富岡沖	8.2	6.0	6.1	4.9	4.3	5.3	6.4	6.9	7.8	8.3	9.7	9.5	12/12 (100%)
		平潟湾沖	8.3	6.3	6.4	4.9	4.7	4.4	6.2	7.1	7.2	7.5	9.9	9.3	12/12 (100%)
		大津湾	8.0	7.1	6.4	5.0	5.4	6.0	6.8	6.6	7.2	7.6	9.0	8.9	12/12 (100%)
		中の瀬北	7.0	5.6	4.7	3.3	3.8	4.5	5.7	6.4	7.3	7.5	8.0	8.4	10/12 (83%)
		中の瀬南	6.9	5.8	6.4	4.9	4.4	4.8	6.2	6.3	7.1	7.5	8.3	8.3	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		14/14 (100%)	11/14 (79%)	11/14 (79%)	8/14 (57%)	7/14 (50%)	10/14 (71%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	水域区分 の達成率 50%
	東京湾 口部	東京湾 19	8.0	6.9	7.6	5.5	6.5	5.8	7.4	7.3	7.7	9.0	8.8	8.3	12/12 (100%)
		東京湾 20	7.9	6.9	6.9	7.0	7.4	6.8	8.3	7.3	8.3	9.2	8.7	10.0	12/12 (100%)
		東京湾 21		7.3		6.5		7.0		7.6		8.5		7.7	6/6 (100%)
		東京湾 22	7.5		9.1		7.4		7.5		7.7		8.0		6/6 (100%)
		東京湾 23		8.1		7.3		7.0		7.5		8.5		7.2	6/6 (100%)
		東京湾 24		7.7		6.9		7.1		7.7		8.7		7.7	6/6 (100%)
		東京湾 25		7.2		6.7		7.1		7.6		8.7		7.5	6/6 (100%)
		東京湾 27	8.1		8.8		7.3		7.9		7.4		7.8		6/6 (100%)
		浦賀港内	7.7	8.3	6.8	6.5	7.0	5.9	6.5	6.6	7.2	8.0	9.1	9.2	12/12 (100%)
		久里浜港内	7.6	7.5	6.7	5.8	6.9	6.7	7.3	6.8	7.2	7.9	8.7	8.9	12/12 (100%)
		浦賀沖	7.2	6.6	6.6	5.3	6.0	6.0	6.0	6.8	6.5	7.9	8.1	7.9	12/12 (100%)
		観音崎北沖	7.5	6.3	6.4	5.3	5.7	6.0	6.6	6.6	7.3	7.1	8.3	7.8	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	水域区分 の達成率 100%

資料：水環境情報サイト環境省）、東京都資料より作成

注 1：表中の太数字は、環境基準に非適合であることを表す。

注 2：測定値には日間平均値の月最低値を用いている。

注 3：「/」は未測定を示す。

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)													地点別 適合状況
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
生物2 (3mg/L 以上)	川崎港・ 横浜港	鶴見川河口先	8.2	5.1	5.9	5.1	5.0	5.9	6.2	6.1	7.5	8.9	9.7	9.5	12/12 (100%)	
		横浜港内	8.4	5.5	5.0	2.5	2.5	3.2	5.6	5.5	6.4	6.7	9.4	8.9	10/12 (83%)	
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	1/2 (50%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 50%	
	東京湾 奥部①	St-8	7.2	5.3	3.8	6.5	4.7	2.0	4.5	6.6	6.7	7.7	8.5	7.1	11/12 (92%)	
		東京湾 1	8.5	8.6	9.5	4.0	1.9	6.5	8.6	7.7	5.9	10.0	9.6	10.0	11/12 (92%)	
		東京湾 3	8.6	12.0	8.3	5.1	4.2	7.7	10.0	8.5	7.4	9.8	9.7	11.0	12/12 (100%)	
		東京湾 5	8.1	7.1	5.9	4.5	4.1	6.9	4.0	8.0	7.7	8.8	9.2	11.0	12/12 (100%)	
		東京湾 6	8.0	6.6	5.1	3.7	0.5	6.8	2.6	8.0	7.8	9.6	9.1	11.0	10/12 (83%)	
		東京湾 7	7.3	5.9	3.7	6.3	1.4	7.2	3.4	7.3	7.4	8.9	8.6	10.0	11/12 (92%)	
		水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	3/6 (50%)	5/6 (83%)	5/6 (83%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分 の達成率 33%
	東京湾 央部①	St-35	7.3	4.0	1.5	0.5	0.5	3.0	2.9	5.1	5.3	6.9	7.5	9.7	8/12 (67%)	
		東京湾 11	7.9	3.3	2.3	4.7	1.7	6.0	4.2	6.4	7.0	9.7	9.2	9.8	10/12 (83%)	
		東京湾 12	7.3	3.1	2.6	3.8	1.5	2.8	3.0	4.7	7.2	8.2	9.5	9.9	9/12 (75%)	
		東京湾 13	8.0	4.2	4.5	3.9	2.6	3.9	5.0	6.2	7.5	8.2	8.7	6.5	11/12 (92%)	
		東京湾 15	8.0	3.8	4.5	4.0	4.6	5.4	5.7	5.9	6.8	7.6	8.5	7.9	12/12 (100%)	
		浮島沖	8.4	4.7	1.5	0.4	0.6	0.9	4.4	4.4	5.7	6.8	8.8	7.2	8/12 (67%)	
	水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	6/6 (100%)	2/6 (33%)	4/6 (67%)	1/6 (17%)	4/6 (67%)	5/6 (83%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分 の達成率 17%	
生物3 (2mg/L 以上)	東京港	St-23	7.1	6.0	5.2	6.5	1.3	1.6	3.2	5.1	5.4	7.0	8.5	8.7	10/12 (83%)	
		お台場	6.5	6.3	4.0	8.4	1.6	0.9	2.5	2.5	5.0	6.9	8.1	7.7	10/12 (83%)	
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 0%	
	千葉港	千葉 2	4.0	0.5	1.0	1.9	4.4	2.5	1.9	5.6	5.7	7.7	7.8	7.7	8/12 (67%)	
		千葉 3	4.5	0.7	1.5	1.9	0.5	2.8	1.3	7.1	5.9	7.7	8.3	5.9	7/12 (58%)	
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 0%	
	木更津港	東京湾 16	8.3	4.0	3.3	3.7	3.1	4.3	5.7	6.1	7.3	7.6	8.9	8.6	12/12 (100%)	
	水域区分内月別達成状況		1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	水域区分 の達成率 100%	
	東京湾 奥部②	St-22	7.8	3.0	0.5	0.5	0.5	0.5	4.1	3.2	6.0	7.5	8.8	6.8	8/12 (67%)	
		東京湾 4	8.5	6.7	8.4	4.6	2.5	6.9	8.3	7.4	6.4	9.6	9.5	10.0	12/12 (100%)	
		東京湾 8	8.0	2.5	5.8	1.0	0.6	4.9	7.9	6.3	8.2	8.7	9.2	7.4	10/12 (83%)	
		東京湾 9	7.0	1.8	2.4	4.8	1.7	5.9	3.8	9.0	7.1	8.1	8.5	10.0	10/12 (83%)	
		東京湾 10	7.3	2.8	4.9	7.0	2.7	2.8	4.1	7.0	7.9	8.4	8.7	9.6	12/12 (100%)	
	水域区分内月別達成状況		5/5 (100%)	4/5 (80%)	4/5 (80%)	3/5 (60%)	2/5 (40%)	4/5 (80%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	水域区分 の達成率 40%	
水域全体の月別達成状況			46/46 (100%)	42/48 (88%)	36/46 (78%)	35/48 (73%)	24/46 (52%)	38/48 (79%)	42/46 (91%)	48/48 (100%)	46/46 (100%)	48/48 (100%)	46/46 (100%)	48/48 (100%)	水域全体 の達成率 53%	

表 3.13 東京湾における底層溶存酸素量の環境基準の達成状況（平成 28 年度（2016 年度））

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別 適合状況
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生物1 (4mg/L 以上)	東京湾 央部②	東京湾 14	6.6	5.8	4.6	4.0	2.7	3.3	1.7	5.9	6.7	7.1	8.9	8.2	9/12 (75%)
		東京湾 17	6.8	6.0	5.6	6.8	4.8	2.4	3.0	6.3	7.8	8.1	9.4	8.9	10/12 (83%)
		東京湾 18	7.3	6.0	5.3	5.8	5.7	3.0	4.2	6.6	7.4	8.2	9.5	8.8	11/12 (92%)
		磯子沖	8.6	8.0	5.1	7.9	4.6	5.5	4.7	7.3	7.7	8.2	9.1	9.9	12/12 (100%)
		夏島沖	7.9	8.1	6.3	7.5	6.1	5.5	6.8	6.6	7.3	8.2	9.1	9.3	12/12 (100%)
		平潟湾内	9.0	9.6	6.9	8.1	8.3	5.1	8.5	7.0	7.6	9.5	9.5	9.7	12/12 (100%)
		東扇島沖	5.0	4.4	2.0	4.1	1.5	1.6	4.2	6.8	6.5	7.7	8.6	9.1	9/12 (75%)
		扇島沖	6.4	5.7	2.8	4.3	1.2	4.2	3.0	7.0	6.5	7.9	8.6	9.1	9/12 (75%)
		本牧沖	7.1	6.2	3.9	5.6	2.6	2.8	3.9	7.5	7.5	8.3	8.8	10.0	8/12 (67%)
		富岡沖	8.8	7.8	6.7	7.2	5.4	5.5	6.3	7.6	8.0	8.8	8.9	9.3	12/12 (100%)
		平潟湾沖	8.1	7.0	5.1	8.0	5.4	5.0	4.8	7.3	8.0	8.4	9.1	9.4	12/12 (100%)
		大津湾	7.8	7.6	5.7	7.0	6.1	4.8	5.6	7.2	7.5	8.0	8.9	8.7	12/12 (100%)
		中の瀬北	7.2	5.9	3.3	5.5	3.6	7.5	5.2	6.9	7.4	7.8	9.4	9.1	10/12 (83%)
		中の瀬南	7.5	7.9	5.4	6.0	5.2	6.9	5.4	7.0	7.0	8.0	8.6	8.7	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		14/14 (100%)	14/14 (100%)	10/14 (71%)	14/14 (100%)	9/14 (64%)	9/14 (64%)	10/14 (71%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	水域区分 の達成率 50%
	東京湾 口部	東京湾 19	7.7	7.2	6.7	6.5	6.4	6.7	6.3	7.9	7.7	7.8	8.8	8.6	12/12 (100%)
		東京湾 20	8.1	7.5	7.2	6.3	6.1	6.3	5.9	8.1	8.3	8.9	9.3	10.0	12/12 (100%)
		東京湾 21		7.6		6.9		6.9		7.3		7.7		8.5	6/6 (100%)
		東京湾 22	8.0		6.9		7.0		7.5		7.6		8.3		6/6 (100%)
		東京湾 23		7.2		8.6		6.8		7.5		9.0		7.7	6/6 (100%)
		東京湾 24		6.9		6.8		6.6		7.2		8.2		8.4	6/6 (100%)
		東京湾 25		7.1		8.0		7.5		7.4		8.0		8.7	6/6 (100%)
		東京湾 27	7.8		7.5		7.4		7.4		7.3		7.5		6/6 (100%)
		浦賀港内	7.7	7.3	6.5	7.2	6.6	5.3	6.5	7.1	7.3	7.4	8.1	8.4	12/12 (100%)
		久里浜港内	7.5	7.3	6.5	6.9	6.2	5.2	6.2	7.1	7.4	7.6	8.1	8.3	12/12 (100%)
		浦賀沖	7.7	6.5	6.7	6.1	5.2	6.3	6.5	7.2	7.5	7.8	8.1	8.1	12/12 (100%)
		観音崎北沖	7.7	7.0	6.5	6.1	5.3	5.8	7.1	7.5	7.3	7.8	8.1	8.4	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	水域区分 の達成率 100%

資料：水環境情報サイト環境省）、東京都資料より作成

注 1：表中の太数字は、環境基準に非適合であることを表す。

注 2：測定値には日間平均値の月最低値を用いている。

注 3：「/」は未測定を示す。

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別適合状況
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生物2 (3mg/L以上)	川崎港・横浜港	鶴見川河口先	8.2	7.8	4.3	7.8	4.5	5.1	9.0	6.9	7.4	8.4	9.6	10.0	12/12 (100%)
		横浜港内	10.0	4.4	3.8	8.0	1.6	3.9	2.7	6.7	6.8	8.1	9.2	9.7	10/12 (83%)
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分の達成率 50%
	東京湾奥部①	St-8	8.1	6.3	3.5	9.0	2.8	8.6	13.0	3.4	6.6	7.1	9.5	9.9	11/12 (92%)
		東京湾 1	7.9	7.3	3.6	6.5	3.3	0.5	4.8	1.9	6.1	7.5	9.2	11.0	10/12 (83%)
		東京湾 3	6.7	3.5	5.7	3.0	4.0	0.5	1.8	4.7	7.5	8.7	10.0	11.0	10/12 (83%)
		東京湾 5	6.1	3.5	4.5	3.0	3.8	0.9	1.0	1.6	7.1	8.4	9.7	10.0	9/12 (75%)
		東京湾 6	6.5	3.7	3.6	2.0	3.1	0.7	1.4	1.4	7.2	8.6	9.7	10.0	8/12 (67%)
		東京湾 7	6.4	4.6	6.2	4.9	4.5	0.6	1.5	1.6	7.7	8.7	10.0	8.8	9/12 (75%)
	水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	5/6 (83%)	5/6 (83%)	1/6 (17%)	2/6 (33%)	2/6 (33%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分の達成率 0%
	東京湾央部①	St-35	3.7	5.4	2.6	3.7	1.0	0.9	1.3	4.1	6.4	7.1	8.5	8.8	8/12 (67%)
		東京湾 11	5.2	5.8	4.6	3.2	4.6	3.1	1.8	3.9	7.2	8.3	10.0	8.1	11/12 (92%)
		東京湾 12	5.6	4.9	3.9	3.0	3.5	2.7	1.0	3.7	6.7	8.8	9.7	8.1	10/12 (83%)
		東京湾 13	6.0	5.6	3.9	3.4	3.4	4.4	2.6	5.0	7.3	8.2	10.0	8.3	11/12 (92%)
		東京湾 15	7.3	5.4	4.8	4.8	3.9	1.6	2.3	6.0	7.0	8.7	9.0	12.0	10/12 (83%)
		浮島沖	4.9	5.8	1.5	4.0	0.7	3.0	3.3	6.4	6.2	7.2	8.5	8.6	10/12 (83%)
	水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	6/6 (100%)	4/6 (67%)	6/6 (100%)	4/6 (67%)	3/6 (50%)	1/6 (17%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分の達成率 0%
生物3 (2mg/L以上)	東京港	St-23	7.6	6.7	2.4	5.5	3.3	3.5	1.3	2.5	6.9	7.4	9.1	10.0	11/12 (92%)
		お台場	6.6	6.4	1.9	5.3	1.7	3.5	3.5	1.5	5.4	6.6	9.1	9.4	9/12 (75%)
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	1/2 (50%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分の達成率 0%
	千葉港	千葉 2	4.8	4.8	1.8	3.8	1.9	2.8	0.8	1.0	6.2	7.5	9.5	7.1	8/12 (67%)
		千葉 3	3.1	3.9	2.1	8.0	2.3	3.1	0.5	1.4	6.3	6.7	9.6	7.3	10/12 (83%)
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分の達成率 0%
	木更津港	東京湾 16	7.2	6.1	5.9	5.3	3.7	1.6	3.2	6.4	7.5	8.1	9.6	9.1	11/12 (92%)
	水域区分内月別達成状況		1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	0/1 (0%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	水域区分の達成率 0%
	東京湾奥部②	St-22	3.9	6.1	0.5	3.4	1.1	2.1	0.5	1.7	6.6	7.9	8.8	11.0	8/12 (67%)
		東京湾 4	5.7	2.2	4.4	1.3	2.3	0.5	0.8	0.8	6.8	7.9	8.7	11.0	8/12 (67%)
		東京湾 8	3.4	5.4	2.8	2.7	1.6	0.7	7.2	4.2	6.4	8.7	8.7	9.5	10/12 (83%)
		東京湾 9	4.3	4.7	3.5	2.0	3.7	2.7	1.5	2.4	7.6	8.5	9.8	8.6	11/12 (92%)
		東京湾 10	2.9	4.5	2.4	8.3	2.5	2.6	0.6	4.5	8.0	8.8	9.5	8.1	11/12 (92%)
	水域区分内月別達成状況		5/5 (100%)	5/5 (100%)	4/5 (80%)	4/5 (80%)	3/5 (60%)	3/5 (60%)	1/5 (20%)	3/5 (60%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	水域区分の達成率 0%
水域全体の月別達成状況			46/46 (100%)	48/48 (100%)	37/46 (80%)	46/48 (96%)	33/46 (72%)	32/48 (67%)	25/46 (54%)	39/48 (81%)	46/46 (100%)	48/48 (100%)	46/46 (100%)	48/48 (100%)	水域全体の達成率 41%

表 3.14 東京湾における底層溶存酸素量の環境基準の達成状況（平成 29 年度（2017 年度））

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別 適合状況
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生物1 (4mg/L 以上)	東京湾 央部②	東京湾 14	7.8	6.6	2.9	2.8	5.6	5.5	4.9	6.5	7.0	9.4	8.6	9.7	10/12 (83%)
		東京湾 17	7.5	7.4	5.6	6.4	5.3	4.6	6.1	6.5	7.6	9.6	8.9	9.2	12/12 (100%)
		東京湾 18	8.3	7.7	6.8	5.9	5.8	5.9	6.8	6.4	7.2	9.5	9.4	9.7	12/12 (100%)
		磯子沖	8.7	7.4	6.2	5.5	6.0	6.4	7.9	6.2	7.2	8.6	8.9	9.4	12/12 (100%)
		夏島沖	8.0	8.6	6.1	6.4	5.5	5.0	5.5	6.8	7.3	8.8	9.0	9.1	12/12 (100%)
		平潟湾内	8.7	8.0	7.4	8.2	4.9	6.1	8.3	6.7	7.6	9.6	9.9	9.8	12/12 (100%)
		東扇島沖	7.4	5.2	4.9	0.7	4.8	4.1	1.7	5.3	7.4	9.0	7.8	8.9	10/12 (83%)
		扇島沖	7.1	4.9	4.9	2.6	5.4	3.6	1.6	5.7	5.3	8.8	8.6	8.9	9/12 (75%)
		本牧沖	7.6	6.1	5.0	3.4	4.4	2.0	3.5	6.3	6.1	8.3	8.5	9.6	9/12 (75%)
		富岡沖	9.1	7.8	6.4	6.0	6.0	6.4	7.9	7.5	7.7	8.6	8.9	9.4	12/12 (100%)
		平潟湾沖	8.5	8.2	5.6	9.1	4.8	5.6	6.8	6.4	7.0	8.2	8.8	9.4	12/12 (100%)
		大津湾	7.8	6.6	6.1	4.7	5.9	5.6	4.4	6.2	7.3	8.6	8.6	7.4	12/12 (100%)
		中の瀬北	8.0	6.4	5.8	4.2	5.7	6.0	4.5	6.0	6.0	8.6	8.1	7.7	12/12 (100%)
		中の瀬南	7.4	6.7	6.4	4.7	6.2	5.4	4.8	6.3	7.3	8.5	8.4	7.8	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		14/14 (100%)	14/14 (100%)	13/14 (93%)	10/14 (71%)	14/14 (100%)	12/14 (86%)	11/14 (79%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	水域区分 の達成率 71%
	東京湾 口部	東京湾 19	7.9	8.2	6.7	6.3	6.5	7.0	8.2	7.2	7.6	9.2	8.5	8.7	12/12 (100%)
		東京湾 20	8.3	8.3	6.9	7.6	6.9	8.3	8.3	7.5	8.3	8.2	9.7	8.4	12/12 (100%)
		東京湾 21		7.7		7.7		7.2		7.6		7.8		8.0	6/6 (100%)
		東京湾 22	8.3		7.3		7.1		7.1		7.7		7.3		6/6 (100%)
		東京湾 23		7.7		7.3		6.8		7.1		7.9		8.1	6/6 (100%)
		東京湾 24		7.8		7.6		6.8		7.2		7.7		8.2	6/6 (100%)
		東京湾 25		7.6		7.6		7.0		7.7		7.9		8.1	6/6 (100%)
		東京湾 27	8.6		7.3		7.1		7.2		7.1		7.8		6/6 (100%)
		浦賀港内	7.3	8.5	6.9	6.3	6.7	7.0	6.9	6.5	6.9	9.1	7.3	8.4	12/12 (100%)
		久里浜港内	7.9	8.1	7.5	8.1	6.5	6.3	6.7	6.8	7.3	8.9	8.3	9.1	12/12 (100%)
		浦賀沖	7.3	6.7	6.7	6.0	5.8	6.1	5.3	6.4	7.8	8.1	7.9	7.7	12/12 (100%)
		観音崎北沖	7.6	6.9	6.7	5.7	6.2	5.7	5.3	6.8	7.6	9.0	8.7	8.9	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	8/8 (100%)	10/10 (100%)	水域区分 の達成率 100%

資料：水環境情報サイト環境省）より作成

注 1：表中の太数字は、環境基準に非適合であることを表す。

注 2：測定値には日間平均値の月最低値を用いている。

注 3：「/」は未測定を示す。

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	適合状況
生物2 (3mg/L 以上)	川崎港・ 横浜港	鶴見川河口先	8.3	7.9	5.4	5.3	4.8	4.4	6.7	5.9	7.2	9.1	9.3	8.9	12/12 (100%)
		横浜港内	8.0	7.2	4.7	3.4	2.0	4.5	3.3	4.6	6.8	8.8	8.6	8.6	11/12 (92%)
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 50%
	東京湾 奥部①	St-8	7.0	7.2	7.3	2.2	6.4	6.6	6.3	4.7	7.1	8.5	8.9	11.0	11/12 (92%)
		東京湾 1	8.3	8.6	8.4	5.3	5.9	5.8	4.5	8.5	7.3	9.7	9.0	11.0	12/12 (100%)
		東京湾 3	8.6	5.8	6.7	8.5	4.8	6.9	9.1	10.0	5.5	9.7	10.0	10.0	12/12 (100%)
		東京湾 5	8.8	6.6	2.6	6.0	1.3	3.2	4.9	8.2	5.7	10.0	9.1	10.0	10/12 (83%)
		東京湾 6	8.0	11.0	2.7	5.4	0.9	3.1	4.2	7.4	4.0	9.8	9.3	10.0	10/12 (83%)
		東京湾 7	8.0	5.5	2.5	9.0	1.5	3.7	5.2	7.9	6.5	9.4	9.1	9.7	10/12 (83%)
		水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	6/6 (100%)	3/6 (50%)	5/6 (83%)	3/6 (50%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)
	東京湾 央部①	St-35	6.7	4.5	1.6	1.2	3.6	3.2	2.6	5.9	5.3	9.0	8.0	9.7	9/12 (75%)
		東京湾 11	8.0	7.2	3.7	4.0	2.6	4.1	4.5	5.2	5.7	10.0	8.6	10.0	11/12 (92%)
		東京湾 12	8.1	6.5	2.8	3.8	1.1	4.6	1.9	5.7	5.0	9.9	10.0	10.0	9/12 (75%)
		東京湾 13	7.6	4.4	3.8	3.0	3.5	5.2	5.2	6.0	7.0	10.0	8.5	10.0	12/12 (100%)
		東京湾 15	7.9	7.2	4.5	8.1	4.9	4.8	7.6	6.5	7.8	9.6	9.2	9.5	12/12 (100%)
		浮島沖	7.2	5.1	2.5	1.3	3.7	4.2	1.4	5.0	5.2	9.7	8.1	8.3	9/12 (75%)
	水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	6/6 (100%)	3/6 (50%)	4/6 (67%)	4/6 (67%)	6/6 (100%)	3/6 (50%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分 の達成率 33%
生物3 (2mg/L 以上)	東京港	St-23	7.5	9.4	7.2	2.0	0.5	2.4	2.5	5.6	6.3	8.6	8.3	8.8	11/12 (92%)
		お台場	6.6	8.5	6.0	3.2	3.3	2.8	2.6	5.2	4.7	8.1	7.6	10.3	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 50%
	千葉港	千葉 2	7.4	1.2	0.5	0.7	3.3	3.9	2.1	3.6	3.7	9.7	7.6	9.1	9/12 (75%)
		千葉 3	7.7	0.5	0.5	4.8	1.0	2.5	3.0	4.2	3.2	9.3	8.1	9.1	9/12 (75%)
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	1/2 (50%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 0%
	木更津港	東京湾 16	7.8	7.1	5.5	6.0	4.2	4.6	4.4	6.4	7.8	10.0	9.2	9.6	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	水域区分 の達成率 100%
	東京湾 奥部②	St-22	7.3	1.4	5.4	0.5	0.5	0.9	1.0	6.4	6.5	9.8	8.3	9.7	7/12 (58%)
		東京湾 4	8.8	3.1	2.7	5.2	0.5	2.0	2.5	7.2	7.1	10.0	9.9	10.0	11/12 (92%)
		東京湾 8	8.4	8.0	5.3	2.1	4.3	3.7	3.1	6.9	5.5	10.0	8.4	10.0	12/12 (100%)
		東京湾 9	7.5	5.5	3.0	6.3	2.6	4.8	4.1	7.7	7.2	9.5	9.2	10.0	12/12 (100%)
		東京湾 10	6.7	6.7	4.5	2.1	2.4	5.4	2.1	6.5	5.5	10.0	8.5	10.0	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		5/5 (100%)	4/5 (80%)	5/5 (100%)	4/5 (80%)	3/5 (60%)	4/5 (80%)	4/5 (80%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	水域区分 の達成率 60%
水域全体の月別達成状況			46/46 (100%)	45/48 (94%)	37/46 (80%)	39/48 (81%)	36/46 (78%)	45/48 (94%)	39/46 (85%)	48/48 (100%)	46/46 (100%)	48/48 (100%)	46/46 (100%)	48/48 (100%)	水域全体 の達成率 64%

表 3.15 東京湾における底層溶存酸素量の環境基準の達成状況（平成 30 年度（2018 年度））

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別 適合状況
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生物1 (4mg/L 以上)	東京湾 中部②	東京湾 14	6.4	6.2	3.0	2.3	4.6	5.8	5.3	7.0	7.6	9.4	9.4	8.0	10/12 (83%)
		東京湾 17	7.7	6.6	3.0	5.0	5.7	4.0	6.5	7.3	7.2	9.3	8.9	8.7	11/12 (92%)
		東京湾 18	7.8	6.8	5.4	6.5	6.8	6.3	6.3	8.8	7.6	9.1	9.5	9.0	12/12 (100%)
		磯子沖	9.1	8.0	7.6	5.8	5.6	5.8	6.5	8.3	7.6	9.0	9.2	9.2	12/12 (100%)
		夏島沖	8.1	7.1	5.6	6.6	5.7	5.7	7.1	8.3	7.0	9.0	9.6	9.0	12/12 (100%)
		平潟湾内	8.8	7.3	8.4	7.7	8.5	4.3	7.1	7.7	7.2	9.9	9.2	9.7	12/12 (100%)
		東扇島沖	6.2	6.4	4.2	3.7	2.9	2.2	4.4	5.0	5.2	8.1	8.2	7.0	9/12 (75%)
		扇島沖	6.3	6.4	4.4	3.0	2.8	2.9	4.1	5.2	5.2	8.5	8.8	7.0	9/12 (75%)
		本牧沖	7.7	7.4	5.9	4.8	3.6	4.2	4.5	6.5	6.4	8.0	9.4	9.0	11/12 (92%)
		富岡沖	9.5	8.3	6.2	7.4	5.8	4.9	6.1	7.2	7.6	9.5	9.2	9.3	12/12 (100%)
		平潟湾沖	10.0	7.9	6.2	5.1	5.7	4.9	5.7	8.3	7.7	9.7	9.1	9.4	12/12 (100%)
		大津湾	7.1	6.7	6.3	5.9	6.0	6.4	6.0	7.1	7.0	8.9	9.3	8.5	12/12 (100%)
		中の瀬北	7.3	6.6	6.5	6.0	5.5	6.0	5.5	6.4	6.8	8.8	8.7	8.2	12/12 (100%)
		中の瀬南	7.8	7.1	6.5	5.5	6.1	6.1	6.3	6.7	6.8	8.7	8.7	8.4	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		14/14 (100%)	14/14 (100%)	12/14 (86%)	11/14 (79%)	11/14 (79%)	12/14 (86%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	水域区分 の達成率 64%
	東京湾 口部	東京湾 19	7.3	7.8	6.3	6.8	5.9	6.8	7.2	8.0	8.1	8.4	9.2	7.9	12/12 (100%)
		東京湾 20	7.8	8.0	6.4	5.7	6.6	6.3	7.0	8.2	8.6	8.3	8.7	7.8	12/12 (100%)
		東京湾 21	/	8.6	/	8.1	/	7.3	/	7.6	/	8.4	/	8.0	6/6 (100%)
		東京湾 22	8.5	/	7.6	/	7.2	/	6.9	/	7.4	/	8.2	/	6/6 (100%)
		東京湾 23	/	7.9	/	7.7	/	7.2	/	7.5	/	8.0	/	7.9	6/6 (100%)
		東京湾 24	8.3	/	7.6	/	6.9	/	7.7	/	7.8	/	7.8	/	6/6 (100%)
		東京湾 25	/	8.0	/	7.7	/	7.5	/	7.5	/	8.3	/	7.8	6/6 (100%)
		東京湾 27	7.5	/	7.6	/	7.5	/	7.6	/	7.4	/	8.0	/	6/6 (100%)
		浦賀港内	8.4	7.5	9.0	6.8	8.3	6.9	7.3	8.0	8.2	9.1	8.6	8.7	12/12 (100%)
		久里浜港内	8.2	7.5	8.2	7.4	7.1	7.4	6.6	7.4	7.8	8.1	8.3	9.3	12/12 (100%)
		浦賀沖	7.7	7.7	7.0	6.5	6.6	6.4	7.4	7.4	6.2	7.6	7.9	8.4	12/12 (100%)
		観音崎北沖	7.5	7.6	6.9	5.9	7.0	6.2	6.9	7.5	6.8	8.5	8.3	8.5	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	水域区分 の達成率 100%

資料：水環境情報サイト環境省）より作成

注 1：表中の**太数字**は、環境基準に非適合であることを表す。

注 2：測定値には日間平均値の月最低値を用いている。

注 3：「/」は未測定を示す。

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	適合状況	
生物2 (3mg/L 以上)	川崎港・ 横浜港	鶴見川河口先	8.3	7.2	5.9	5.4	6.6	5.0	5.1	7.8	7.3	9.1	8.9	9.2	12/12 (100%)	
		横浜港内	8.1	6.9	3.5	4.0	3.2	4.2	5.0	7.0	7.7	8.6	8.8	8.7	12/12 (100%)	
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 100%	
	東京湾 奥部①	St-8	7.6	8.5	9.7	6.1	6.3	4.4	2.8	4.0	6.7	8.5	9.0	8.0	11/12 (92%)	
		東京湾 1	7.7	8.9	0.7	4.2	5.0	3.1	5.7	6.4	6.0	7.9	8.5	8.2	11/12 (92%)	
		東京湾 3	10.0	5.1	4.5	5.3	10.0	1.0	6.5	7.4	7.4	12.0	10.0	9.4	11/12 (92%)	
		東京湾 5	8.6	5.2	3.0	1.5	8.0	2.0	5.4	2.5	7.0	9.9	10.0	6.7	9/12 (75%)	
		東京湾 6	8.4	3.3	1.5	2.1	8.0	2.1	5.7	2.2	7.2	10.0	9.8	5.9	8/12 (67%)	
		東京湾 7	7.3	4.3	1.6	3.0	7.6	3.1	5.6	3.4	7.0	10.0	10.0	6.1	11/12 (92%)	
		水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	6/6 (100%)	3/6 (50%)	4/6 (67%)	6/6 (100%)	3/6 (50%)	5/6 (83%)	4/6 (67%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分 の達成率 0%
	東京湾 中部①	St-35	7.2	5.5	2.0	1.8	2.0	4.8	4.3	5.1	5.1	8.3	9.0	6.7	9/12 (75%)	
		東京湾 11	7.9	5.4	3.3	5.1	3.6	4.7	5.8	6.1	8.3	10.0	9.9	7.5	12/12 (100%)	
		東京湾 12	7.3	5.2	2.6	4.1	3.0	4.4	5.8	4.2	8.2	10.0	10.0	6.5	11/12 (92%)	
		東京湾 13	7.2	7.1	4.9	4.2	4.2	5.1	5.3	7.4	7.9	9.5	9.5	8.7	12/12 (100%)	
		東京湾 15	8.0	6.3	3.5	3.5	5.6	5.2	5.5	7.5	7.8	9.0	9.1	8.8	12/12 (100%)	
		浮島沖	6.7	6.3	2.2	2.1	1.0	2.6	4.2	4.4	4.7	8.1	8.0	6.9	8/12 (67%)	
	水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	6/6 (100%)	3/6 (50%)	4/6 (67%)	4/6 (67%)	5/6 (83%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分 の達成率 50%	
	生物3 (2mg/L 以上)	東京港	St-23	8.8	7.0	5.5	6.7	4.7	5.6	2.4	5.5	6.4	8.1	9.8	8.2	12/12 (100%)
			お台場	8.3	10.8	2.7	6.3	2.0	3.2	2.2	3.2	5.7	8.1	9.4	7.5	12/12 (100%)
			水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)
		千葉港	千葉 2	6.3	3.8	2.0	5.9	0.7	<0.5	4.7	1.8	6.6	9.3	10.0	4.0	9/12 (75%)
千葉 3			7.6	6.1	2.9	7.4	1.9	3.0	5.2	1.9	5.6	9.4	9.7	8.2	10/12 (83%)	
水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 0%	
木更津港		東京湾 16	8.1	6.8	3.4	4.0	5.9	3.1	5.6	7.6	8.0	9.6	9.2	8.5	12/12 (100%)	
水域区分内月別達成状況		1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	水域区分 の達成率 100%	
東京湾 奥部②		St-22	7.0	7.4	0.7	6.1	1.8	0.9	4.1	4.5	7.2	8.6	9.3	6.8	9/12 (75%)	
		東京湾 4	8.4	4.4	0.5	4.2	4.7	1.2	5.5	6.1	7.7	10.0	11.0	9.6	10/12 (83%)	
	東京湾 8	8.0	4.1	2.7	0.6	2.7	3.2	5.3	5.7	7.6	8.8	8.6	7.7	11/12 (92%)		
	東京湾 9	6.8	3.3	1.6	1.0	3.2	2.4	6.1	2.5	7.3	9.8	9.9	6.6	10/12 (83%)		
	東京湾 10	6.7	2.6	1.7	0.5	3.5	3.9	5.9	5.7	6.8	9.1	9.4	7.0	10/12 (83%)		
水域区分内月別達成状況		5/5 (100%)	5/5 (100%)	1/5 (20%)	2/5 (40%)	4/5 (80%)	3/5 (60%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	水域区分 の達成率 0%	
水域全体の月別達成状況			47/47 (100%)	47/47 (100%)	35/47 (74%)	37/47 (79%)	39/47 (83%)	38/47 (81%)	46/47 (98%)	43/47 (91%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	水域全体 の達成率 58%	

表 3.16 東京湾における底層溶存酸素量の環境基準の達成状況（令和元年度（2019 年度））

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別 適合状況
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生物1 (4mg/L 以上)	東京湾 央部②	東京湾 14	7.3	3.3	4.8	4.7	2.8	4.4	2.9	5.3	6.1	8.1	7.9	7.2	9/12 (75%)
		東京湾 17	6.7	4.2	3.0	4.0	2.8	4.2	6.1	5.2	6.8	8.3	8.8	7.7	10/12 (83%)
		東京湾 18	7.5	4.3	5.5	5.1	4.3	4.8	6.9	6.4	7.0	8.3	8.8	7.7	12/12 (100%)
		磯子沖	9.2	8.4	6.0	4.1	4.0	5.2	6.7	6.6	7.7	8.5	8.5	9.3	12/12 (100%)
		夏島沖	9.1	7.0	6.7	4.6	5.0	5.1	6.4	8.5	8.1	9.5	9.2	9.7	12/12 (100%)
		平潟湾内	8.7	8.6	9.7	5.0	6.9	7.4	6.6	8.2	7.1	8.8	9.3	9.6	12/12 (100%)
		東扇島沖	6.9	4.5	3.3	0.2	0.3	2.6	2.5	3.3	5.6	7.6	6.3	6.6	6/12 (50%)
		扇島沖	7.4	4.1	3.5	0.5	0.9	2.5	2.0	2.6	5.9	7.7	6.2	6.8	6/12 (50%)
		本牧沖	7.6	5.8	4.9	3.1	3.1	5.1	4.5	4.5	6.6	8.3	7.0	9.3	10/12 (83%)
		富岡沖	9.1	7.9	6.0	4.4	4.8	5.9	6.9	7.0	7.7	8.8	8.4	9.7	12/12 (100%)
		平潟湾沖	9.0	7.8	5.6	4.6	4.9	4.9	6.0	6.1	7.1	8.7	9.3	8.8	12/12 (100%)
		大津湾	8.9	7.4	6.7	5.6	5.8	6.1	6.5	6.2	7.7	9.0	7.6	8.8	12/12 (100%)
		中の瀬北	7.0	6.1	5.8	2.7	5.7	5.6	5.3	6.6	6.9	8.5	7.4	7.9	11/12 (92%)
		中の瀬南	7.4	6.9	6.3	5.0	6.3	5.9	6.2	6.5	7.2	8.3	7.9	8.1	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		14/14 (100%)	13/14 (93%)	11/14 (79%)	10/14 (71%)	9/14 (64%)	12/14 (86%)	11/14 (79%)	12/14 (86%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	水域区分 の達成率 57%
	東京湾 口部	東京湾 19	8.1	6.2	6.6	6.5	6.2	6.5	6.3	6.6	7.7	8.8	7.8	8.0	12/12 (100%)
		東京湾 20	9.2	5.9	6.4	6.3	7.9	6.1	6.3	7.0	7.6	8.9	8.3	8.1	12/12 (100%)
		東京湾 21		6.6		7.0		6.9		7.1		8.1		7.6	6/6 (100%)
		東京湾 22	8.9		7.4		8.0		6.9		7.4		7.1		6/6 (100%)
		東京湾 23		7.0		7.6		7.0		7.2		7.2		8.0	6/6 (100%)
		東京湾 24	8.2		7.1		7.4		7.1		7.5		7.6		6/6 (100%)
		東京湾 25		7.6		7.6		6.7		7.3		7.9		7.8	6/6 (100%)
		東京湾 27	7.9		7.5		7.8		7.2		7.5		7.7		6/6 (100%)
		浦賀港内	8.5	8.3	8.2	6.1	6.7	7.7	7.7	7.7	8.5	9.1	9.0	9.3	12/12 (100%)
		久里浜港内	8.8	8.4	8.6	5.9	7.0	7.8	7.5	8.2	8.1	9.3	8.8	9.1	12/12 (100%)
		浦賀沖	7.6	7.5	6.7	5.7	7.6	6.1	6.4	6.8	6.4	8.1	7.5	8.1	12/12 (100%)
		観音崎北沖	7.4	7.6	6.5	5.7	6.5	6.5	6.2	6.9	7.2	8.1	7.8	7.9	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	水域区分 の達成率 100%

資料：水環境情報サイト環境省）より作成

注１：表中の太数字は、環境基準に非適合であることを表す。

注２：測定値には日間平均値の月最低値を用いている。

注３：「/」は未測定を示す。

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別 適合状況
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生物2 (3mg/L 以上)	川崎港・ 横浜港	鶴見川河口先	9.0	10.0	6.1	3.0	4.4	6.4	8.4	5.3	6.7	8.3	8.7	9.6	12/12 (100%)
		横浜港内	8.2	6.0	4.6	3.2	3.4	3.9	6.6	4.1	6.0	7.9	8.2	8.2	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 100%
	東京湾 奥部①	St-8	8.2	8.7	2.5	4.8	4.4	6.5	6.0	2.3	6.5	7.7	8.9	9.4	10/12 (83%)
		東京湾 1	10.0	1.8	<0.5	0.5	<0.5	1.4	6.0	2.1	6.7	8.0	8.2	9.1	6/12 (50%)
		東京湾 3	12.0	3.9	<0.5	5.2	1.1	<0.5	<0.5	2.4	6.6	9.1	11.0	9.5	7/12 (58%)
		東京湾 5	9.0	11.0	1.1	2.5	1.0	1.1	1.9	5.6	4.5	8.7	8.9	7.6	7/12 (58%)
		東京湾 6	9.5	4.2	0.6	1.0	<0.5	0.8	0.8	4.3	4.8	8.7	9.0	9.2	7/12 (58%)
		東京湾 7	11.0	3.4	1.4	0.8	1.1	1.0	2.2	4.9	5.0	8.6	8.7	7.8	7/12 (58%)
	水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	5/6 (83%)	0/6 (0%)	2/6 (33%)	1/6 (17%)	1/6 (17%)	2/6 (33%)	3/6 (50%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分 の達成率 0%
	東京湾 央部①	St-35	6.5	4.1	2.4	<0.5	<0.5	1.3	2.3	3.4	4.5	7.4	7.1	6.8	7/12 (58%)
		東京湾 11	5.6	4.5	1.4	4.4	1.0	5.0	2.4	4.4	5.9	7.4	8.8	7.2	9/12 (75%)
		東京湾 12	4.4	3.0	1.9	3.8	<0.5	5.3	1.3	4.1	5.6	6.7	8.9	6.8	9/12 (75%)
		東京湾 13	7.2	3.9	3.9	4.7	1.9	4.7	3.6	3.8	5.9	7.8	7.6	6.9	11/12 (92%)
		東京湾 15	6.9	4.3	3.6	4.2	1.9	5.0	5.9	5.0	6.2	8.2	8.5	7.4	11/12 (92%)
		浮島沖	6.6	4.4	2.1	<0.1	0.3	1.7	2.0	3.0	5.0	7.5	6.2	6.4	7/12 (58%)
	水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	6/6 (100%)	2/6 (33%)	4/6 (67%)	0/6 (0%)	4/6 (67%)	2/6 (33%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分 の達成率 0%
生物3 (2mg/L 以上)	東京港	St-23	9.0	8.7	4.3	1.9	1.9	2.2	4.1	1.7	4.7	7.2	7.3	9.1	9/12 (75%)
		お台場	6.9	11.3	4.0	1.9	4.4	5.7	3.8	1.8	4.5	6.9	7.6	7.7	10/12 (83%)
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 0%
	千葉港	千葉 2	5.7	1.6	2.2	<0.5	3.4	<0.5	0.5	3.8	5.7	8.5	7.1	4.4	8/12 (67%)
		千葉 3	7.2	2.9	0.9	1.3	2.5	<0.5	0.5	2.7	7.1	7.7	4.7	6.0	8/12 (67%)
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	1/2 (50%)	1/2 (50%)	0/2 (0%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 0%
	木更津港	東京湾 16	6.9	4.1	3.1	2.9	1.4	4.0	5.9	5.2	5.9	7.7	8.7	7.3	11/12 (92%)
	水域区分内月別達成状況		1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	0/1 (0%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	水域区分 の達成率 0%
	東京湾 奥部②	St-22	7.5	3.2	1.0	2.0	4.7	4.2	2.1	2.0	5.9	7.8	7.2	6.7	11/12 (92%)
		東京湾 4	6.1	4.4	<0.5	<0.5	0.5	0.7	<0.5	1.5	6.7	8.2	7.1	9.6	6/12 (50%)
		東京湾 8	7.6	2.0	3.2	3.9	0.5	1.9	1.6	3.5	6.2	7.1	6.9	8.1	9/12 (75%)
		東京湾 9	4.2	1.8	2.9	2.1	1.7	1.7	1.4	3.3	5.9	8.7	8.8	6.7	8/12 (67%)
		東京湾 10	6.2	3.6	3.3	4.9	0.6	1.9	1.8	4.3	6.0	7.4	6.6	7.1	9/12 (75%)
	水域区分内月別達成状況		5/5 (100%)	4/5 (80%)	3/5 (60%)	4/5 (80%)	1/5 (20%)	1/5 (20%)	1/5 (20%)	4/5 (80%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	水域区分 の達成率 0%
水域全体の月別達成状況			47/47 (100%)	43/47 (91%)	31/47 (66%)	32/47 (68%)	25/47 (53%)	32/47 (68%)	30/47 (64%)	39/47 (83%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	水域全体 の達成率 44%

表 3.17 東京湾における底層溶存酸素量の環境基準の達成状況（令和２年度（2020 年度））

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別 適合状況
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生物1 (4mg/L 以上)	東京湾 中部②	東京湾 14	6.0	4.2	4.9	4.7	4.4	3.3	4.6	5.5	6.8	7.9	8.3	7.9	11/12 (92%)
		東京湾 17	7.7	4.7	3.9	6.1	4.1	4.8	4.6	6.5	7.0	7.6	9.1	8.3	11/12 (92%)
		東京湾 18	7.0	6.2	6.8	6.1	8.5	6.7	6.4	7.8	7.3	8.1	9.2	8.4	12/12 (100%)
		磯子沖	8.5	8.0	5.6	5.4	4.2	4.9	6.4	8.6	7.5	8.4	9.2	10.0	12/12 (100%)
		夏島沖	7.5	6.1	6.5	6.1	5.2	6.1	9.0	8.7	7.5	8.3	9.0	9.3	12/12 (100%)
		平潟湾内	9.5	8.8	8.9	9.3	5.7	6.4	4.5	7.7	7.3	8.1	9.8	11.0	12/12 (100%)
		東扇島沖	5.9	3.6	2.3	0.8	2.8	1.3	2.7	5.3	6.4	7.3	7.7	7.4	6/12 (50%)
		扇島沖	5.6	4.2	1.9	3.7	2.8	1.3	2.5	5.4	6.5	7.5	8.0	8.1	7/12 (58%)
		本牧沖	6.9	6.1	3.9	4.2	3.7	1.7	5.5	5.8	6.8	7.8	8.7	8.1	9/12 (75%)
		富岡沖	8.1	6.7	8.0	7.6	4.4	5.9	6.9	8.3	7.3	8.4	9.2	9.9	12/12 (100%)
		平潟湾沖	8.1	6.5	7.6	5.9	4.9	6.0	6.1	9.0	7.6	8.4	9.1	9.4	12/12 (100%)
		大津湾	7.9	6.4	5.0	5.7	5.5	4.8	6.9	7.1	7.1	8.2	8.6	8.7	12/12 (100%)
		中の瀬北	7.2	6.2	4.5	6.3	4.9	2.7	6.7	7.2	7.5	8.3	8.8	8.8	11/12 (92%)
		中の瀬南	7.6	6.5	5.2	6.4	5.8	4.7	7.1	7.2	7.2	8.4	9.3	8.8	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		14/14 (100%)	13/14 (93%)	10/14 (71%)	12/14 (86%)	11/14 (79%)	9/14 (64%)	12/14 (86%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	水域区分 の達成率 57%
	東京湾 口部	東京湾 19	7.9	6.9	6.6	6.1	6.6	6.4	6.7	7.5	7.9	8.1	8.2	8.1	12/12 (100%)
		東京湾 20	7.4	6.8	7.4	6.5	6.0	6.5	6.5	7.5	7.5	8.1	8.1	8.9	12/12 (100%)
		東京湾 21	/	7.2	/	7.2	/	7.2	/	7.6	/	7.7	/	7.7	6/6 (100%)
		東京湾 22	7.1	/	7.9	/	7.9	/	7.2	/	7.4	/	8.1	/	6/6 (100%)
		東京湾 23	/	7.6	/	7.5	/	7.0	/	7.6	/	7.7	/	7.9	6/6 (100%)
		東京湾 24	6.5	/	7.4	/	7.5	/	7.2	/	7.3	/	7.9	/	6/6 (100%)
		東京湾 25	/	7.5	/	7.1	/	7.1	/	7.9	/	7.9	/	8.1	6/6 (100%)
		東京湾 27	7.8	/	8.3	/	7.8	/	7.2	/	7.5	/	7.8	/	6/6 (100%)
		浦賀港内	7.9	7.1	7.5	6.1	7.7	6.9	8.2	8.5	7.2	8.0	8.1	8.6	12/12 (100%)
		久里浜港内	8.7	7.6	7.3	5.9	7.8	6.3	8.1	8.5	7.2	7.9	8.1	8.7	12/12 (100%)
		浦賀沖	7.8	6.7	6.2	6.2	6.4	5.5	7.3	7.3	6.9	7.7	8.0	8.7	12/12 (100%)
		観音崎北沖	8.1	6.4	5.9	6.2	5.6	4.7	6.4	7.0	7.1	8.3	8.0	8.4	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	水域区分 の達成率 100%

資料：水環境情報サイト環境省）より作成
注１：表中の**太数字**は、環境基準に非適合であることを表す。
注２：測定値には日間平均値の月最低値を用いている。
注３：「/」は未測定を示す。

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	適合状況
生物2 (3mg/L 以上)	川崎港・ 横浜港	鶴見川河口先	8.7	7.8	5.0	5.6	3.4	4.2	5.9	8.0	7.2	8.6	9.0	9.4	12/12 (100%)
		横浜港内	8.0	7.7	4.3	3.0	2.6	2.8	4.6	6.7	6.5	7.7	8.7	9.0	10/12 (83%)
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	1/2 (50%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 50%
	東京湾 奥部①	St-8	8.8	6.8	2.2	7.1	4.3	6.8	9.7	4.8	6.4	8.1	10.0	11.0	11/12 (92%)
		東京湾 1	9.2	8.0	4.2	2.3	1.8	4.4	1.9	6.0	7.1	8.2	8.6	9.2	9/12 (75%)
		東京湾 3	10.0	3.8	1.8	3.5	8.5	<0.5	9.7	6.8	7.9	9.6	11.0	10.0	10/12 (83%)
		東京湾 5	9.5	4.3	2.8	4.7	7.7	<0.5	8.4	5.4	6.5	8.6	11.0	8.8	10/12 (83%)
		東京湾 6	7.6	2.7	2.6	4.2	2.5	0.7	5.3	5.5	7.4	8.7	11.0	9.4	8/12 (67%)
		東京湾 7	9.3	3.9	2.6	4.1	2.0	2.2	5.9	4.9	5.0	8.4	9.6	9.3	9/12 (75%)
		水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	5/6 (83%)	1/6 (17%)	5/6 (83%)	3/6 (50%)	2/6 (33%)	5/6 (83%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)
	東京湾 中部①	St-35	6.4	4.9	2.7	3.3	2.1	0.5	2.6	5.2	5.9	7.3	7.3	7.7	8/12 (67%)
		東京湾 11	6.4	3.3	3.9	6.5	2.1	3.6	3.7	4.0	6.5	8.6	7.0	8.7	11/12 (92%)
		東京湾 12	6.2	2.7	2.5	6.1	0.8	2.7	3.5	3.9	5.9	8.8	9.2	8.5	8/12 (67%)
		東京湾 13	5.9	4.4	4.2	6.7	2.8	3.2	4.4	5.8	6.7	7.6	8.6	7.4	11/12 (92%)
		東京湾 15	6.2	3.1	2.8	5.2	4.1	4.1	4.9	6.5	7.2	8.0	9.3	7.9	11/12 (92%)
		浮島沖	5.8	3.5	2.0	1.9	2.2	1.3	2.7	5.4	6.1	7.5	8.0	7.3	7/12 (58%)
	水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	5/6 (83%)	2/6 (33%)	5/6 (83%)	1/6 (17%)	3/6 (50%)	4/6 (67%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分 の達成率 0%
生物3 (2mg/L 以上)	東京港	St-23	8.6	5.0	5.8	3.5	2.2	4.1	6.1	4.4	6.4	7.4	8.6	8.9	12/12 (100%)
		お台場	6.6	5.4	7.0	2.3	4.7	2.3	2.9	4.5	4.9	7.5	8.7	8.3	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 100%
	千葉港	千葉 2	4.2	6.6	0.6	4.2	5.1	<0.5	3.3	2.2	3.0	8.5	8.8	7.3	10/12 (83%)
		千葉 3	5.1	6.2	1.1	3.0	2.6	<0.5	3.8	2.6	3.5	8.1	9.2	7.2	10/12 (83%)
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 0%
	木更津港	東京湾 16	7.7	3.4	3.3	5.9	3.4	3.8	4.5	5.7	7.4	8.0	8.8	8.3	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	水域区分 の達成率 100%
	東京湾 奥部②	St-22	7.6	4.3	0.6	1.3	0.8	2.3	2.2	5.3	6.0	8.0	9.6	7.4	9/12 (75%)
		東京湾 4	6.4	2.7	1.5	4.3	1.8	1.2	3.4	6.5	5.2	9.4	10.0	9.7	9/12 (75%)
		東京湾 8	7.5	3.8	2.1	1.7	1.2	1.0	1.5	4.4	6.7	8.2	8.8	8.3	8/12 (67%)
		東京湾 9	7.6	3.3	1.9	1.5	0.7	1.3	2.3	3.5	5.7	9.0	11.0	9.3	8/12 (67%)
		東京湾 10	8.9	3.9	2.0	0.6	1.1	0.7	1.6	4.2	6.7	8.7	9.8	9.2	8/12 (67%)
	水域区分内月別達成状況		5/5 (100%)	5/5 (100%)	2/5 (40%)	1/5 (20%)	0/5 (0%)	1/5 (20%)	3/5 (60%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	水域区分 の達成率 0%
水域全体の月別達成状況			47/47 (100%)	44/47 (94%)	29/47 (62%)	39/47 (83%)	30/47 (64%)	28/47 (60%)	40/47 (85%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	水域全体 の達成率 48%

表 3.18 東京湾における底層溶存酸素量の環境基準の達成状況（令和3年度（2021年度））

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値(mg/L)												地点別 適合状況
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生物1 (4mg/L 以上)	東京湾 央部②	東京湾 14	7.6	5.5	4.4	1.9	1.5	4.9	4.3	5.5	6.7	7.5	9.4	8.7	10/12 (83%)
		東京湾 17	7.3	6.8	4.4	2.7	1.7	4.7	4.0	5.3	6.4	8.1	9.1	9.8	10/12 (83%)
		東京湾 18	8.3	6.5	6.5	3.9	4.9	5.5	4.9	6.4	8.0	8.5	9.5	10.0	11/12 (92%)
		磯子沖	8.5	9.5	10.6	2.6	6.1	9.9	6.9	7.3	8.3	9.0	9.2	10.0	11/12 (92%)
		夏島沖	7.6	8.9	7.2	3.9	5.1	4.8	4.9	7.8	7.6	8.8	9.4	10.1	11/12 (92%)
		平潟湾内	10.1	8.5	14.4	7.0	5.2	15.6	6.2	7.2	8.2	11.5	10.6	10.7	12/12 (100%)
		東扇島沖	6.8	4.8	5.6	0.5	0.1	1.5	2.4	5.2	4.6	8.2	8.6	7.7	8/12 (67%)
		扇島沖	6.7	5.2	5.7	0.2	0.6	0.8	1.9	5.4	4.5	8.3	8.2	7.8	8/12 (67%)
		本牧沖	7.1	7.9	6.7	1.6	5.8	4.8	3.5	6.1	7.7	8.4	9.0	10.0	10/12 (83%)
		富岡沖	9.1	9.3	9.1	3.7	5.7	11.0	6.5	7.4	8.4	8.9	9.1	9.4	11/12 (92%)
		平潟湾沖	9.3	8.6	7.0	3.7	7.9	9.1	7.8	7.3	8.5	9.2	8.8	9.5	11/12 (92%)
		大津湾	6.6	6.9	6.0	5.2	4.2	4.6	6.9	7.4	6.7	8.6	8.2	9.1	12/12 (100%)
		中の瀬北	9.2	6.9	6.5	4.7	4.1	4.9	5.4	6.7	6.8	8.3	9.0	9.8	12/12 (100%)
		中の瀬南	7.4	7.1	6.8	4.5	6.0	5.2	5.1	7.3	7.5	7.6	9.0	10.3	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	4/14 (29%)	10/14 (71%)	12/14 (86%)	11/14 (79%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	水域区分 の達成率 29%
	東京湾 口部	東京湾 19	7.1	6.4	7.0	5.0	7.1	6.5	6.6	7.5	7.3	7.5	8.1	9.0	12/12 (100%)
		東京湾 20	7.4	6.6	6.9	5.6	6.8	5.9	6.6	8.0	8.1	8.4	8.1	8.8	12/12 (100%)
		東京湾 21	/	8.0	/	7.1	/	7.0	/	7.4	/	7.2	/	7.6	6/6 (100%)
		東京湾 22	7.9	/	7.9	/	7.7	/	6.6	/	7.9	/	7.8	/	6/6 (100%)
		東京湾 23	/	7.3	/	6.9	/	7.1	/	7.3	/	8.6	/	7.5	6/6 (100%)
		東京湾 24	8.4	/	7.7	/	7.9	/	6.8	/	7.5	/	7.6	/	6/6 (100%)
		東京湾 25	/	7.8	/	7.6	/	7.2	/	7.3	/	7.5	/	8.1	6/6 (100%)
		東京湾 27	8.2	/	7.6	/	7.6	/	6.4	/	7.3	/	7.5	/	6/6 (100%)
		浦賀港内	8.0	8.3	9.0	5.3	6.3	5.6	5.8	7.2	7.8	8.3	7.7	8.5	12/12 (100%)
		久里浜港内	7.9	8.2	8.5	6.1	6.3	6.3	6.5	7.4	7.4	8.2	7.5	8.7	12/12 (100%)
		浦賀沖	7.5	6.9	6.7	6.7	4.7	6.2	6.2	7.5	7.4	7.7	7.9	8.8	12/12 (100%)
		観音崎北沖	7.3	7.0	7.0	6.1	6.7	5.9	5.7	7.1	7.2	7.8	8.4	9.1	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	水域区分 の達成率 100%

資料：水環境情報サイト環境省）より作成

注1：表中の**太数字**は、環境基準に非適合であることを表す。

注2：測定値には日間平均値の月最低値を用いている。

注3：「/」は未測定を示す。

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別 適合状況	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
生物2 (3mg/L 以上)	川崎港・ 横浜港	鶴見川河口先	8.2	9.6	9.0	4.2	5.7	9.2	7.3	6.9	7.4	9.0	9.4	10.6	12/12 (100%)	
		横浜港内	8.2	9.1	8.6	1.4	3.2	8.2	3.8	6.2	6.9	8.4	8.2	9.7	11/12 (92%)	
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 50%	
	東京湾 奥部①	St- 8	7.7	10.2	8.3	3.3	3.8	5.8	6.9	4.1	6.5	7.0	8.8	9.9	12/12 (100%)	
		東京湾 1	2.4	5.9	3.3	1.2	2.6	3.9	1.8	5.4	5.4	9.2	7.9	10.0	8/12 (67%)	
		東京湾 3	8.5	5.6	2.6	3.8	2.2	1.3	8.5	6.3	7.8	11.0	9.5	12.0	9/12 (75%)	
		東京湾 5	7.6	6.9	1.6	3.5	0.9	1.1	7.6	5.7	4.0	9.1	9.0	10.0	9/12 (75%)	
		東京湾 6	3.4	6.1	3.0	2.3	0.6	1.2	5.1	6.7	4.3	8.8	10.0	11.0	9/12 (75%)	
		東京湾 7	5.6	5.8	1.0	3.1	1.0	2.3	2.8	5.5	4.6	8.7	9.3	10.0	8/12 (67%)	
	水域区分内月別達成状況		5/6 (83%)	6/6 (100%)	3/6 (50%)	4/6 (67%)	1/6 (17%)	2/6 (33%)	4/6 (67%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分 の達成率 17%
	東京湾 央部①	St-35	6.7	5.8	5.4	0.6	3.8	0.6	3.3	4.7	6.1	6.6	8.1	9.0	10/12 (83%)	
		東京湾 11	8.9	5.8	4.1	1.0	2.3	1.9	2.3	6.0	6.3	9.0	11.0	10.0	8/12 (67%)	
		東京湾 12	7.5	5.5	2.8	0.7	2.0	1.9	1.7	6.2	5.1	8.7	10.0	10.0	7/12 (58%)	
		東京湾 13	7.5	5.0	4.3	1.4	0.8	2.7	2.6	4.6	7.0	7.8	10.0	11.0	8/12 (67%)	
		東京湾 15	7.6	6.6	4.5	2.5	1.7	5.5	4.7	5.0	8.0	7.3	9.4	10.0	10/12 (83%)	
		浮島沖	6.5	4.5	5.4	0.4	<0.1	0.8	1.5	4.6	4.4	8.0	7.9	7.7	8/12 (67%)	
	水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	6/6 (100%)	5/6 (83%)	0/6 (0%)	1/6 (17%)	1/6 (17%)	2/6 (33%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分 の達成率 0%
生物3 (2mg/L 以上)	東京港	St- 23	7.5	5.9	6.0	0.6	2.6	6.3	2.9	5.5	6.3	7.9	8.7	10.1	11/12 (92%)	
		お台場	6.2	6.6	6.7	0.8	0.9	3.6	2.6	3.4	5.5	7.0	7.9	9.5	10/12 (83%)	
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 0%
	千葉港	千葉 2	3.2	4.2	1.9	<0.5	1.2	<0.5	2.3	2.2	5.2	8.1	7.4	9.0	8/12 (67%)	
		千葉 3	3.6	4.1	1.8	<0.5	2.3	1.3	3.7	2.2	5.1	8.8	7.5	9.2	9/12 (75%)	
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	1/2 (50%)	0/2 (0%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 0%
	木更津港	東京湾 16	7.4	5.1	3.2	2.0	1.4	2.1	7.4	5.8	6.6	8.3	9.2	9.2	11/12 (92%)	
	水域区分内月別達成状況		1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	0/1 (0%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	水域区分 の達成率 0%
	東京湾 奥部②	St- 22	5.1	5.6	5.6	0.5	2.5	1.1	0.9	4.7	4.2	8.4	8.5	9.9	9/12 (75%)	
		東京湾 4	2.8	6.5	7.0	0.5	<0.5	<0.5	1.3	6.0	5.7	8.1	9.5	10.0	8/12 (67%)	
		東京湾 8	4.8	6.1	1.2	0.5	<0.5	2.4	2.1	6.0	4.5	8.3	8.4	9.4	9/12 (75%)	
		東京湾 9	4.3	7.2	1.2	0.6	<0.5	2.2	3.9	6.4	4.8	9.0	11.0	10.0	9/12 (75%)	
		東京湾 10	5.0	6.3	2.1	0.9	<0.5	1.0	1.8	6.4	4.6	8.3	8.9	8.6	8/12 (67%)	
	水域区分内月別達成状況		5/5 (100%)	5/5 (100%)	3/5 (60%)	0/5 (0%)	1/5 (20%)	2/5 (40%)	2/5 (40%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	水域区分 の達成率 0%
水域全体の月別達成状況			46/47 (98%)	47/47 (100%)	39/47 (83%)	19/47 (40%)	26/47 (55%)	31/47 (66%)	35/47 (74%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	水域全体 の達成率 36%	

表 3.19 東京湾における底層溶存酸素量の環境基準の達成状況（令和４年度（2022 年度））

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別 適合状況
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生物1 (4mg/L 以上)	東京湾 中部②	東京湾 14	5.5	4.9	3.6	4.0	4.0				6.3	7.9	8.9	8.4	8/9 (89%)
		東京湾 17	8.3	4.3	3.4	4.1	1.6				7.4	8.4	8.6	9.1	7/9 (78%)
		東京湾 18	9.2	6.1	5.5	7.8	4.1				7.5	8.5	9.0	9.2	9/9 (100%)
		磯子沖	8.0	8.9	6.2	5.8	5.3	4.8	6.5	6.3	7.5	8.9	9.0	9.6	12/12 (100%)
		夏島沖	6.5	7.7	6.3	5.9	4.2	5.6	7.3	7.6	7.6	10.0	9.7	10.0	12/12 (100%)
		平潟湾内	12.0	13.0	9.3	8.0	9.9	8.7	4.8	7.7	6.9	12.0	11.0	11.0	12/12 (100%)
		東扇島沖	5.0	5.9	2.0	3.2	1.3	0.4	2.2	4.1	5.8	7.2	8.9	8.4	7/12 (58%)
		扇島沖	4.9	5.8	2.8	5.4	0.5	2.2	1.6	5.6	5.8	8.6	8.4	8.6	8/12 (67%)
		本牧沖	6.3	6.6	4.2	3.6	2.6	3.9	6.6	7.5	7.1	8.9	9.1	9.5	9/12 (75%)
		富岡沖	7.1	11.0	7.7	7.7	4.7	5.7	7.2	8.2	7.9	9.3	9.2	9.3	12/12 (100%)
		平潟湾沖	7.1	9.8	6.9	6.5	4.3	5.7	6.9	8.2	7.6	9.1	9.2	8.7	12/12 (100%)
		大津湾	6.5	6.8	5.4	6.7	5.1	5.6	6.4	7.0	7.1	10.0	9.1	8.4	12/12 (100%)
		中の瀬北	6.2	6.7	6.1	3.8	4.9	4.3	6.6	7.1	6.6	8.6	8.7	10.0	11/12 (92%)
		中の瀬南	7.2	6.7	6.0	4.3	5.4	5.7	7.0	7.3	6.6	8.9	8.8	9.5	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		14/14 (100%)	14/14 (100%)	10/14 (71%)	11/14 (79%)	10/14 (71%)	8/11 (73%)	9/11 (82%)	11/11 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	水域区分 の達成率 57%
	東京湾 南部	東京湾 19	7.1	6.8	6.2	6.7	6.6				7.5	8.1	8.5	8.5	9/9 (100%)
		東京湾 20	9.0	5.9	5.7	7.0	6.3				7.8	8.3	8.4	10.0	9/9 (100%)
		東京湾 21		8.7		6.8				7.2		7.7		8.5	5/5 (100%)
		東京湾 22	7.3		7.5		7.0				7.4		7.8		5/5 (100%)
		東京湾 23		8.9		7.2				7.1		7.5		7.8	5/5 (100%)
		東京湾 24	7.9		7.6		7.0				7.3		7.7		5/5 (100%)
		東京湾 25		9.5		6.8				7.0		7.7		8.1	5/5 (100%)
		東京湾 27	9.2		7.7		7.3				7.1		7.7		5/5 (100%)
		浦賀港内	9.1	8.4	6.8	7.0	6.9	6.4	6.8	7.7	7.4	9.2	9.0	8.8	12/12 (100%)
		久里浜港内	8.8	8.5	6.4	6.8	7.8	5.9	6.6	7.4	7.3	9.3	10.0	9.2	12/12 (100%)
		浦賀沖	7.1	7.0	7.0	5.7	6.2	5.4	7.2	7.5	6.7	7.4	8.2	8.7	12/12 (100%)
		観音崎北沖	7.7	6.9	6.6	4.1	6.2	5.6	7.0	7.3	6.4	8.2	8.7	9.0	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	4/4 (100%)	4/4 (100%)	7/7 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	水域区分 の達成率 100%

資料：水環境情報サイト環境省）より作成

注１：表中の太数字は、環境基準に非適合であることを表す。

注２：測定値には日間平均値の月最低値を用いている。

注３：「/」は未測定を示す。

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別 適合状況	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
生物2 (3mg/L 以上)	川崎港・ 横浜港	鶴見川河口先	9.0	8.0	7.5	5.9	8.0	3.8	5.6	8.9	7.7	9.2	9.4	9.8	12/12 (100%)	
		横浜港内	7.2	8.2	5.5	3.8	4.3	3.1	3.5	7.2	6.5	8.3	7.8	9.4	12/12 (100%)	
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 100%	
	東京湾 奥部①	St-8	9.1	8.2	2.4	4.1	5.6	8.2	4.5	6.9	6.4	8.1	9.7	9.8	11/12 (92%)	
		東京湾 1	9.1	8.4	0.5	1.2	1.8			6.0	7.5	8.5	11.0	11.0	7/10 (70%)	
		東京湾 3	10.0	3.3	<0.5	7.1	5.9			6.9	7.4	9.1	10.0	10.0	9/10 (90%)	
		東京湾 5	9.2	2.7	1.2	6.2	1.1			4.7	6.2	8.6	11.0	10.0	7/10 (70%)	
		東京湾 6	7.1	3.4	1.3	1.3	<0.5			4.1	6.4	9.2	11.0	9.6	7/10 (70%)	
		東京湾 7	9.0	3.9	1.4	3.4	3.7			6.0	5.8	8.6	11.0	9.0	9/10 (90%)	
	水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	5/6 (83%)	0/6 (0%)	4/6 (67%)	3/6 (50%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分 の達成率 0%	
	東京湾 中部①	St-35	4.5	5.8	2.4	2.1	0.6	3.4	3.0	5.3	5.8	6.9	8.5	8.0	9/12 (75%)	
		東京湾 11	4.1	4.1	2.5	1.9	1.1			6.3	7.3	8.2	10.0	8.4	7/10 (70%)	
		東京湾 12	4.4	3.8	2.5	0.8	<0.5			6.2	7.3	8.1	10.0	8.7	7/10 (70%)	
		東京湾 13	9.5	4.7	3.0	3.3	2.5			6.1	7.0	8.1	8.6	8.9	9/10 (90%)	
		東京湾 15	7.1	4.8	3.7	3.1	1.7				6.8	8.5	9.0	8.7	8/9 (89%)	
		浮島沖	4.4	5.5	1.5	2.1	0.2	0.3	1.8	3.9	5.7	7.5	8.6	8.6	7/12 (58%)	
	水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	6/6 (100%)	2/6 (33%)	2/6 (33%)	0/6 (0%)	1/2 (50%)	1/2 (50%)	5/5 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分 の達成率 0%	
	生物3 (2mg/L 以上)	東京港	St-23	7.0	3.4	3.8	4.8	2.0	1.4	3.2	5.6	6.6	7.3	8.2	9.6	6/12 (50%)
			お台場	6.7	4.1	3.3	3.1	3.1	1.4	3.1	4.8	5.2	7.2	8.8	8.9	7/12 (58%)
		水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	1/2 (50%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 0%
		千葉港	千葉 2	4.5	1.6	<0.5	<0.5	0.5	0.9	1.2	3.1	5.3	5.9	9.6	7.7	8/9 (89%)
千葉 3			5.7	3.2	<0.5	<0.5	<0.5	0.7	1.6	3.6	4.2	7.5	9.7	7.8	9/12 (75%)	
水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	1/2 (50%)	1/2 (50%)	1/2 (50%)	0/1 (0%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 0%		
木更津港		東京湾 16	7.2	4.1	2.9	3.3	1.1				7.5	8.6	8.4	8.7	7/10 (70%)	
水域区分内月別達成状況		1/1 (100%)	1/1 (100%)	0/1 (0%)	0/1 (0%)	0/1 (0%)	－	－	－	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	水域区分 の達成率 0%		
東京湾 奥部②		St-22	7.4	4.4	0.6	1.4	2.3	1.2	5.1	5.3	6.3	8.1	9.1	8.9	7/10 (70%)	
		東京湾 4	6.9	2.3	0.6	<0.5	<0.5			5.3	7.7	7.7	10.0	9.2	7/10 (70%)	
		東京湾 8	4.0	4.6	1.7	<0.5	<0.5			6.3	6.0	8.7	8.9	9.3	8/10 (80%)	
		東京湾 9	5.5	4.3	1.2	<0.5	1.2			5.8	7.4	8.0	10.0	8.2	11/12 (92%)	
		東京湾 10	4.2	4.6	2.2	0.5	<0.5			5.8	6.1	8.9	9.2	8.8	12/12 (100%)	
水域区分内月別達成状況		5/5 (100%)	5/5 (100%)	3/5 (60%)	2/5 (40%)	1/5 (20%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	水域区分 の達成率 20%		
水域全体の月別達成状況			47/47 (100%)	45/47 (96%)	27/47 (57%)	31/47 (66%)	26/47 (55%)	18/25 (72%)	20/25 (80%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	47/47 (100%)	水域全体 の達成率 44%	

表 3.20 東京湾における底層溶存酸素量の環境基準の達成状況（令和5年度（2023年度））

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別 適合状況
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生物1 (4mg/L 以上)	東京湾 央部②	東京湾 14	5.5	5.4	3.6	1.8	2.4	3.2	4.0	5.4	6.2	7.3	7.8	7.8	8/12 (67%)
		東京湾 17	6.0	5.0	4.0	3.8	5.1	2.6	4.6	5.8	6.2	8.5	8.2	8.5	10/12 (83%)
		東京湾 18	7.3	6.1	4.2	4.4	5.5	3.7	6.0	5.6	6.8	8.4	8.2	8.8	11/12 (92%)
		磯子沖	9.5	7.3	5.8	7.4	8.3	5.3	7.2	8.0	7.4	8.9	8.7	8.5	12/12 (100%)
		夏島沖	10.0	7.2	6.1	4.7	5.9	5.3	5.6	6.5	7.5	9.5	9.5	10.0	12/12 (100%)
		平潟湾内	11.0	8.0	6.4	11.0	8.0	4.0	5.2	8.7	7.7	9.2	9.5	8.9	12/12 (100%)
		東扇島沖	6.3	6.0	3.5	3.2	0.9	2.4	2.3	4.2	5.9	7.0	8.5	6.9	7/12 (58%)
		扇島沖	6.5	6.3	3.3	3.8	2.3	1.7	2.1	3.4	6.1	7.0	8.4	8.5	6/12 (50%)
		本牧沖	7.1	6.8	5.7	4.8	2.7	3.3	4.3	5.7	6.6	8.1	8.3	7.9	10/12 (83%)
		富岡沖	8.6	7.7	6.9	6.8	4.5	5.3	6.8	7.7	7.9	9.2	9.0	8.6	12/12 (100%)
		平潟湾沖	8.4	7.1	5.3	4.5	4.9	5.5	5.2	6.6	8.0	9.0	9.0	8.7	12/12 (100%)
		大津湾	7.9	6.8	6.1	5.3	5.0	6.2	6.1	6.8	7.2	8.5	8.8	9.1	12/12 (100%)
		中の瀬北	7.2	7.6	5.1	5.1	5.3	4.7	5.3	6.3	7.0	8.3	9.1	8.0	12/12 (100%)
		中の瀬南	7.4	7.0	5.4	5.2	6.1	5.7	6.2	7.0	7.3	8.3	8.7	8.1	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		14/14 (100%)	14/14 (100%)	11/14 (79%)	10/14 (71%)	10/14 (71%)	8/14 (57%)	12/14 (86%)	13/14 (93%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	14/14 (100%)	水域区分 の達成率 57%
	東京湾 口部	東京湾 19	6.8	6.9	6.0	5.9	5.5	6.3	6.2	6.7	7.1	7.3	7.8	7.6	12/12 (100%)
		東京湾 20	7.0	7.1	6.1	5.4	6.3	6.5	6.2	6.9	7.4	8.4	7.9	8.1	12/12 (100%)
		東京湾 21	/	7.1	/	6.7	/	6.6	/	7.0	/	7.9	/	7.6	6/6 (100%)
		東京湾 22	7.6	/	6.4	/	7.0	/	6.6	/	7.3	/	7.6	/	6/6 (100%)
		東京湾 23	/	7.1	/	6.7	/	6.5	/	6.6	/	6.9	/	7.6	6/6 (100%)
		東京湾 24	7.3	/	6.9	/	6.9	/	6.5	/	7.2	/	7.5	/	6/6 (100%)
		東京湾 25	/	7.0	/	7.0	/	6.7	/	6.7	/	7.3	/	7.6	6/6 (100%)
		東京湾 27	7.4	/	7.1	/	6.8	/	6.6	/	7.2	/	7.5	/	6/6 (100%)
		浦賀湾内	8.8	8.2	7.6	7.3	6.7	6.2	7.9	7.2	7.8	9.8	8.7	9.6	12/12 (100%)
		久里浜港内	9.0	8.5	7.0	7.8	6.5	6.2	7.0	7.4	8.0	8.7	8.9	9.4	12/12 (100%)
		浦賀沖	7.4	7.7	6.7	6.6	6.5	5.7	6.4	7.1	7.3	6.6	7.9	7.4	12/12 (100%)
		観音崎北沖	7.2	7.2	6.5	5.3	6.4	6.1	6.7	7.4	7.9	7.9	8.0	7.6	12/12 (100%)
	水域区分内月別達成状況		9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	9/9 (100%)	水域区分 の達成率 100%

資料：水環境情報サイト環境省）より作成

注1：表中の太数字は、環境基準に非適合であることを表す。

注2：測定値には日間平均値の月最低値を用いている。

注3：「/」は未測定を示す。

類型	水域	測定地点	日間平均値の月間最低値 (mg/L)												地点別 適合状況	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
生物2 (3mg/L 以上)	川崎港・ 横浜港	鶴見川河口先	10.0	7.5	5.4	7.7	6.5	4.1	7.9	9.6	6.6	9.3	8.7	9.0	12/12 (100%)	
		横浜港内	8.0	6.9	4.9	3.1	4.3	3.4	4.9	5.5	6.2	8.6	8.1	8.3	12/12 (100%)	
	水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 100%	
	東京湾 奥部①	St-8	9.1	5.9	3.5	2.1	4.0	1.4	3.2	4.8	6.4	6.9	7.9	8.7	10/12 (83%)	
		東京湾 1	5.3	5.9	4.7	2.9	3.8	5.4	4.5	7.8	6.7	9.0	7.9	8.0	11/12 (92%)	
		東京湾 3	2.8	8.3	6.3	2.2	7.0	0.5	5.2	7.8	7.6	8.5	9.3	8.9	9/12 (75%)	
		東京湾 5	7.9	4.9	2.0	4.2	5.2	4.4	1.7	6.4	6.8	8.9	9.3	8.6	10/12 (83%)	
		東京湾 6	8.0	2.8	0.9	5.1	2.1	1.1	1.7	6.3	7.3	8.8	9.0	8.6	7/12 (58%)	
		東京湾 7	6.4	3.6	2.1	5.2	5.5	2.9	2.2	5.6	7.2	9.1	9.4	8.5	9/12 (75%)	
	水域区分内月別達成状況		5/6 (83%)	5/6 (83%)	3/6 (50%)	3/6 (50%)	5/6 (83%)	2/6 (33%)	3/6 (50%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	6/6 (100%)	水域区分 の達成率 0%	
	東京湾 央部①	St-35	8.1	5.9	2.1	0.5	<0.5	1.8							2/6 (33%)	
		東京湾 11	6.9	3.0	2.5	4.9	2.4	5.4	2.5	4.5	7.1	9.4	7.9	8.5	9/12 (75%)	
		東京湾 12	3.6	2.4	2.2	2.3	2.0	0.8	2.6	1.0	6.1	9.0	8.1	8.6	5/12 (42%)	
		東京湾 13	5.3	2.5	4.0	2.1	2.4	2.9	3.5	4.5	5.3	7.4	7.1	7.2	8/12 (67%)	
		東京湾 15	5.4	5.5	3.1	2.2	2.6	3.3	4.2	5.8	6.5	7.4	7.8	7.9	10/12 (83%)	
		浮島沖	6.7	5.9	1.8	2.0	0.4	<0.1	2.4	4.0	6.1	6.9	8.5	8.1	7/12 (58%)	
	水域区分内月別達成状況		6/6 (100%)	4/6 (67%)	2/6 (33%)	1/6 (17%)	0/6 (0%)	2/6 (33%)	2/5 (40%)	4/5 (80%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	水域区分 の達成率 0%	
	生物3 (2mg/L 以上)	東京港	St-23	7.9	5.7	2.9	2.5	3.4	1.8	3.6	3.9	6.2	8.1	8.7	7.8	7/12 (58%)
			お台場	8.3	5.3	2.7	7.6	1.9	2.5	3.1	4.1					7/12 (58%)
		水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 0%
		千葉港	千葉 2	4.0	5.9	<0.5	0.7	1.3	<0.5	0.8	2.1	6.7	4.5	7.8	7.4	12/12 (100%)
千葉 3			4.5	6.3	<0.5	1.1	1.7	<0.5	0.7	4.4	6.8	6.4	8.2	8.0	8/12 (67%)	
水域区分内月別達成状況		2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	1/2 (50%)	1/2 (50%)	1/2 (50%)	1/2 (50%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	2/2 (100%)	水域区分 の達成率 50%		
木更津港		東京湾 16	5.0	5.7	3.6	2.6	4.6	2.6	3.1	4.9	6.6	8.3	8.6	8.6	9/12 (75%)	
水域区分内月別達成状況		1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	0/1 (0%)	0/1 (0%)	0/1 (0%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	水域区分 の達成率 0%		
東京湾 奥部②		St-22	9.1	6.6	3.4	<0.5	<0.5	<0.5	0.8	5.4	7.2	7.7	8.4	8.3	7/12 (58%)	
		東京湾 4	3.1	8.2	5.0	4.3	5.3	<0.5	0.9	0.6	7.5	8.8	10.0	7.6	10/12 (83%)	
		東京湾 8	1.9	4.4	2.0	1.6	0.7	1.4	0.8	2.0	4.4	8.0	7.4	7.8	7/12 (58%)	
		東京湾 9	6.2	2.6	2.4	3.7	1.3	0.7	2.5	4.2	7.3	8.7	7.7	9.4	11/12 (92%)	
		東京湾 10	4.2	1.7	2.6	0.6	0.7	1.5	1.0	2.6	3.9	8.1	7.1	7.4	12/12 (100%)	
水域区分内月別達成状況		4/5 (80%)	4/5 (80%)	5/5 (100%)	3/5 (60%)	2/5 (40%)	1/5 (20%)	3/5 (60%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	5/5 (100%)	水域区分 の達成率 20%		
水域全体の月別達成状況			45/47 (96%)	43/47 (91%)	35/47 (74%)	30/47 (64%)	30/47 (64%)	25/47 (53%)	32/46 (70%)	43/46 (93%)	46/46 (100%)	46/46 (100%)	46/46 (100%)	46/46 (100%)	水域全体 の達成率 48%	

(3) 底層溶存酸素量の目標とする達成率・達成期間

「(1) 保全対象種の生息域・再生産の場として重要な地点の検討」及び「(2) 東京湾における底層溶存酸素量の測定結果の整理」に基づき、東京湾における目標とする達成率を検討した。

<目標とする達成率について>

平成 27 年答申において、底層溶存酸素量の目標設定の基本的考え方は、底層を利用する水生生物の個体群が維持できる場を保全・再生することを目的に、維持することが望ましい環境上の条件となっている。

既に達成率が継続して 100%となっている水域（水域内の全ての環境基準点（測定地点）が「○」である水域）は、『目標とする達成率』を 100%とする。その他の水域における『目標とする達成率』は、底層溶存酸素量の状況や、底層溶存酸素量の観点から重要な地点を考慮して設定する。具体的には、底層溶存酸素量の状況が良好な地点「○」、それに準ずる地点「●」、保全対象種の生息域・再生産の場として重要な地点「★」について、当該水域区分における環境基準点（測定地点）の数を分母に、【○+●+×(★)】の数を分子にとって、『目標とする達成率』とする。また、「A」と「B」の合計が半分未満となるものの保全対象種の生息域・再生産の場として重要な地点「×(★)」がある環境基準点（測定地点）では、当該水域区分における環境基準点（測定地点）の数を分母に、分子を【○+●】として『10 年程度以内に目指す達成率』を設定する。

<達成期間について>

既に達成率が継続して 100%の水域は「イ 直ちに達成する」とする。

また、「●」が存在し、かつ「×(★)」が存在しない水域は「ロ 5～10 年以内で可及的速やかに達成する」とする。

『10 年程度以内に目指す達成率』を設定した水域の達成期間は「ハ 暫定的な目標を 10 年程度以内に達成する」とする。

以上の検討結果を整理して、表 3.21～表 3.23 に示す。なお、水域区分の東京湾奥部①では、重要な地点として新たに環境基準点（測定地点）を 1 地点設定しており、その地点を含めて目標とする達成率を示している。また、千葉港では、既存の測定地点に代えて、新たに測定地点を適切な場所に 1 地点設定している。

東京湾における目標とする達成率及び達成期間の設定については、以下の水域区分を除き、図 2.2 の手順に基づき設定している。

【東京湾奥部①について：生物 2 類型】

- ・新たに設定する環境基準点（測定地点）は重要な環境基準点「★」であり、図 2.2 の手順における「×（★）」と同様な扱いとした。これにより、『目標とする達成率』は 85%（7 地点中 6 地点）とした。
- ・『10 年程度以内に目指す達成率』については、図 2.2 の手順によると 0%となるが、環境基準点（測定地点）の St-8 は、過去 10 年のうち 4 年は「A」と「B」となっていることから、『10 年程度以内に目指す達成率』として達成を目指すこととし、14%（7 地点中 1 地点）と設定した。
- ・また、St-8 以外の「★」の地点については、『当分の間、地点別適合状況（環境基準達成検体数/総検体数）について、年 12 回調査のうち、6～10 月の 5 か月間を除き 7 回達成を目指す。』とした（表 3.11（49 頁）～表 3.20（58 頁）の東京湾奥部①の日間平均値の月間最低値及び 63 頁 参考図 1 を参照）。

【東京湾中央部①について：生物 2 類型】

- ・本水域では「●」で達成率は 33%となるが、図 2.2 の手順において、相当程度目標とする達成率が低くなる場合があり、このような場合には、50%を目安に設定することされている。このことから、本水域の『目標とする達成率』は 50%とした。
- ・次に「●」と「★」が重なっている環境基準点（測定地点）の達成率 33%を『10 年程度以内に目指す達成率』として設定した。

【東京湾奥部②について：生物 3 類型】

- ・重要な環境基準点「★」がなく、「○」、「●」に該当する環境基準点（測定地点）もない。令和 3 年答申に示されているように、当該水域は、水質汚濁が問題となる以前の昭和 30 年代前半においても底層溶存酸素量が 2.0mg/L 未満、3.0mg/L 未満の水域が存在していたことから、貧酸素化しやすい特性を持っている水域である。
- ・現時点の底層溶存酸素量と保全対象種に関する情報では達成率及び達成期間を設定することが困難な状況である。
- ・以上のことから、今後の測定結果を踏まえ、達成率及び達成期間は検討する。

表 3.21 東京湾における目標とする達成率の検討結果

類型	水域区分	測定地点	現状最大値	日間平均値の年間最低値 (mg/L)										適合状況										目標とする達成率		
				平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	重要な 地点	判定	達成率
生物1 (4mg/L 以上)	東京湾央部②	東京湾 14	71	2.0	2.6	1.7	2.8	2.3	2.8	3.3	1.5	3.6	1.8	C	C	C	C	C	C	C	B	C	★	×	71 ((達成地点数 +重要な地点 等)/総地点数 =10/14)	
		東京湾 17		2.6	3.8	2.4	4.6	3.0	2.8	3.9	1.7	1.6	2.6	C	B	C	A	C	C	B	C	C	★	×		
		東京湾 18		4.1	4.1	3.0	5.8	5.4	4.3	6.1	3.9	4.1	3.7	A	A	C	A	A	A	B	A	B	★	○		
		罐子沖		4.3	3.6	4.6	5.5	5.6	4.0	4.2	2.6	4.8	5.3	A	B	A	A	A	A	C	A	A	★	○		
		夏島沖		5.0	4.0	5.5	5.0	5.6	4.6	5.2	3.9	4.2	4.7	A	A	A	A	A	A	B	A	A	★	○		
		平潟湾内		4.9	4.8	5.1	4.9	4.3	5.0	4.5	5.2	4.8	4.0	A	A	A	A	A	A	A	A	A	★	○		
		東扇島沖		0.1	0.9	1.5	0.7	2.2	0.2	0.8	0.1	0.4	0.9	C	C	C	C	C	C	C	C	C	×	×		
		扇島沖		<0.5	0.8	1.2	1.6	2.8	0.5	1.3	0.2	0.5	1.7	C	C	C	C	C	C	C	C	C	×	×		
		本牧沖		3.0	3.1	2.6	2.0	3.6	3.1	1.7	1.6	2.6	2.7	C	C	C	C	C	B	C	C	C	C	×		×
		富岡沖		5.2	4.3	5.4	6.0	4.9	4.4	4.4	3.7	4.7	4.5	A	A	A	A	A	A	B	A	A	○	○		
		平潟湾沖		4.7	4.4	4.8	4.8	4.9	4.6	4.9	3.7	4.3	4.5	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	★		○
		大津湾		4.3	5.0	4.8	4.4	5.9	5.6	4.8	4.2	5.1	5.0	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	○		
		中の瀬北		3.8	3.3	3.3	4.2	5.5	2.7	2.7	4.1	3.8	4.7	B	C	C	A	A	C	C	A	B	A	○		●
		中の瀬南		5.5	4.4	5.2	4.7	5.5	5.0	4.7	4.5	4.3	5.2	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	★		○
	東京湾口部	東京湾 19	100	4.9	5.5	6.3	6.3	5.9	6.2	6.1	5.0	6.2	5.5	A	A	A	A	A	A	A	A	A	★	○	100 ((達成地点数/ 総地点数 =12/12)	
		東京湾 20		5.6	6.8	5.9	6.9	5.7	5.9	6.0	5.6	5.7	5.4	A	A	A	A	A	A	A	A	A	★	○		
		東京湾 21		7.0	6.5	6.9	7.2	7.3	6.6	7.2	7.0	6.8	6.6	A	A	A	A	A	A	A	A	A	★	○		
		東京湾 22		6.9	7.4	6.9	7.1	6.9	6.9	7.1	6.6	7.0	6.4	A	A	A	A	A	A	A	A	A	★	○		
		東京湾 23		7.0	7.0	6.8	6.8	7.2	7.0	7.0	6.9	7.1	6.5	A	A	A	A	A	A	A	A	A	★	○		
		東京湾 24		7.1	6.9	6.6	6.8	6.9	7.1	6.5	6.8	7.0	6.5	A	A	A	A	A	A	A	A	A	★	○		
		東京湾 25		7.1	6.7	7.1	7.0	7.5	6.7	7.1	7.2	6.8	6.7	A	A	A	A	A	A	A	A	A	★	○		
		東京湾 27		7.0	7.3	7.3	7.1	7.4	7.2	7.2	6.4	7.7	6.6	A	A	A	A	A	A	A	A	A	★	○		
		浦賀港内		5.9	5.9	5.3	6.3	6.8	6.1	6.1	5.3	6.4	6.2	A	A	A	A	A	A	A	A	A	★	○		
		久里浜港内		6.2	5.8	5.2	6.3	6.6	5.9	5.9	6.1	5.9	6.2	A	A	A	A	A	A	A	A	A	★	○		
		浦賀沖		5.6	5.3	5.2	5.3	6.2	5.7	5.5	4.7	5.4	5.7	A	A	A	A	A	A	A	A	A	○	○		
生物2 (3mg/L 以上)	川崎港・ 横浜港	鶴見川河口先	100	4.0	5.0	4.3	4.4	5.0	3.0	3.4	4.2	3.8	4.1	A	A	A	A	A	A	A	A	★	○	100 ((達成地点数/ 総地点数=2/2)		
		横浜港内		1.7	2.5	1.6	2.0	3.2	3.2	2.6	1.4	3.1	3.1	C	B	C	C	A	A	B	C	A	★		●	
	東京湾奥部①	St-8	33	2.8	2.0	2.8	2.2	2.8	2.3	2.2	3.3	2.4	1.4	B	C	B	C	B	C	C	A	C	C	★	×	85 ((達成地点数 +重要な地点) /総地点数 =6/7)
		東京湾 1		<0.5	1.9	0.5	4.5	0.7	<0.5	1.8	1.2	0.5	2.9	C	C	C	A	C	C	C	C	C	B	★	×	
		東京湾 3		<0.5	4.2	0.5	4.8	1.0	<0.5	<0.5	1.3	<0.5	0.5	C	A	C	A	C	C	C	C	C	C	★	×	
		東京湾 5		1.5	4.0	0.9	1.3	1.5	1.0	<0.5	0.9	1.1	1.7	C	A	C	C	C	C	C	C	C	C	★	×	
		東京湾 6		<0.5	0.5	0.7	0.9	1.5	<0.5	0.7	0.6	<0.5	0.9	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	★	×	
		東京湾 7		1.2	1.4	0.6	1.5	1.6	0.8	2.0	1.0	1.4	2.1	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	×	×	
		(仮称)浦安沖 :新規		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	★	—	
	東京湾央部①	St-35	50	<0.5	0.5	0.9	1.2	1.8	<0.5	0.5	0.6	0.6	<0.5	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	×	×	50 ((達成地点数 +重要な地点) /総地点数 =3/6)
		東京湾 11		0.9	1.7	1.8	2.6	3.3	1.0	2.1	1.0	1.1	2.4	C	C	C	B	A	C	B	C	C	C	×	×	
		東京湾 12		0.7	1.5	1.0	1.1	2.6	<0.5	0.8	0.7	<0.5	0.8	C	C	C	C	B	C	C	C	C	C	×	×	
		東京湾 13		1.7	2.6	2.6	3.0	4.2	1.9	2.8	0.8	2.5	2.1	C	B	B	A	A	C	B	C	B	B	★	○	
		東京湾 15		2.9	3.8	1.6	4.5	3.5	1.9	2.8	1.7	1.7	2.2	B	A	C	A	A	C	B	C	C	C	★	●	
		浮島沖		<0.1	0.4	0.7	1.3	1.0	<0.1	1.3	0.4	0.2	<0.1	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	×	×	
生物3 (2mg/L 以上)	東京港	St-23	100	<0.5	1.3	1.3	0.5	2.4	1.7	2.2	0.6	1.4	1.8	C	C	C	C	A	B	A	C	C	B	★	×	100 ((達成地点 数+重要な 地点)/総地 点数=2/2)
		お台場		1.0	0.9	1.5	2.6	2.0	1.8	2.3	0.8	1.4	1.9	C	C	C	A	A	B	A	C	C	B	★	●	
	千葉港	(仮称)千葉港 :新規	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	★	—	100 ((達成地点数 /総地点数 =1/1)	
		木更津港		100	1.7	3.1	1.6	4.2	3.1	3.3	1.4	1.1	2.6	B	A	B	A	A	C	A	C	C	A	★		○
	東京湾奥部②	St-22	60	<0.5	0.5	0.5	0.5	0.7	1.0	0.6	0.5	0.6	<0.5	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	×	×	0.0 ((達成地点数/ 総地点数=0/5)
		東京湾 4		<0.5	2.5	0.5	0.5	<0.5	<0.5	1.2	<0.5	<0.5	<0.5	C	A	C	C	C	C	C	C	C	C	×	×	
		東京湾 8		<0.5	0.6	0.7	2.1	0.6	0.5	1.0	<0.5	<0.5	0.7	C	C	C	A	C	C	C	C	C	C	×	×	
		東京湾 9		1.0	1.7	1.5	2.6	1.0	1.4	0.7	<0.5	<0.5	0.7	C	B	B	A	C	C	C	C	C	C	×	×	
		東京湾 10		1.3	2.7	0.6	2.1	0.5	0.6	0.6	<0.5	<0.5	0.6	C	A	C	A	C	C	C	C	C	C	×	×	
	東京湾全体の達成率			64																						74

注：1. 達成状況の欄の「A」は達成、「B」は環境基準に比較的近い測定データ、「C」は未達成を表す。

2. 目標とする達成率等欄の「○」は、過去10年間で達成した回数が5回(5年)以上の地点、「●」は「A」と「B」を合わせて過去10年間で達成した回数が5回(5年)以上の地点、「×」は、「C」が過去10年間で5回(5年)以上の地点を表す。

3. 達成率は、「○」、「●」以外に「×」であるが重要な地点(★)となった地点を追加して算出した。

4. 水域区分の東京湾奥部①では、新たに測定地点を追加するため、その地点を含めて目標とする達成率は示している。また、千葉港では、底層溶存酸素量の環境基準点(測定地点)は、既存の測定地点ではなく、新たに測定地点を1地点設定することからその地点が達成することとして示している。

表 3.22 東京湾における底層溶存酸素量の目標とする達成率及び達成期間

類型	水域区分	目標とする達成率及び達成期間
生物 1 類型	東京湾中部② 環境基準点数： 14 地点	・目標とする達成率：71%（14 地点中 10 地点（○、●、★）達成） ・10 年程度以内に目指す達成率：64%（14 地点中 9 地点（○、●）達成） ・達成期間：「ハ 暫定的な目標を 10 年程度以内に達成する」
	東京湾口部 環境基準点数： 12 地点	・目標とする達成率：100%（12 地点中 12 地点（○）達成） ・達成期間：「イ 直ちに達成」
生物 2 類型	川崎港・横浜港 環境基準点数： 2 地点	・目標とする達成率：100%（2 地点中 2 地点（○、●）達成） ・達成期間：「ロ 5～10 年以内に可及的速やかに達成する。」
	東京湾奥部① 環境基準点数： 7 地点	・目標とする達成率：85%（7 地点中 6 地点（○、●、★）達成） [新たに環境基準点（測定地点）を追加] ・10 年程度以内に目指す達成率：14%（7 地点中 1 地点達成：環境基準点（測定地点）の St-8 は当該水域内で環境基準の達成が見込め、達成することが望ましい重要な地点であるため設定） （ただし、環境基準点（測定地点）の東京湾 1、東京湾 3、東京湾 5 及び東京湾 6 については、当分の間、地点別適合状況（環境基準達成検体数/総検体数）について、年 12 回調査のうち、6～10 月の 5 か月間を除き 7 回達成を目指す。） ・達成期間：「ハ 暫定的な目標を 10 年程度以内に達成する」
	東京湾中部① 環境基準点数： 6 地点	・目標とする達成率：50%（6 地点中●、★を含め 3 地点を達成） ・10 年程度以内に目指す達成率：33%（6 地点中 2 地点（●）達成） ・達成期間：「ハ 暫定的な目標を 10 年程度以内に達成する」
生物 3 類型	東京港 環境基準点数： 2 地点	・目標とする達成率：100%（2 地点中 2 地点（●、★）達成） ・10 年程度以内に目指す達成率：50%（2 地点中 1 地点（●）達成） ・達成期間：「ハ 暫定的な目標を 10 年程度以内に達成する」
	千葉港 環境基準点数： 1 地点	・目標とする達成率：100%（1 地点中 1 地点達成） [新たに環境基準点（測定地点）を設定] ・達成期間：「ロ 5～10 年以内に可及的速やかに達成する。」
	木更津港 環境基準点数： 1 地点	・目標とする達成率：100%（1 地点中 1 地点（○）達成） ・達成期間：「イ 直ちに達成」
	東京湾奥部② 環境基準点数： 5 地点	・目標とする達成率：引き続き検討 ・達成期間：引き続き検討

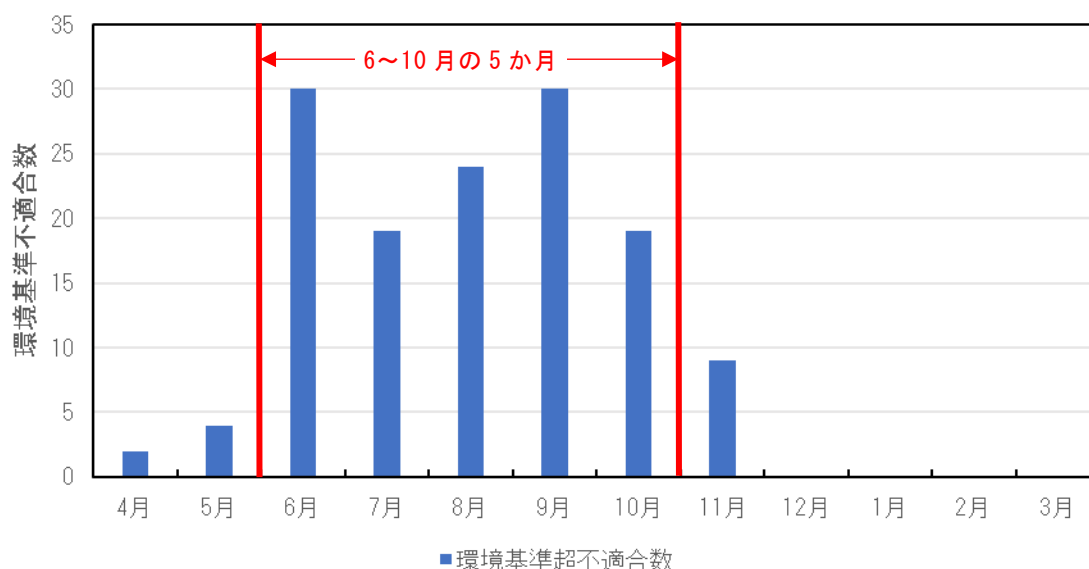
表 3.23 目標とする達成率等の総括表

類型	水域区分	目標とする達成率 (%)	10 年程度以内に目指す達成率 (%)	(参考) 現状における各水域区分の達成率の 最大値 (%)
生物 1 (4mg/L 以上)	東京湾央部②	71	64	71
	東京湾口部	100	—	100
生物 2 (3mg/L 以上)	川崎港・横浜港	100	—	100
	東京湾奥部①	85	14	33
	東京湾央部①	50	33	50
生物 3 (2mg/L 以上)	東京港	100	50	100
	千葉港	100	—	0
	木更津港	100	—	100
	東京湾奥部②	引き続き検討	引き続き検討	60

注:「—」は設定しないことを指す。

参考図 1：東京湾奥部①の環境基準不適合数

- ・水域「東京湾奥部①」の 6 地点について、平成 26 年度（2014 年度）～令和 5 年度（2023 年度）の 10 年間の月別測定結果（日間平均値の月別最低値）の環境基準不適合数を整理した。各月の測定数は 60（＝6 地点×10 年）である。
- ・結果は参考図 1 に示すとおりであり、6 月～10 月に環境基準不適合数が多い。



参考図 1 東京湾奥部①における環境基準不適合数

(4) 海域における水質改善対策について

底層溶存酸素量の改善対策については、汚濁負荷削減対策の実施のみならず、流況改善や藻場・干潟の保全・再生・創出、海底耕耘等による底質改善といった汚濁負荷削減以外の手法も総合的な検討が必要である。

東京湾再生のための行動計画（第三期）における東京湾の環境再生の取り組みにおける海域対策については、覆砂、深堀跡の埋戻し、底泥等の除去、清掃船等による浮遊ごみなどの回収、官民による藻場・干潟等の保全・再生・創出、生物共生型港湾構造物の整備等があげられている。また、環境省においては、底層溶存酸素量の改善対策の収集を進めており、引き続き効果的な対策の検討が必要である。

「第 10 次水質総量削減の在り方について－総量削減から総量管理への転換－」（令和 8 年 5 月 7 日付け中央環境審議会答申）において、「一般的に栄養塩類濃度の低下に伴い底層溶存酸素量は向上するため、栄養塩類増加措置により、底層溶存酸素量の悪化がトレードオフとして生じる可能性があることから、底層溶存酸素量の状況を注視し、栄養塩類管理を順応的に行う必要がある」とされており、今後、栄養塩類管理を行う場合は、底層溶存酸素量への影響について留意が必要である。

4. おわりに

平成 28 年報告において、水域における底層溶存酸素量は、個体群の維持が可能である限り、必ずしも全ての地点で、また全ての期間で底層溶存酸素量の基準値を常に上回る必要はないとされた。

今般、底層溶存酸素量の達成率、達成期間の設定方法について、基本的な流れを示したが、図 2.2 でも示したように、目標とする達成率の検討に係る定量的な目安については、地域の実情に応じて設定するなど、地域ごとに柔軟に検討することが重要である。また、今回、東京湾における目標とする達成率、達成期間の検討において、保全対象種の生息状況の健全性については、限られた情報を元に考察を行うこととなったが、今後、他の水域を含め底層溶存酸素量の目標とする達成率の評価等を行っていく際には、関係機関等へのヒアリングや資源評価の調査結果等の活用など水生生物の生息状況の把握方法を幅広く検討していくことが重要である。また、水生生物の生息状況を把握する新たな手法として環境 DNA 等について知見を集積していくことも重要である。

底層溶存酸素量は、夏季において環境基準値に適合しない測定結果が多い。今後、気候変動の影響により、さらに夏季の底層溶存酸素量が低下するおそれがあり、目標とする達成率等の達成についても容易ではないことが考えられる。今後、各年度の達成率について、『目標とする達成率』及び『10 年程度以内に目指す達成率』に照らし、どのように推移するかを確認していくこととなるが、短期間での改善が容易ではないため、達成率のみではなく月別の地点別適合状況なども含め、底層溶存酸素量の推移をきめ細かく把握していくことが重要である。なお、底層溶存酸素量は 1 日の中で変

動が大きく、1日1回測定することが多い公共用水域水質測定と比べ、連続測定は状況把握手段として非常に有効であり、その結果を底層溶存酸素量の評価の際に活用することを検討することが望ましい。

「第10次水質総量削減の在り方について－総量削減から総量管理への転換－」（令和8年5月7日付け中央環境審議会答申）では、東京湾・伊勢湾・瀬戸内海において、きれいで豊かな海の実現に向け、削減のみを目標としてきた総量削減制度を総量管理制度に転換する方向性が示されている。一方で、栄養塩類の増加により、底層溶存酸素量の悪化がトレードオフとして生ずる可能性があることには留意が必要である。

今回設定した東京湾における底層溶存酸素量の目標とする達成率及び達成期間について（「目標とする達成率及び達成期間の設定方法について」も含む）、今後の底層溶存酸素量の環境基準の達成状況、保全対象種の生息状況等、その他の状況を踏まえ、必要に応じて見直しの検討を行う。

底層溶存酸素量の改善には、中長期的な取組が必要になる。今回検討した底層溶存酸素量の目標達成率について、関係機関において共有することで、地域のニーズを踏まえつつ、底層溶存酸素量の改善について関係者の取組が推進されることを期待する。